

ACCESS MAP

交通のご案内

【編集・発行】横浜市立大学
2026.06

■ 舞岡キャンパス (木原生物学研究所)



- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科
[生命環境システム科学専攻]
- 木原生物学研究所

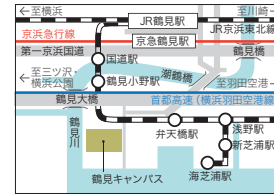


〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12
TEL.045-820-1900
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

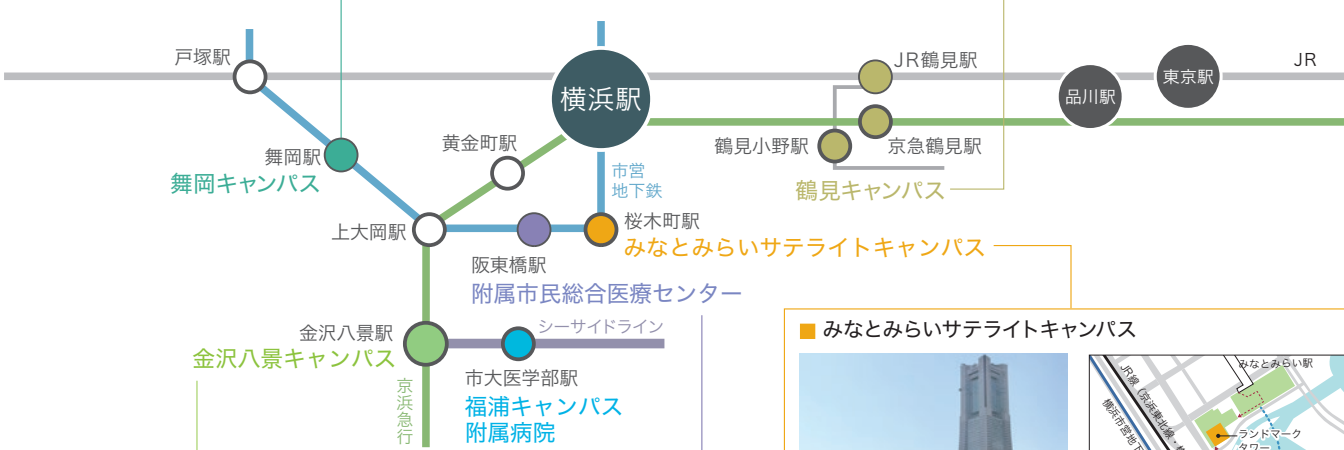
■ 鶴見キャンパス



- 理学部
- 生命医科学研究科
[生命医科学専攻]



〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29
TEL.045-508-7201, 7202
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分、「理研・市大大学院前」下車
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分



■ 金沢八景キャンパス



- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部 (医学科・看護学科) ※1年次
- 都市社会文化研究科
[都市社会文化専攻]
- 国際マネジメント研究科
[国際マネジメント専攻]
- 生命ナノシステム科学研究科
[物質システム科学専攻]
- データサイエンス研究科
[データサイエンス専攻]
- ヘルステータサイエンス専攻



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2
TEL.045-787-2311
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分

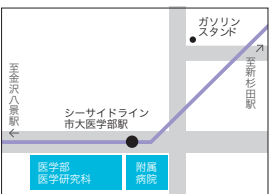
■ 福浦キャンパス



■ 附属病院



- 医学部 (医学科・看護学科)
- 医学研究科 [医科学専攻] [看護学専攻]
- 先端医科学研究センター



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
福浦キャンパス TEL.045-787-2511
附属病院 TEL.045-787-2800
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

■ みなとみらいサテライトキャンパス

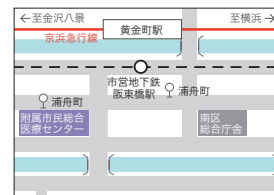


- データサイエンス研究科
[ヘルステータサイエンス専攻]



〒220-8107 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー7階
TEL.045-681-7560
●横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」下車徒歩3分
●市営地下鉄「桜木町駅」下車徒歩5分
●JR京浜東北線・横浜線「桜木町駅」下車徒歩5分

■ 附属市民総合医療センター

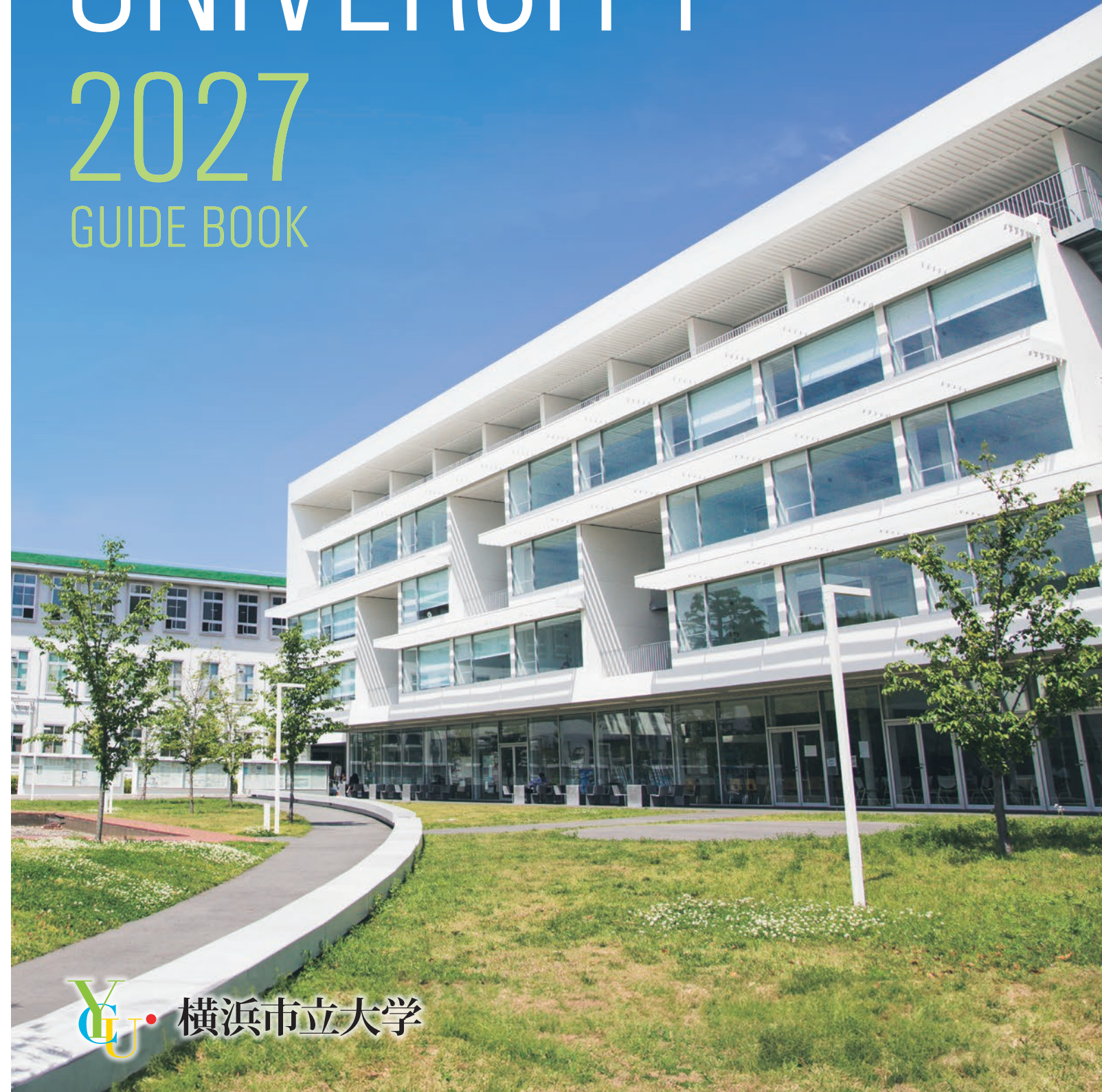


〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 TEL.045-261-5656
●京浜急行「黄金町駅」下車徒歩10分 ●市営地下鉄「阪東橋駅」下車徒歩5分
●市営バス「浦舟町」下車徒歩1分



※デバイスによっては読み取れない場合があります

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY 2027 GUIDE BOOK





ヨコハマから世界へ — YCU's Special Features

3つの特長

広い視野と知識から、自らの専門性を切り開く

- すべての学生が1年次の共通教養科目で、専門科目の基盤となる知識、姿勢、思考法を学べる
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛えられる
- 少人数の演習等、多彩な教授陣による専門教育が受けられる領域横断型プログラム

国際都市・横浜で学び、世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学べる
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加等、横浜にしながら多様な国際経験を積める
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試せる

コンパクトだから、温かい距離感

- 教養ゼミやPractical English、専門での演習等、少人数クラスで自ら、能動的に学べる
- 学生数約5,300人という規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談等、スタッフから手厚いサポートが受けられる

YCU Topics 1

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択！ ～地域の強みを生かした研究力の強化と連携～

横浜市立大学は今、J-PEAKSというプロジェクトを通して『ヘルスウェルビーイングなヨコイチ』という新しいキャッチコピーを掲げています。独自のデータやAIを駆使して、みんなの健康や暮らしの豊かさを『サイエンス』の力で支えるのが目標。研究を企業や街の人と協力して社会に役立てていく、そんなワクワクする未来を横浜から目指しています！

詳しくは、横浜市立大学
J-PEAKS特設サイトへ→



卓越研究
—ヘルスウェルビーイング分野—を
戦略的に加速させるための組織強化

産学官民連携による
知識集約型社会の形成

大学の研究成果と
社会アジェンダ解決をつなぐ
イノベーションの創出



共創を加速する「よこはまデータサイクル」

YCU Topics 2

国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部は 2027年度から教育課程を刷新 —時代の要請に応える人材の輩出に向けて—

デジタル化やAIの進展、経済構造の変化、国際社会の情勢など、社会が直面する課題はますます高度で複雑化しています。日本の2040年に向けた労働需要推計では、デジタル化やAIの進展の中で、数理・デジタル分野の専門人材やAI等のデジタル技術を活用して、新たな価値を創出する人材の不足が見込まれています。

横浜市立大学では、このような社会の変化を見据えて、時代の要請に応える人材を育成・輩出するため、国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部の教育課程の変更を行います。

ここから広がる未来に向けて、横浜市立大学で新しい学びをスタートさせませんか。

YOKOHAMA CITY UNIVERSITY



President's Message

日本全体の研究力をけん引する 「研究の横浜市立大学」を目指して

「国際標準」の大学とともに、未来に向けた挑戦と成長を

国際都市・横浜にキャンパスを構える横浜市立大学は、2028年に100周年を迎えます。創立は1928年ですがそのルーツは古く、100年以上の歴史を持つ大学です。1882年に横浜商人27氏が発起人となり創設された横浜商法学校に端を発する商学の系譜と、1871年に医師で実業家でもある早矢仕有氏の主唱による有志の寄附を基に開設された仮病院から受け継がれる医学の系譜が合流し、改革を重ねて、現在の5学部6研究科へと発展してきました。

2025年1月、横浜市立大学は全国約800大学の中から25大学の一つとして、文部科学省・日本学術振興会が実施する「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。日本の研究力の発展をけん引し、世界と肩を並べる教育・研究環境を備えた大学へ——その実現に向けて、教育・研究・医療・社会連携の各分野で取り組みを加速しています。

教育面での本学の特徴は、大学院含めて学生数約5,300名という中規模総合大学ならではのコンパクトさと少人数教育です。学生と教職員の距離が近く、個々の関心や強みを伸ばすきめ細かな指導を行っています。

全学部でTOEFL ITP500点相当を最低達成水準とする英語教育「Practical English」を導入し、国際的なコミュニケーション力の基盤を整えてきました。さらに、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されたADEPTプログラムにより、データリテラシーとAI時代に必要な素養の育成を強化しています。横浜という地域での学びや大学公式の海外留学プログラム、アントレプレナーシップ教育などを通じた視野を広げる機会や、挑戦を後押しする経済支援・留学支援やキャリア支援で支援体制も整えています。

加えて、「国際標準」の大学として、最先端研究に触れる機会の拡大、海外トップ大学との交流・共同研究、博士後期課程学生への支援を進めるとともに、企業・自治体・医療機関との連携による教育プログラムの充実にも取り組んでいます。本学は、大学の4年間・6年間だけでなく、その先の大学院から社会に巣立つところまで、皆さんの挑戦と成長を力強く支えていきます。

また、2つの附属病院は、合わせて約1,300床を有し、安全で高度な医療を提供しています。感染症パンデミックへの対応や高度救命救急医療など、地域医療を支える「最後の砦」として重要な役割を担っています。

2028年に創立100周年を迎える横浜市立大学。伝統と革新を礎に、さらなる発展を誓い、これからも「知の拠点」として教育・研究・医療の各分野をリードしていきます。常に未来を見据え、取り組みを続けるこの横浜市立大学で、多くを学び、豊かな経験を積み、未来へ力強く羽ばたいてください。

横浜市立大学 学長

石川義弘



Profile

1959年3月生まれ。神奈川県出身。医学博士。日本および米国医師免許登録。専門は循環制御医学。1984年 横浜市立大学医学部医学科卒業。在学中にロータリー財団の奨学金によりイエール大学医学部に留学。その後、コロンビア大学医学部助教授、ハーバード大学医学部助教授などを歴任。在米中は大学での勤務の傍ら、大学病院で経済的困窮者向けの外来治療を担当。1998年より横浜市立大学医学部循環制御医学教室主任教授。同大学院医学研究科長、医学群長、副学長、学術情報センター長、学長補佐などを経て、2024年4月より現職。

GO GLOBAL.
START IN
YOKOHAMA.

C O N T E N T S

2 プロローグ

2 学長メッセージ／4 数字で見るYCU・ヨコイチの歴史
6 活躍する卒業生／8 学部・学科／大学院・研究科

10 学部教育のカタチ

10 YCUの共通教養／14 領域横断教育／16 ヨコハマで学ぶ
18 グローバル教育

学部紹介

22 国際教養学部

26 国際商学部

30 理学部

34 データサイエンス学部

38 医学部 38 医学科／44 看護学科／49 2つの附属病院

50 研究

50 先端医科学研究センター・次世代臨床研究センター・
オープンイノベーションラボ・共創イノベーションセンター
51 鶴見キャンパス・木原生物学研究所（舞岡キャンパス）・
みなとみらいサテライトキャンパス・連携大学院・海外連携機関等
52 Researcher Interview／53 主な研究TOPICS

54 学生支援

54 学生サポート／55 キャリアサポート

56 キャンパスライフ

56 キャンパスライフ
58 Club/Circle
60 キャンパスマップ（金沢八景キャンパス）
62 キャンパスマップ（福浦キャンパス）

64 学費・奨学金

65 受験をお考えの方へ

66 入試情報

66 入試概要／68 入試結果

もっと詳しく知りたい方へ



受験生向けWEBマガジン
「ヨコ知り!」では、
受験に役立つ情報やYCU生の
キャンパスライフを発信中!



さらに詳しい情報はWEBサイトに掲載中!
各ページの二次元コードを要チェック!

※本冊子に掲載している内容は、特に記載のない限り2026年4月現在の情報です。
今後、内容は変更となる場合があります。

YCU in numbers

数字で見るYCU

学生数

5,311人

学部生：4,304人
大学院生：1,007人



2026年4月1日現在

横浜市立大学キャラクター「ヨコイチ」

創立 80 周年企画で
学生プロジェクトの発案、
デザインをもとに、
在学生、卒業生、教職員からの
人気投票により決定

2008年
誕生



部活動・サークル数

運動系団体：54 団体
文化系団体：45 団体
その他サークル：7 団体

※金沢八景・福浦キャンパスの合計

2026年4月現在

106 団体



医師国家試験 合格率

全国平均 91.6%
※既卒含む
2025年度実績

92.9%

看護師国家試験 合格率

全国平均 88.3%
※既卒含む
2025年度実績

100%



TOEFL ITP500点 相当以上の学生



96.9%

Practical English の最低達成条件を
クリアしている 2 年生の割合

2025年度終了時点

国際教養・国際商・理・ データサイエンス学部の 就職率

全国平均
98.0%

99.1%

キャリア支援センターでは、年度を通じて
約100のキャリア・就職イベントを
実施しています



※就職率=就職者数÷就職希望者数
2024年度実績

海外留学・ 研修参加者

445人

2026年2月現在

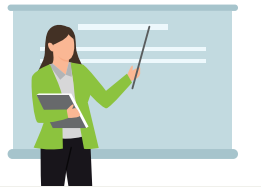


専任教員数

834人

国際総合科学群：157人
医学群：677人

2026年4月1日現在



留学生数

本学に在籍している
外国人留学生の数

2025年11月1日現在

169人

29の
国・地域

交流協定を 締結している 海外大学・ 研究機関等の数

95

2026年3月現在



横浜市立大学は2028年で



伝統と革新の、その先へ
1928 - 2028

100周年

1928年の創立から常に横浜と歩み進化し続けてきたYCU。
2027年度の新入生は、この大きな節目を在学中に迎えます。
さまざまな記念事業プロジェクトやイベントを通じて、
皆さまと共に祝い、感謝を伝え、
これからの100年の発展を誓います。

100周年事業

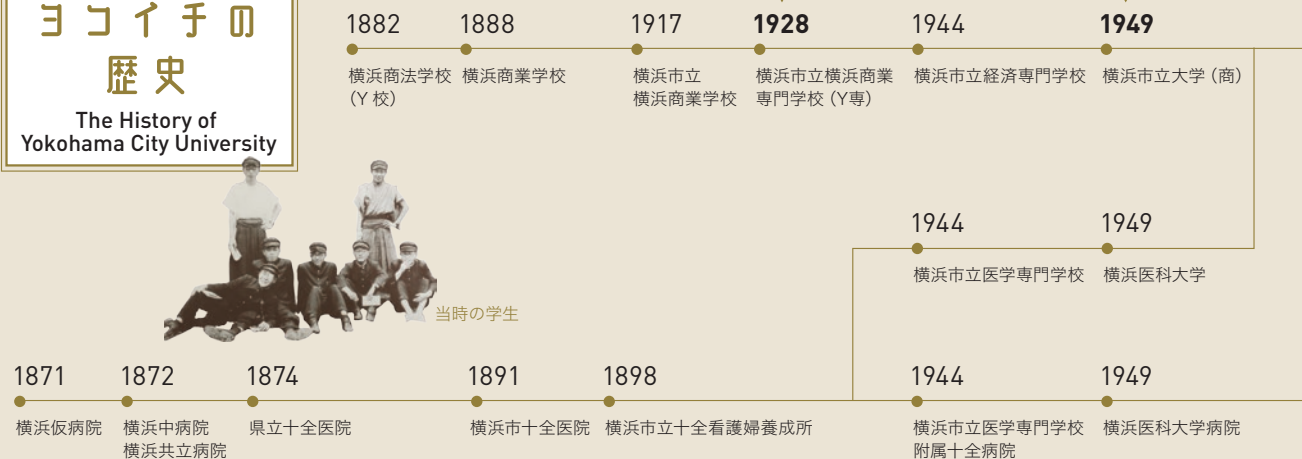


100周年記念リーフレット

ヨコイチの 歴史 The History of Yokohama City University



当時の学生



公立大学法人化



においのメカニズムを探究し 人々の生活を豊かにしたい

「消費者」の存在を意識した研究

花王株式会社で「におい」の研究をしている大野木さん。
 ごにおい成分の特性や働きを科学的に研究し、技術開発や製品への応用を目標としています。私の扱うテーマはどちらかというと『悪臭』ですが、それをなくすだけではなく、消費者のためにどうすれば付加価値が加えられるかを考えています。学生の頃の研究と違うのは、消費者を意識することです。今は研究が社会にどう役立つかを考えるようになりました」

大学・大学院時代は研究に没頭したという大野木さん。
 「質量分析という学問は、パズルを組み合わせて正解にたどり着くように楽しく、質量分析研究室で『香り成分の測定における新規技術の

「消費者」の存在を意識した研究

花王株式会社で「におい」の研究をしている大野木さん。

PROFILE.

Name 大野木 涼乃 Suzuno Onogi

Class of Course 2022年度卒
 生命ナノシステム科学研究科
 物質システム科学専攻
 (国際総合科学部 理学系卒業)

花王株式会社
 研究開発部門

応用」をテーマに地道な解析を続けました。研究内容が評価され、環境学会で賞を受賞した時はとてもうれしかったです。研究はトライアンドエラーで、悪い結果も失敗と捉えないこと、そして何事にも貪欲に向き合う力、それらがYCUで培われました」

そんな大野木さんに、YCUで学ぶ魅力聞いた。

「先生方や職員の方が学生一人ひとりに真摯に向き合ってくれる点です。関わってくださった方々のおかげで、自分も今、研究者の道歩むことができています」



ヨコ知り!



活躍する卒業生

データの力を駆使して
 人々の意思決定を支える

現在、株式会社NTTドコモでデータプロダクトの開発をしている畑中さん。

「通信会社の強みをいかし、位置情報データや決済データなど、さまざまなデータを用いて、企業や自治体向けにサービスを提供しています。例えば、特定のお店にどんな人が訪れているかを分析したり、観光客の行動を可視化することで、企業の意思決定を支援します。2024年の能登半島地震では、回線から取得できるデータを活用し、避難所の混雑状況を把握することで、被災者への支援にも役立てることができました」

学生時代に取り組んだ研究も、人々の購買データを活用したもの。「家計の行動分析や消費者心理と経済の関係などをテーマに、消費行動が経済にどのような影響を与えるのかを探究しました。ゼミの仲間や先生と一緒に研究に取り組むことは、深い喜びにつながりました。現在の同僚との信頼関係を大切にしている姿勢は、当時の経験から培われたものです」

畑中さんは、YCUの学びの環境についてこう振り返る。

「自分の興味を深め、挑戦しやすい環境が整っています。先生方のサポートも手厚く、全国から集まる仲間と刺激を与え合って成長できます。皆さんもYCUで自分の可能性を広げてください!」

データで新たな価値を生み出し、 未来の社会をより良くしたい

PROFILE.

Name 畑中 駆 Kakeru Hatanaka

Class of Course 2022年度卒
 国際マネジメント研究科
 国際マネジメント専攻
 (国際総合科学部 経営科学系卒業)

株式会社NTTドコモ
 データプラットフォーム部
 データプロダクト担当



学生時代のEPISODE

国際総合科学部から大学院に進学するタイミングでコロナ禍となったが、困難な状況を中園研究室の同期の仲間たちと支え合った(右から2人目が畑中さん)。



ヨコ知り!



学生時代のEPISODE

剣道部で東日本医科学学生総合体育大会に参加。勉強だけでなく、スポーツを通じて成長できる場として、多くの医学生がこの大会を目指して日々練習を重ねている(中央が園田さん)。

PROFILE.

Name 園田 真樹 Masaki Sonoda

Class of Course 2008年度卒
 医学部 医学科

横浜市立大学大学院医学研究科・
 横浜市立大学附属病院
 脳神経外科学・診療講師
 YCU Frontier Research Fellow
 YCUてんかんセンター

最先端の医療によって 患者の未来に光を照らしたい

YCUでの学びが、
 自分の可能性を広げる

横浜市立大学附属病院で脳神経外科医として勤務し、特にてんかん外科を専門としている園田さん。難治性てんかん患者さんに最先端の医療を提供する中で、個別化医療の重要性を強く感じることも、多くの困難に直面することもあるという。

「それでも、治療後の患者さんから『人生が変わりました』と感謝の言葉をいただく瞬間に、仕事の大きなやりがいを実感します」

高校時代から医学に興味を持ち、生まれ育った地元で地域医療に貢献したいという思いからYCUを選択。学生時代は、学業だけでなく部活動や課外活動の機会にも恵まれた。そんな経験から、YCUでは多面的に学びながら自分の進む道を模索でき、工夫次第で可能性は無限に広がるという。

「YCUには海外派遣プログラムがあり、国際的な視野を広げる機会が得られる一方で、2つの附属病院での臨床実習を通じて地域医療について深く学ぶことができます。グローバルな視点とローカルな実践を融合させた『グローバル』な医学・医療を学べる環境が整っているのがYCUの魅力です」と園田さんは語る。

「YCUでの学びを通じて、自分の可能性を広げることができると実感しています。ぜひ、YCUを進学選択肢のひとつとして考えてみてください!」



ヨコ知り!

INTERVIEW

先輩の姿が 未来の看護を描かせた

横浜市立大学附属市民総合医療センターで働く中島さんは、2025年まで初療室を担当していた。「救急車で運ばれてきた方の心肺蘇生や治療を行い、入院につながるのが役目でした。事故で大けがを負った方や、心筋梗塞・脳卒中の方の力テール治療にも関わりました。患者さんと長く関わることは少ないですが、退院と聞くと、あの時の判断が正しかったのだと実感できてうれしかったです」



学生時代のEPISODE

硬式テニス部の同期は今も仕事の相談に乗ってくれる大切な仲間。「病院内で見かけると元気が出ます!」とのこと(右から2人目が中島さん)。

PROFILE.

Name 中島 温乃 Yoshino Nakajima

Class of Course 2020年度卒
 医学部 看護学科

横浜市立大学附属
 市民総合医療センター
 看護部



ヨコ知り!

横浜で育った中島さんは、将来は地元で貢献できる仕事がしたく、YCUの看護学科を選んだ。

「実習を大学附属病院で学べることは大きな魅力で、就職後も職場にすぐ馴染めましたし、知っている先生が多く、コミュニケーションも取りやすかったです」

卒業論文では「家族看護」について研究した中島さん。

「患者さんの家族全体とどう関わるかを学びました。今の仕事で、患者さんの背景を理解し、退院後の支援までも含めた適切な看護を提供する際に役立っています」

そんな中島さんは、大学での実習時、最前線で働く先輩の姿を間近で見られたことが、将来へのモチベーションにつながったという。

「専門性の高い知識を備えた先生がたくさんいます。本当に多くのことを学べる環境でしたね」

現在は病棟勤務で奮闘の日々。

横浜で学び、経験を積み、 看護で地域に貢献していきたい

学部・学科／大学院・研究科

現代のトレンドを網羅した
5学部6学科・6研究科

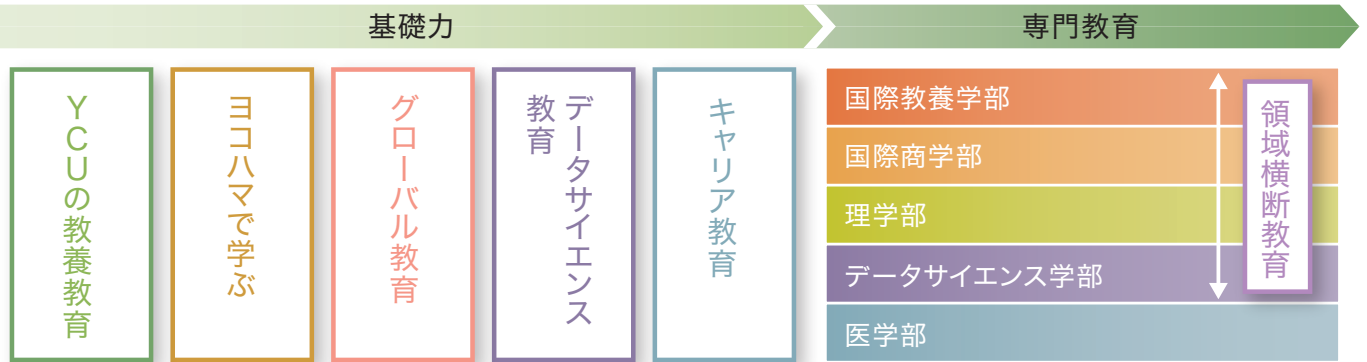
学部・学科／大学院・研究科

学 部		学 科	学 位	入学定員	キャンパス	特 色	専任教員数	取得できる資格	卒業必要単位数	大学院
国際教養学部	P.22	国際教養学科	学士（学術）	240	金沢八景	多様な学問群の中から多角的な視点と豊かな教養を育み、確かな外国語運用能力と思考力で、現代社会や都市の課題を解決できる人材を育成	43名	教員免許（英語）	124	都市社会文化研究科 ■都市社会文化専攻 修士（学術）／博士（学術）
	P.26	国際商学科	学士（経営学） 学士（経済学）	230	金沢八景	グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力等「実学」を意識した、社会に変革をもたらすグローバル・リーダーを育成	28名	-	124	国際マネジメント研究科 ■国際マネジメント専攻 修士（経営学）／修士（経済学） 博士（経営学）／博士（経済学）
理学部	P.30	理学科	学士（理学）	140	金沢八景 鶴見 舞岡	物理学、化学、生物学を基盤とし、生命現象を原子・分子・細胞・個体それぞれのレベルで解明し、融合的に物質科学と生命科学に挑んでいける人材を育成	67名	教員免許（理科）	124	生命ナノシステム科学研究科 ■物質システム科学専攻 ■生命環境システム科学専攻 修士（理学）／博士（理学） 生命医科学研究科 ■生命医科学専攻 修士（理学）／博士（理学）
	P.34	データサイエンス学科	学士（データサイエンス）	120	金沢八景	数理や統計といった専門的な教育のみならず、文系理系にとらわれない広範な教育でビッグデータから「未来の芽」を見つけ出し、新たな社会的価値を創造するデータサイエンスのスペシャリストを育成	27名	-	124	データサイエンス研究科 ■データサイエンス専攻 ■ヘルスデータサイエンス専攻 修士（データサイエンス）／修士（ヘルスデータサイエンス）／博士（データサイエンス）／博士（ヘルスデータサイエンス）
医学部	P.38	医学科	学士（医学）	93	金沢八景 福浦	豊かな人間性と深い知性を有し、生涯にわたって研鑽を続け、医学・医療を通して、人類の福祉に貢献できる人材を育成	201名	医師 国家試験 受験資格	201	医学研究科 ■医科学専攻 修士（医科学）／博士（医学）
	P.44	看護学科	学士（看護学）	100	金沢八景 福浦	高い教養と専門性だけでなく、他者の痛み、喜びも理解できる豊かな人間力で未来の看護をけん引できるリーダーを育成	37名	看護師 保健師 国家試験 受験資格	124	医学研究科 ■看護学専攻 修士（看護学）／博士（看護学）

※専任教員数は「客員教員」「特別契約教員」を除く。 ※専任教員数は2026年4月1日現在。 ※2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、2027年4月より国際教養学部の教員6名がデータサイエンス学部へ配置変更予定です。

学部教育のカタチ

YCUの学部教育は、教養教育、グローバル教育、地域での学び、そして専門教育を柱として展開していきます。これにより高めた総合力を、それぞれの専門教育において応用・深化させていく、体系的な教育プログラムがYCUにはあります。

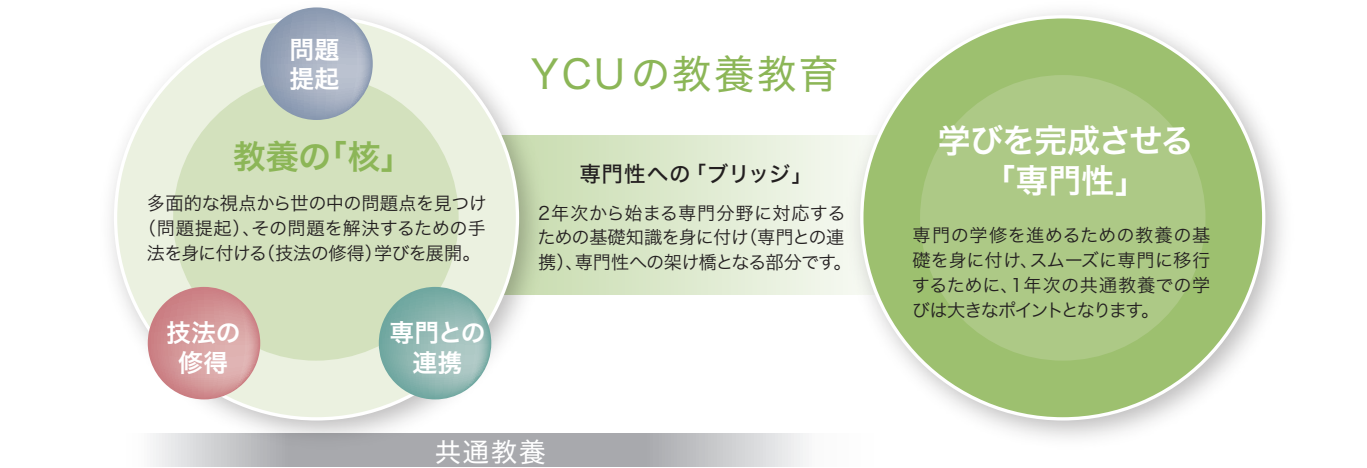


教養教育の中心

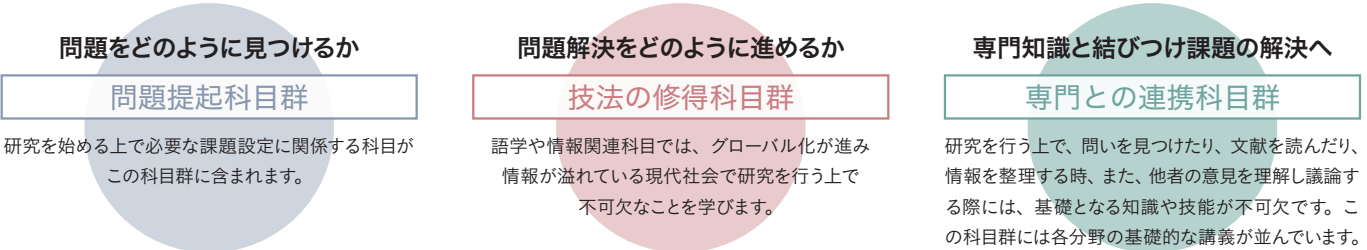
YCUの共通教養

自ら問題を発見し、解決する力を修得する

教養教育は、他大学に先がけて展開した文理融合型のアプローチをベースとした、共通教養科目が中心となります。共通教養は、YCUの教育の土台であり、大学で学ぶための基盤となる技法や自ら問題を発見し解決する力を修得することを目的としています。全学部の学生は、1年次より高い英語力の育成や、データ活用方法の修得、論文執筆の基本作法などさまざまな分野を学び、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



■ 共通教養の3つの科目群



共通教養3つの科目群

★ 必修科目

問題提起科目群

★YCUリベラルアーツ入門

総合講義

特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。

●国際関係論

●環境論入門

●まちづくり学入門

●連携特別講座
「国際協力の実践と課題」

●企業家に学ぶ

●生命科学と環境

●医療と社会

●Education in the World

●現代社会とジェンダー

●鎌倉・金沢を知る

●横浜学事始

●多文化社会を考える

●データサイエンス入門

●国際マネジメント

●物質と生命

多文化交流ゼミ

Practical English 合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現することを学びます。

●現代アジア・太平洋地域事情

●横浜の中にある外国人コミュニティ

●外国人の日本研究

●世界で報道される日本

●Comparing Education in the World

●Japan from Foreigner's View

●Global Communications

実践科目

実践することで、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。

●キャリア形成実習

キャリアデザイン

プレ・インターンシップ

キャリア教育プログラム

インターンシップ

横浜の産業と企業理解

●健康スポーツ実習

春期スポーツ種目

秋期スポーツ種目

ウエルネスライフ実習

●自然体験実習

ボードセーリング

ヨット

シーカヤック

●長期海外研修

●短期海外研修

●福祉施設実習

●中期海外研修

●中期海外留学

●短期海外留学（看護学）

●中期海外留学（看護学）

●特別講座

留学科目・共通教養A～H

技法の修得科目群	
ゼミ	語学
★教養ゼミ ★基礎ゼミ（国際教養学部・国際商学部・理学部のみ必修）	★Practical English ●Essential Practical English ●Advanced Practical English I～VII ●看護英語
初習外国語	Practical English 合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。
●ドイツ語教養基礎Ⅰ ●ドイツ語教養基礎Ⅱ	●フランス語教養基礎Ⅰ ●フランス語教養基礎Ⅱ ●中国語教養基礎Ⅰ ●中国語教養基礎Ⅱ ●韓国・朝鮮語教養基礎Ⅰ ●韓国・朝鮮語教養基礎Ⅱ ●スペイン語教養基礎Ⅰ ●スペイン語教養基礎Ⅱ
●日本語入門Ⅰ ●日本語入門Ⅱ	●日本語Ⅰ ●日本語Ⅱ ●日本語Ⅲ ●日本語実践 文章表現A～C 口頭表現A～C アカデミックジャパニーズA アカデミックジャパニーズB 留学生のキャリアデザインA 留学生のキャリアデザインB ※留学生・帰国生対象
情報関連科目	★情報リテラシー ●DSリテラシー ●プログラミングA ●プログラミングB ●プログラミングC

専門との連携科目群	
基礎科学講義	専門への接続科目
●心理学入門 ●文化研究入門 ●思想研究入門 ●文学研究入門 ●健康スポーツ科学入門 ●倫理学入門 ●歴史学入門 ●世界史概説 ●社会学入門 ●国際社会学入門 ●政治学入門 ●経営学入門Ⅰ ●経営学入門Ⅱ ●法学入門 ●経済学入門Ⅰ ●経済学入門Ⅱ	●簿記入門Ⅰ ●簿記入門Ⅱ ●民法入門 ●日本国憲法 ●ビジネス統計Ⅰ ●ビジネス統計Ⅱ ●ゲーム理論入門 ●経営管理論 ●微分と積分 ●微分と積分演習 ●行列とベクトル ●行列とベクトル演習 ●物理学概説A ●物理学基礎演習A ●物理学概説B ●物理学基礎演習B ●化学概説A～C ●生物学概説A～C ●基礎物理学実験 ●基礎化学実験 ●基礎生物学実験 ●統計と確率 ●科学の倫理学 ●英米文化理解A ●英米文化理解B ●英語学入門A ●英語学入門B ●イギリス文学入門 ●アメリカ文学入門 ●English Grammar for Higher Education ●Introduction to Psychology ●Topics in Modern Psychopathology ●欧米研究入門 ●課題探究科目 Japanese Globalization Comparative Context History of Modern Japan 現代社会の見方 歴史から今を知る 企業の経済学 ライフサイクルの経済学 ヘルステータサイエンス ●病気を科学する ●哲学入門 ●社会調査法入門 ●芸術入門 ●日本史概説 ●アジア研究入門 ●データサイエンス倫理 ●グローバルリテラシー論 ●人文学・メディアリテラシー論 ●リメディアル講座 基礎物理学 基礎生物学 医学科基礎物理学 ●地理学入門

※ データサイエンス学部、医学部の学生が履修する共通教養科目の科目名については、上記の科目名と一部異なるものがありますが、履修する内容は、5学部共通です。
※ 上記科目は2026年4月1日現在となります。今後、科目名が変更となる可能性があります。

共通教養必修科目

問題提起科目群

■ YCUリベラルアーツ入門

この講義では、リベラルアーツの根幹を成す領域のゲスト講師による講演や、本学の卒業生による学びの体験や現在の活動についての講演を聴きます。また、講義の中で提起された課題について「教養ゼミ」で議論することでさらに理解を深めていきます。



技法の修得科目群

■ 教養ゼミ

専門の異なる教員2名と学部異なる学生（約30人）で少人数クラスを形成し、その中で自由に活発に議論を交しながら「大学での研究の第一歩」を踏み出します。教養ゼミでは、自らの疑問から「問い」を設定し、研究・発表していく過程を通して、研究の基本形を理解していきます。さらに、大学のレポートの書き方にも力を入れ、担当教員の添削指導で、アカデミック・ライティングの技能を高めています。



技法の修得科目群

■ Practical English

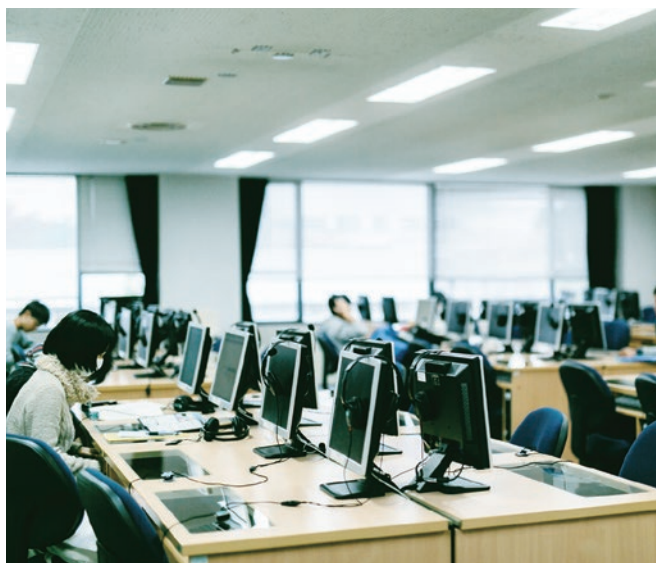
Practical Englishの目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つことにあります。授業はすべて英語で進められ、英語を使うこと、英語で考えること、英語で学ぶことを修得します。TOEFL ITP500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の修得には、授業への8割以上の出席も求められます。個別カウンセリング等をはじめ、さまざまな学生のサポートはPractical English Center（18ページ参照）が行います。



技法の修得科目群

■ 情報リテラシー

YCUでは全学生が1年次に情報リテラシーを学びます。コンピューターや情報ネットワークの用途や動作原理などの基礎知識、情報倫理、情報セキュリティを学んだ上で、表計算ソフトを用いた実践的な実習課題を行います。データの活用方法を学び、学生生活に必要な基本的スキルを身に付けます。



1年次に共通教養を学んだ学生の声

他学部の学生と自分との視点の違いを実感できることが楽しい

国際教養学部 国際教養学科 3年
神奈川県立川和高等学校卒

松尾 日菜子 Hinako Matsuo

専門との連携科目群「経営学入門Ⅱ」が特に興味深かったです。組織戦略やマーケティングについて学び、その知識は経営や起業にとどまらず、サークルやボランティアなど、自分が行っているさまざまな活動から今後の生き方にまで幅広く応用できると感じました。この科目は、国際商学部の学生が必修科目として受講しているので、商学的観点からの意見を聞くことも貴重でした。このように、共通教養科目では他学部の学生の意見を聞く機会も多く、同じテーマでも自分とは異なる視点に触れられる点がとても面白いです。



将来まで支えになる学びを身に付けることができた

データサイエンス学部 データサイエンス学科 3年
神奈川県 私立桐蔭学園高等学校卒

穂坂 琉愛 Ryuu Hosaka

専門との連携科目群「思想研究入門」の授業では、SNSの台頭やAI技術による人間の身体的发展など、現代人が直面するアイデンティティーの問題について考え、情報過多な世界でも考えることを止めないことの大切さを学びました。将来、医療ITの分野で働きたい自分にとって、非常に有益な授業でした。共通教養科目では、自分の専門科目以外も学べるため、視野を広げることができます。学年が上がると専攻する学問の専門性はより深まりますが、今後も他の分野に少しでも目を向けて、インスピレーションや感動を得ていきたいです。



これから大学で学んでいくための土台を固められる

医学部 医学科 3年
東京都 私立田園調布雙葉高等学校卒

中野 凜子 Rinko Nakano

問題提起科目群総合講義「生命科学与環境」や「物質と生命」では、入学前から関心があった生命に関わる分野を深く学ぶだけでなく、関連するテーマにも視野を広げることができました。ひとつのテーマを多角的に考えることにより、新たな気づきを得られることも実感しました。このような共通教養科目では、大学での学びや研究に向き合う心構えを学べたと思います。レポートの書き方など、大学生として学ぶ土台固められました。他学部の学生と合同で授業を受けるため、自分と違う新鮮な考えに出会える点も魅力です。



領域横断教育

YCUならではのキャリア形成プログラム

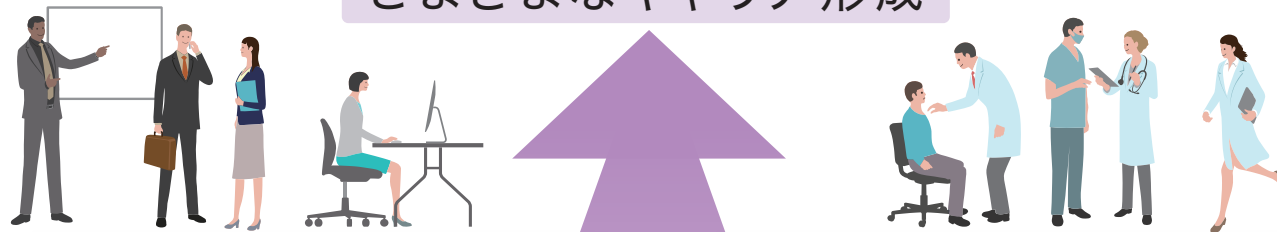
YCUでは、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部に分かれて専門を究めています。その専門性を究めるとともに、将来のキャリア形成を視野に入れ、体系化した知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。

■ 領域横断型プログラム

将来のキャリア形成を視野に入れて、学部や学科といった専門分野の枠を超え、各プログラムで設定された複数の分野を組み合わせることで学び、体系だった知識を身に付けることができます。

※2026年3月時点のプログラムです。2027年度は、変更になる可能性があります。

さまざまなキャリア形成



理数マスター育成プログラム

対象学部：理学部・データサイエンス学部

将来の科学技術を担う人材の育成を目指した研究活動支援プログラムです。理数分野の自主研究を主体として、専任教員の指導による能力向上のための体系的な教育を提供します。

医療イノベーション人材育成プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

日本の医療・介護分野を支える医療経営の専門人材を育成することを目的としています。医学部を抱え、また横浜市との密接なつながりがあるYCUだからこそ実現したプログラムでもあります。

起業家育成プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

ビジネスプラン作成のスキルを身に付けるとともに、自身のアイデアを実現したいという強いパッションを発露できる人材を育成するプログラムです。

リーダーシップ開発プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

チーム・組織の目標達成のために各々のメンバーが主体的に行動する、世界標準のリーダーシップの習得を目指すプログラムです。

YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

対象学部：国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部

原則英語のみで行われる授業を通じて、グローバルな課題を解決したり、多角的にアジア・日本を分析したりすることができる人材を育成するプログラムです。

ADEPTプログラム

対象学部：全学部

データを読み、説明し、扱うことができる基礎的能力を身に付け、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を基に、適切な活用方法等を体系的に修得できるプログラムです。

共通教養

国際教養学部

国際商学部

理学部

データ
サイエンス学部

医学部

実践的英語学習

● 理数マスター育成プログラム

理学部 理学科 3年
神奈川県立柏陽高等学校卒

余 芳洲 Hoshu Yo

1年次は研究活動をしていくうえで基礎となる論文の書き方や、研究者が守るべき倫理観などを学びます。さらにプレゼンテーションの方法を学習し、いかに簡潔な言葉で伝えるべきかということや、資料スライドに図版やアニメーションを盛り込んで視覚的にも伝わる工夫をするなど、研究発表で大切な「分かりやすく伝える力」を身に付けることができました。これらが2年次からの本格的な研究室活動につながりました。



● 医療イノベーション人材育成プログラム

国際商学部 国際商学科 4年
新潟県立高田高等学校卒

小池 咲羽 Sawa Koike

このプログラムでは、主に医療経営や医療政策に関する講義を受講しました。医療と経営の関わりを知り、1年次に学んだ経営学の知識が医療分野でも活用されていることを理解しました。また、医療政策の講義では、他国で施行されているさまざまな医療政策を学んで、非常に興味深かったです。同時に日本の医療制度や保険制度についても基礎から学べるので、今後社会で役立つ知識を得ることができました。



● 起業家育成プログラム

国際商学部 国際商学科 3年
宮城県仙台二華高等学校卒

及川 漢太 Kanta Oikawa

「理論」と「実際」の両面からビジネスを学べたことが印象に残っています。経営学や経済学の理論を学ぶ一方で、企業家の方の実体験に触れることで、ビジネスの捉え方がより具体的になりました。理論と実際という2つの領域で得た知識を、自分なりの考えとして説明することが求められた点も大きな学びでした。また、授業内で積極的に質問や意見を述べる経験を重ねる中で、自分の考えを発信する力が身についたと感じています。



● リーダーシップ開発プログラム

国際商学部 国際商学科 3年
神奈川県 横浜市立南高等学校卒

久保 莉緒菜 Riona Kubo

カナダからの留学生と共に、ソーシャル・イノベーションをテーマにした集中講義に参加しました。英語での議論や発表を通じ、社会課題へのアプローチは文化や価値観によって多様で、正解はひとつではないと実感しました。自分の意見を論理的に整理し、他者の考えを踏まえて議論を深める力が身についたと感じています。今後は、ゼミやグループ活動で多様な意見をつなぎ、主体的な議論を支える役割を担っていきたいです。



● YCUグローバル・スタディーズ・プログラム

国際教養学部 国際教養学科 4年
大阪府立箕面高等学校卒

間瀬 菜花 Nana Mase

留学生と英語で日本の社会問題を議論する「Japan from Foreigner's View」の授業や、国際機関での海外調査実習などの経験を通して、多面的な考え方や英語論文を作成するスキル、調査と発表の能力などが身に付きました。多文化視点の重要性を理解し、理論と実践の両面から考える力を培いました。今後はインドの農村に行って女性支援の活動に取り組む予定です。学びをいかして国際社会へ貢献したいと考えています。



● ADEPTプログラム

医学部 医学科 3年
神奈川県 私立聖光学院高等学校卒

田口 裕太 Yuta Taguchi

公衆衛生や地域医療に関する講義・実習を通じて、実際の医療研究で用いられる統計やプログラミングの基礎を学びました。講義では、社会全体を俯瞰する視点から医療課題を捉える重要性を理解しました。データを用いて分析する経験を重ねる中で、直観的な印象と統計的に導かれる結果が大きく異なる場合があることを実感しました。感覚だけに頼らず、数値や根拠に基づいて課題を検討する姿勢が身についたと感じています。



横浜という地域が学びの場となる

日本最大の基礎自治体としてさまざまな産業が集積する大都市・横浜には、多くの都市型の課題や地域の課題が存在しています。YCUでは、共通教養科目やゼミ、地域活動等を通じて、行政や企業、地域住民とも関わり合いながら、社会課題への実践的なアプローチを学ぶことができます。

■ 教員と学生が取り組む社会連携活動

企業緑地を活用した まち保育的環境学習プログラムづくり

多様な主体による参加・協働を学ぶ国際教養学部・三輪律江ゼミでは、まちにある様々な資源を活用し、まちの中で子どもたちが育っていく土壌を作る「まち保育」の観点から、地域の自然資源としての企業緑地に注目し、子どもたちに向けた環境学習プログラムを展開しています。私有地である企業緑地を少しずつ地域に開く試行を進めながら、企業緑地のみどり価値の見える化や地域と企業の共生に伴走しています。



科学倶楽部 「親子で楽しむ科学実験」の企画・運営

学生団体「科学倶楽部」の学生たちによる「親子で楽しむ科学実験」は、YCUのエクステンション講座（市民公開講座）として、毎年開催。地域の小学生に人気の講座となっています。講座の運営はすべて学生たちが担い、「サイエンスの楽しさや面白さを伝える」をテーマに、理科が苦手な子どもも、得意な子どもも、ひらめきや感動を味わえる実験を企画しています。



■ カリキュラムとして学修する地域志向科目

総合講義（まちづくり学入門）

前半は、大都市・横浜の歴史や、都市計画・まちづくり・防災・観光などについての講義が行われます。後半は横浜のまちづくりの第一線で活躍するプロフェッショナルの方々がゲスト講師に招いて、「まちづくり」の現場で行われているさまざまな取り組みとその課題について知り、大学での学びとの関連性について考えていきます。



総合講義（鎌倉・金沢を知る）

YCUが所在する金沢区は、鎌倉まで歩いて行くことができる、中世都市鎌倉と歴史を共有する場所です。授業では、この鎌倉・金沢地域の歴史・地理・文学・芸術に関する知識や、地域や場所の捉え方を各分野の専門家から学びます。神奈川県立金沢文庫や鎌倉歴史文化交流館を訪れて直に文化財に接することで、地域社会の課題について歴史的・文化的観点から解決する力を養う人材を育みます。



■ 社会連携センター | 社会連携センターは、市民の皆さまや地域の団体・企業・行政等と本学の「知」をつなげる窓口です。



社会連携センター長
国際教養学部 教授
三輪 律江 Norie Miwa

近年、複雑化する社会においては、多様な主体がお互いに連携しながら社会の質を高め、生活や社会の構造をより良くしていくことが求められています。このような社会からの要請を受け、大学も研究・教育と共に企業や行政、地域社会との連携を深め、課題解決や新たな価値創造に向けた使命を果たす必要があります。社会連携センターでは、本学の「知」と地域の皆さまをつなげる窓口として、研究・教育と一体となった双方向による地域連携を目指します。今後とも地域と共に学び、市民に伴走する大学として取り組んで参ります。

■ キャンパスタウン金沢

YCUと関東学院大学と金沢区が連携し“大学の活力を生かしたまちづくり”に取り組んでいます。

- 2025年度の活動**
- ① 地域と連携したリサーチから見いだしたまちの新しい魅力を具現化する「金沢八景まち歩きカード」を使ったワークショップ活動
 - ② ばあくるin並木チーム、小中高生の居場所づくり「あすなみ」チーム、胎児期からのまち保育チーム、インクルーシブ視点のまち保育チームによる「みんなでまち保育プロジェクト」
 - ③ 子どもたちに「いのち」の大切さや、自分や他者を大切にすることを育ててもらうことを目的とした小学校への訪問授業を行う「いのちの授業」



いのちの授業グループによる訪問授業の様子

■ 学生の自主的な地域活動

ボランティア支援室主催の協働プロジェクト

海洋ゴミ問題やリサイクルを通して 「環境を守る活動」



● 学生団体
「Clover（シーラバー＝sea+lover）」
海洋プラスチックゴミを減少させ海洋環境を改善させるために、株式会社シードと協働して、キャンパス内で使い捨てコンタクトレンズの空ケース（プリスター）の回収活動などを行っています。

フードロス削減に向けた 「食のサイクル活動」



フードロス削減のため、公益社団法人フードバンクかながわなどから賞味期限間近の食品等を引き取り、学生に配布する一方、学生のフードドライブ活動などを支援し「食のサイクル活動」を進めています。

学生ボランティア団体のサポート

医学部があるYCUならではの ボランティア活動



● 学生団体「one by ONE」「Hair for Children」
「医学部YDC (Yokohama Dream Catchers)」
「東洋医学研究会」等

本学では、医学部系ボランティア団体の活動を活動資金面や、補助金・助成金情報の提供、イベント等の周知などでサポートしています。

ボランティア活動

横浜マラソン2025

一般ボランティアはフィニッシュエリアで、28,700人余のランナーに「参加賞袋」を配布しました。救護ボランティアはFR[®]（初期対応）隊で活動し、学生3団体は応援パフォーマンス、給水パフォーマンスに参加しました。



※FR=First Responder

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）

パシフィック横浜展示ホールB・Cで開催された、日本とアフリカとのビジネス交流の場を提供する大規模なイベント「ジャパン・フェア」の横浜ブースで、本学の学生延べ11名がボランティアとして活動しました。



■ ボランティア支援室

学生の自主的な地域活動を支援

学生の「地域に貢献したい」という意欲や、地域での主体的な学びをサポートするため、学生の活動希望と地域からの要請（ニーズ）のコーディネート、ボランティア情報の収集と発信、また初めてボランティアに参加する学生が安心・安全に活動できるようサポートを行うなど、地域社会でのボランティアを通じて成長する学生の側面的支援を行っています。

■ ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」

- 「Volunch」は、ボランティアの楽しさを発信し、
- ①地域とYCU生をつなげる、
 - ②ボランティアに参加することで自らの経験値を上げる、
- という2つの目標を掲げ活動しています。

メンバーの興味・関心に合わせてグループを編成し、各グループでボランティア未経験の学生と取り組む「ボラツアー」を実施しています。「国際交流・地域交流」「食支援・リサイクル」「子ども食堂」などで活動し、地域団体との連携イベントを企画することもあります。また、夏休みには例年、地域の子どもたちとの交流を楽しむ「寺子屋塾 西大道」に参加しています。



寺子屋塾 西大道



野島海岸清掃ボラツアーの様子



グローバル教育



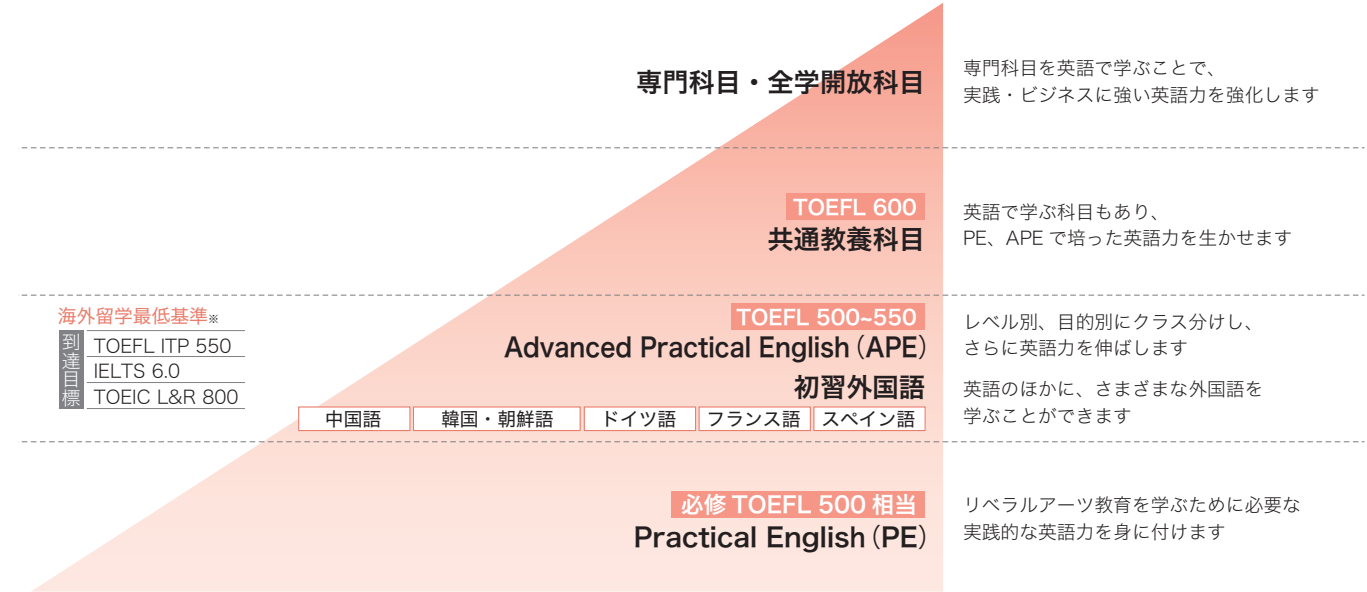
グローバル教育
サイト

キャンパスで学ぶ | 世界を相手にする語学力と適応力を手に入れる

Campus

YCUは、皆さんの語学力を試す場としてさまざまな機会を用意しています。海外への留学もそのひとつですが、段階的な科目の履修などにより、キャンパスの中で自分の語学力を伸ばすこともできます。海外からYCUへやって来る留学生との交流を通じて留学への意欲を醸成します。

■ 語学教育体系



※本基準は、海外の大学で専門科目の単位取得を目指す場合の国際的な基準です。本学学内における海外留学・研修プログラムの基準と異なる場合があります。

■ キャンパスにいながらのグローバル体験



サマープログラム

海外の協定校等から学生を受け入れ、一緒に授業を受けグループワークをしたり、研究活動を行ったりするプログラムです。英語による国際交流という目的だけでなく、さまざまな考え方や発想に触れ、授業等の理解も深まります。



英語開講科目

YCUでは、英語で学ぶ科目を120科目以上開講しており、YCU生と外国人交換留学生在が共に学んでいます。また、海外から講師を招いての英語での集中講義も開講しています。



チューター制度

履修登録のアドバイスやキャンパス案内など、YCU生が留学生の大学生活をサポートする制度です。こうした国際交流をきっかけとして、海外留学を目指す学生も多くいます。



PEセンターサイト▶

Practical English Center (PEセンター)

PEセンターでは学生の英語修得を支援するために、個別カウンセリング等による学生へのサポートや、マンツーマンでのスピーキング練習 (One-on-One Communication)、魅力あふれるネイティブ講師と気軽に英会話を楽しめるコミュニケーション・アワーなどを設けています。医学部がある福浦キャンパスの分室でも、ネイティブ講師が学習を支援します。「入学後も英語力を高めたい!」「到達目標に達するか不安……」など、さまざまな思いを抱く受験生の皆さんも、YCUのPEセンターが用意するプログラムやサポートを活用して主体的に学べば、きっと夢の実現に近づけるはずです!



海外で学ぶ | 海外で学び、実践する、挑戦する

Overseas

YCUでは、期間や内容などの異なる多種多様な留学を大学公式プログラムとして位置付けています。これらのプログラムに参加した場合、経済的な支援や、YCUでの履修との両立など、さまざまな面で大学からサポートを得ることができます。

■ YCUの留学プログラム

期間	種類	特徴	経費※
短期留学 (2週間～半年以内)	第2クォータープログラム	必修科目が配置されていない2年次前期後半 (第2クォーター: 6～9月) を利用して、渡航先での学部授業やサマースクール、語学研修など多様な海外体験ができるプログラムです。	1か月: 45～120万円
	短期語学研修	夏季休業期間や春季休業期間に、海外大学付属の語学学校等で語学研修を受けられます。本学の協定校で実施されるプログラムや、学外推奨団体が紹介するプログラムがあります。	1か月: 80万円～
長期留学 (半年～1年)	交換留学プログラム	YCU が提携した海外協定校に留学し、専門分野を学修します。学ぶだけでなく、その土地で暮らすという貴重な経験ができることも交換留学の大きな魅力です。	半年: 70万円～ 1年: 120万円～
その他	海外フィールドワーク支援プログラム	ゼミや授業の一環として、海外調査や実習を現地で実際に行うプログラムです。[1 週間程度]	大学WEBサイト および募集要項 をご確認ください
	海外キャリア教育プログラム	海外の企業・機関等で実際に就業体験ができるプログラムです。[3 週間]	
	医学科プログラム	42 ページ参照	
	看護学科プログラム	47 ページ参照	

※経費は、学費・渡航費・食費などの生活費の概算です。また、渡航先や期間により異なります。なお、2025年度の為替レートに基づき掲載しているため、今後変動する可能性があります。

■ 留学のための経済支援

留学するとすると、やはりそれなりの費用が必要となりますが、皆さんの渡航を実現させるための経済的支援として、留学で利用できる奨学金制度をご案内しています。

1) YCU100募金「ビジネス人材育成・留学支援プロジェクト」奨学金

はまぎんGlobal Challenge

横浜銀行から本学100周年プロジェクトへの寄付金より奨学金を支給します。海外インターンシップ、海外ボランティア、海外長期・短期留学など既存のプログラムだけでなく、学生の海外における積極的なチャレンジを支援します。

2) 日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣)

交換留学に応募する成績優秀な学生に奨学金を支給します。

※日本学生支援機構への申請結果により、年度ごとに支給有無や奨学金は変更となる可能性があります。

3) 海外留学のための奨学金情報紹介・応募支援



都市問題解決に向けた知的ネットワーク

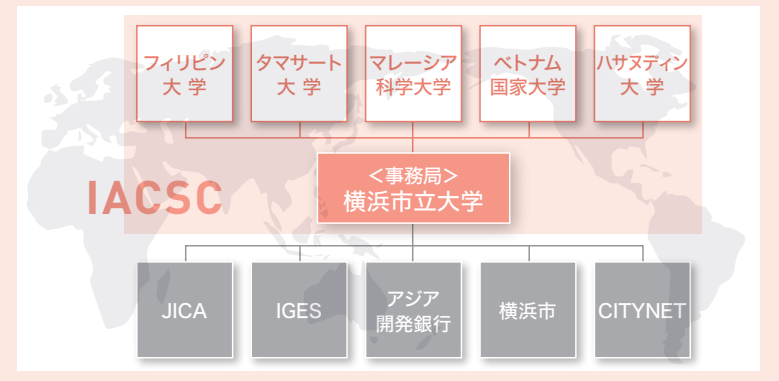
アカデミックコンソーシアム

YCUは、アジア各国のトップ大学と協働で、主にアジア各都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム (IACSC)」を2009年に創設し、横浜市およびJICAをはじめとした国際的機関等と連携しながら、都市の抱える課題「環境」「まちづくり」「公衆衛生」などの解決に向け取り組んでいます。

IACSCについて▶



アカデミックコンソーシアム (IACSC)



海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進するYCUでは、その中の34の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。

国際交流実績

世界各国	学生国際交流が可能な 大学・機関等の数	短期留学生 派遣数	長期留学生 派遣数	外国人留学生数	海外 フィールドワーク 参加者数
34の国・地域 (2026年3月現在)	85大学・研究所 (2026年3月現在)	152人 (2025年度)	67人 (2025年度)	169人 (2025年11月現在)	80人 (2025年度)

YCUの国際交流ネットワーク | 世界34の国・地域の大学・研究機関等とのネットワーク



ヨーロッパ

- イギリス**

 - アペリストウィス大学
 - キール大学
 - グラスゴーカレドニアン大学
 - スウォンジー大学
 - ド・モントフォート大学
 - ポーツマス大学
 - リーズ・トリニティ大学

イタリア

 - カターニャ大学
 - ベネチア大学

オーストリア

 - ウィーン大学

オランダ

 - トゥウェンテ大学
 - ユトレヒト大学

スイス

 - チューリヒ大学

スウェーデン

 - オレブrou大学
 - ハルムスタッド大学

スペイン

 - サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
 - ナバラ大学
 - パルセロナ自治大学
 - マドリッド・コンプルテンセ大学
- セルビア**

 - ベオグラード大学

ドイツ

 - ヴィルツブルク大学
 - ゲーテ大学
 - フライブルク大学

トルコ

 - 中東工科大学

ハンガリー

 - エトヴェシュ・ローランド大学

フィンランド

 - オウル大学

フランス

 - ケッジビジネススクール
 - ストラスブール大学
 - パリ・シテ大学
 - リヨン第3大学

ベルギー

 - ルーヴァン・カトリック大学
 - ルーヴェン・カトリック大学

ポーランド

 - ヤゲウォー大学

リトアニア

 - カウナス工科大学

ルーマニア

 - ブカレスト大学

中南米

- ブラジル**
- リオグランデ・ド・スル連邦大学
- メキシコ**
- アメリカス・エブラ大学(UDLAP)

北アメリカ

- アメリカ**

 - ウィーバー州立大学
 - カリフォルニア大学サンディエゴ校(UCSD)
 - サウスカロライナエイキン大学
 - サザン・メイン大学
 - サンディエゴ州立大学(SDSU)
 - サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所
 - シンシナティ小児病院
 - セントクラウド州立大学
 - ニューヨーク州立大学ストーニブルック校
 - フロリダ国際大学
 - 米国管理会計士協会(IMA)
 - ラホヤアレルギー免疫研究所
 - ローワン大学
- カナダ**

 - ヒューロン大学カレッジ
 - プリティッシュコロンビア大学(UBC)
 - マニトバ大学
 - メモリアル大学
 - モントリオール大学

アジア・オセアニア

- シンガポール**

 - シンガポール国立大学

タイ

 - ウボンラチャタニ大学
 - カセサート大学
 - タマサート大学
 - チェンマイ大学

フィリピン

 - フィリピン大学

ベトナム

 - ハノイ大学
 - ベトナム国家大学
 - ホーチミン市校
 - 貿易大学
- マレーシア**

 - マレーシア科学大学

中国

 - 上海交通大学
 - 上海師範大学
 - 北京師範大学

台湾

 - 国立虎尾科技大学
 - 国立成功大学
 - 国立政治大学
 - 国立台湾科技大学
 - 国立台湾師範大学
 - 長庚大学
 - 東海大学
- 韓国**

 - 仁川大学校
 - 光州科学技術院
 - 高麗大学校(世宗キャンパス)
 - 淑明女子大学校
 - 世明大学校

インドネシア

 - ハサヌディン大学

ネパール

 - クオバ工科大学

オーストラリア

 - キャンベラ大学

※上記協定校以外にも、本学の学生が経験を積める大学や機関があります。

第2クォータープログラム

- 留学先 ビクトリア大学(カナダ)
- 期間 2024年8月～(3週間)

「英語を話す勇氣を
手に入れた3週間



ヨコ知り!

理学部 理学科 4年
神奈川県立小田原高等学校卒
進村 心花 Manaka Shimura

理学部の授業と両立するため、8月に出発する留学に参加しました。現地の大学では3週間の英語授業を受け、現地の学生と観光やアクティビティも楽しみました。授業では初めて英語のプレゼンテーションを経験し、準備は大変でしたが、発表後の達成感は大きかったです。また、ホストファミリーの手厚いサポートのおかげで、安心して生活できました。留学を通じて、英語に対する抵抗感がなくなり、「完璧な語学力」よりも「話そうとする姿勢」が大切だと学びました。今後もYCUのPEセンターなどで積極的に英語を使い、留学生をサポートする活動にも関わっていきたいです。

交換留学プログラム

- 留学先 セントクラウド州立大学(アメリカ)
- 期間 2024年8月～(9か月)

限られた時間で、
学びを最大化した留学経験



ヨコ知り!

データサイエンス学部
データサイエンス学科 4年
神奈川県 私立逗子開成高等学校卒

石松 慧大 Keita Ishimatsu

自身の英語力を試したいという思いと、海外におけるデータサイエンス分野の学びや実務の実態を知りたいという関心から、留学に挑戦しました。学部を超えて多様な授業を履修できる環境の中で、プログラミングやCPUの仕組みを理論と実践の両面から学び、理解を深めることができました。音楽分野の授業や演奏活動を通じた交流も印象に残っています。留学生活を通して主体的に学ぶ姿勢が身に付き、多様な英語にも慣れ、英語でのコミュニケーションに自信が持てるようになりました。この経験を生かし、グローバルな環境での対話力をさらに磨いていきたいと考えています。

交換留学プログラム

- 留学先 オウル大学(フィンランド)
- 期間 2024年9月～(9か月)

現地企業の分析を通して学んだ、
実践的な経営戦略



ヨコ知り!

国際商学部 国際商学科 3年
静岡県立静岡城北高等学校卒
片山 幸之輔 Konosuke Katayama

YCUで交換留学生のチューターを務め、フィンランド人留学生と交流したことをきっかけに留学を決意しました。現地ではビジネスを専攻し、実在する現地企業の経営戦略を分析する授業に取り組み、グループ発表で高い評価を得られたことが印象に残っています。実践的な学びを通して、現地の産業や市場への理解を深めることができました。また、雪景色や湖、オーロラなど北欧の豊かな自然に触れ、心に余裕のある時間を過ごしました。留学を通して、日常の小さな幸せやワークライフバランスの大切さを実感し、今後はその価値観を軸に自分らしいキャリアを築きたいと考えています。

はまぎんGlobal Challenge

- 留学先 認定NPO法人e-Education(フィリピン)
- 期間 2024年3月～(12か月)

行政や大学と連携し、
寄付講座を実現できた



ヨコ知り!

国際教養学部 国際教養学科 4年
徳島県立城南高等学校卒
長尾 美咲 Misaki Nagao

ソーシャルビジネスを通じて教育格差の解消に関わりたという考え、認定NPO法人e-Educationの海外インターンに参加しました。フィリピン北部のカミンギン島に常駐し、英会話事業の推進や、日本就労を目指す学生向け日本語講座の立ち上げに携わりました。行政や大学、企業と連携して寄付講座を実現する過程では、立場や考え方の違いを丁寧な対話で調整する必要があり、自分の言動が周囲に与える影響を強く意識するようになりました。相手の背景を理解し、小さなコミュニケーションを積み重ねる姿勢が身に付いたと感じています。将来は、この経験を生かし、日本と新興国を対等につなぐ仕事に携わりたいと考えています。

School of International Liberal Arts

国際教養学部

学部サイト



国際教養学科

学位 ■ 学士(学術) 取得できる資格 ■ 教員免許(英語)

国際教養学部は、多様化が進む現代社会を主体的に生きるための思考力と実践力を備えた、YCU発の国際教養人を育成します。フィールドワーク、多文化理解、英語＋初習外国語による複言語教育を通じて、国際都市・横浜という地域性を生かし、世界と地域をつなぐ「グローバル」な視点を育てます。また、データサイエンス・AIの基礎と、人文学・社会科学にもとづく人間理解を組み合わせたリベラルアーツ教育により、急速に変化する社会で求められるリテラシー、倫理的判断力、課題発見力を身に付けます。

特色01 文理融合型のリベラルアーツ教育

人間・文化・社会への理解とデータサイエンス的思考を統合し、複雑な問題に多角的に向き合う力を育成します。1年次からデータサイエンス科目を体系的に学び、データ分析力、人間理解のリテラシー、倫理的視点を養います。テクノロジーの操作だけでなく、その背景や価値を読み解き、社会で意味ある問いを立てる力を育みます。

特色02 国際都市・横浜でのフィールドワーク

2年次以降の「リテラシーゼミ」「演習」では、多文化共生や産業集積など多様な特徴を持つ横浜での体験を通して学びを深めます。国際機関・団体や文化施設での活動により、理論と現場を往復しながら課題に取り組む姿勢を養い、議論と協働を重ねることで社会に働かせる力を身に付けます。

特色03 複言語・複文化教育

英語＋初習外国語を必修とし、複数言語を理解し運用する複言語・複文化能力を育成します。日本をはじめとする世界地域の言語・歴史・文化を横断的に学び、洞察力と批判的思考力を高めます。多様なメディアを読み解く力を育成し、AI時代にふさわしい表現力と発信力へとつなげます。

学部長 Message



文理融合型リベラルアーツで変化する社会にて活躍できる人材を育成！

国際教養学部長
柿崎 一郎 Ichiro Kakizaki

2027年度から国際教養学部は新しく生まれ変わります。人文学・社会科学が育んできた人間・文化・社会への深い洞察力に、AI・データサイエンスの基礎的素養を組み合わせた、実践的な文理融合型リベラルアーツ教育を展開します。また、国際都市・横浜に立地する強みを生かしたフィールドワークや複数の外国語運用能力を基盤に、論理的な思考力、相手に伝わるコミュニケーション能力、獲得した知識を社会で生かすための応用力を磨きます。さらに、デジタル技術を適切に活用し、操作するために必要なリテラシーや倫理的視点を身に付けます。国際教養学部での学びを通して、変化する社会で活躍できる国際人を目指しましょう。

■ 4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
特長	入門科目やリテラシー論を学び、データサイエンスやAI倫理の基礎を固め、英語と初習外国語の学修により複言語運用能力を養う	2つのドメイン(学問領域)「グローバルリテラシー」か「人文学・メディアリテラシー」を選び、後期から専門ゼミに所属し、専門領域を学ぶ	専門領域の学びを通して、多角的な視点から社会課題を読み解く	学びの集大成として、研究課題に基づく卒業論文を執筆する
専門		専門領域＋段階的な初習外国語の履修、フィールドワーク、留学などの体験を通じて、複言語・複文化リテラシーを高め、グローバルな視点を生かして課題を発見する	大学院科目の早期履修	
共通	教養ゼミ/基礎ゼミ	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(必修)	卒論演習Ⅰ・Ⅱ(必修)	
領域横断	Practical English	Advanced Practical English		

■ 国際教養学部専門科目一覧

ドメイン科目 (グローバルリテラシー)	International Relations 家族社会学 国際協力論 地方自治論 南アジア研究	アジア地域論 観光政策論 社会学 中国研究 メディア社会学	アフリカ社会論 韓国朝鮮研究 社会心理学 調査設計論 臨床心理学	インクルージョン論 経済地理学 社会福祉論 都市財政論	エスニシティ論 現代教育論 心理学研究法 東南アジア研究	オルタナティブ教育論 現代社会学 身体運動科学 認知心理学	ジェンダー論 国際開発学 多文化社会学 発達心理学	運動生理学 国際機構論 地域開発論 比較地方自治
ドメイン科目 (人文学・メディアリテラシー)	Cultural Representation アメリカ史 欧米の歴史 中東社会・文化論 日本近代文学	English Literature A アメリカ文学A 現代倫理学 哲学的人間論A 日本古典文学	Introduction to Performing Arts イギリス文化論 言語学 東アジア史A 日本文化史A	Elements of Fiction イギリス文学B 国際関係史 東南アジア史 文化人類学	Linguistics (Discourse & Pragmatics) ドイツ文化論A 社会言語学 東洋思想 理論言語学	Second Language Acquisition ドイツ文化論B 宗教論 東洋文化 歴史学		
その他	American Literature in English Explication of American Literary Text B Japanese Literature in English グローバル公共政策論 グローバル政治論 ラテンアメリカ研究 英米言語文化B 国際関係論 男女共同参画社会論 日本外交論 文化社会学B	British Literature in English Global Issues Learning Global Cooperation in English コミュニケーション論 グローバル政治論 ロシア・東欧の文化 英米文学講読 国際経済社会論 地域保健医療福祉論 日本近代史B 平和構築論	Explication of American Literary Text A Global Issues International Cooperation in Urban Development アメリカ文化論 メディア英語 英語学 現代美術論 市民社会論 中国文化論A 日本語文学	Explication of American Literary Text A Japan and International Cooperation アメリカ文化論 ヨーロッパ史 英語構文研究 高年齢社会論 社会理論 中国文化論B 日本思想史				
外国語・実習・専門ゼミ	フランス語教養実践 専門外国語(中国語) キャンパス起業体験実習	ドイツ語教養実践 専門外国語(韓国・朝鮮語) リテラシーゼミ	スペイン語教養実践 アジア諸言語(タイ語) 演習Ⅰ	中国語教養実践 アジア諸言語(ベトナム語) 演習Ⅱ	韓国・朝鮮語教養実践 地域調査実習 演習Ⅲ	専門外国語(フランス語) 海外文化実習 卒論演習Ⅰ	専門外国語(ドイツ語) 海外調査実習 卒論演習Ⅱ	専門外国語(スウェーデン語) 専門インターンシップ実習 卒業論文

※科目一覧は、2026年4月1日時点の情報です。今後、科目名等に変更となる場合があります。

■ 国際教養学部のドメイン教育 複数の文化を横断する思考×国境を越える対話力

国際教養学部では、グローバルな対話を可能とする多角的な視点と横断的な思考を基盤に、次の2つのドメイン(学問領域)から専門性を深めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

「模擬アフリカ連合会議」に挑戦！ 世界への扉を開く貴重な経験

2024年に開催された「第1回 模擬アフリカ連合(AU)会議」(UNDP、JICA、各国大使館などが共催)に国際教養学部の学生4人が参加しました。会議には国内外の学生100人以上が参加し、参加者は自身が担当するアフリカ各国の代表になりきって国際交渉を重ね、アフリカ諸国が実施するべき政策や今後の方針をまとめた合意文書「模擬AU決議」を作り上げました。今回のアジェンダは「グリーンエコノミー・気候変動」で、参加者は各国代表の立場・視座から、環境や開発に関するSDGsをいかに達成していくかを考え、議論する、貴重な学びの機会となりました。(西海 洋志准教授)



■ Pick up 授業

比較地方自治

新垣 二郎

日本の地方自治の仕組みが海外諸国と比較してどのような特徴を持っているのか、そして、現在の仕組みがどのような歴史的経緯をたどってきたのか、という2つのテーマを扱います。地方自治の仕組みを多角的に学ぶことは、これからの地域社会や都市のあり方、まちづくりや自治体サービスの方向性を考える上でとても重要です。公務員志望の方はもちろん、民間就職を考えている方にもぜひ履修してほしい講義です。



ドイツ文化論

大澤 遼可

この講義ではドイツ文学の最盛期である19世紀前後の文学作品、その中でも特にドイツ・ロマン派の文学を中心に扱いながら、その読解をしています。ドイツ文学の読解を通じて、ドイツ語圏の文化的・思想的背景に対する理解を深めることが目的です。この経験によって最終的には、ドイツ語圏に限らずあらゆる言語・文化圏の文学や文化に触れる際にも、積極的に関わりながら理解していくことができる素地の形成を目指しています。



■ 主な科目紹介

エスニシティ論

民族・言語・文化・宗教等の違いが社会に与える影響を学びます。エスニシティは生まれながらに決定されるのではなく、歴史や権力関係によって変容し得ることを理解し、差別や排除の仕組みや、多様な人々が共に生きられる社会を考察します。

■ 教員一覧 (2026年4月時点)

地球環境政策論 青 正澄 Masazumi AO	教授	都市環境政策論 青木 えり Eri AOKI	准教授 ★	地方自治論 新垣 二郎 Jiro ARAKAKI	准教授	言語学 有井 巴 Tomoe ARII	准教授	観光政策論 有馬 貴之 Takayuki ARIMA	准教授	現代倫理学 有馬 斉 Hitoshi ARIMA	教授
都市防災計画論 石川 永子 Eiko ISHIKAWA	准教授 ★	グローバル政治論 上村 雄彦 Takehiko UEMURA	教授	臨床心理学 浮田 徹嗣 Tetsuji UKITA	准教授	発達心理学 江上 園子 Sonoko EGAMI	教授	ドイツ文化論 大澤 遼可 Haruka OSAWA	講師	都市財政論 大島 誠 Makoto OOSHIMA	教授
イギリス文化論 大西 寿明 Toshiaki ONISHI	准教授	東アジア史 乙坂 智子 Tomoko OTOSAKA	教授	アジア地域論 小野寺 淳 Jun ONODERA	教授	東南アジア史 柿崎 一郎 Ichiro KAKIZAKI	教授	日本近現代史 金山 泰志 Yasuyuki KANAYAMA	准教授	哲学的人間論 川瀬 和也 Kazuya KAWASE	准教授
都市解析 後藤 寛 Yutaka GOTO	准教授 ★	身体運動科学 塩尻 智之 Tomoyuki SHIOJIRI	准教授	日本近代文学 庄司 達也 Tatsuya SHIOJI	教授	都市デザイン論 鈴木 伸治 Nobuharu SUZUKI	教授 ★	国際機構論 高橋 力也 Rikiya TAKAHASHI	教授	多文化社会論 滝田 祥子 Sachiko TAKITA	教授
英語学 土屋 慶子 Keiko TSUCHIYA	教授	現代社会論 角田 隆一 Ryuichi TSUNODA	准教授	エスニシティ論 坪谷 美欧子 Mioko TSUBOYA	教授	アングロ・アメリカ文芸批評論 中谷 崇 Takashi NAKATANI	准教授	現代教育論・教育制度論 中村 恵佑 Keisuke NAKAMURA	講師	都市計画論 中西 正彦 Masahiko NAKANISHI	教授 ★
国際関係論 西海 洋志 Hiroshi NISHIKAI	准教授	社会福祉論 根岸 弓 Yumi NEGISHI	准教授	フランス文化論 平松 尚子 Naoko HIRAMATSU	准教授	表象文化論 廣瀬 絵美 Emi HIROSE	講師	中国文化論 藤井 得弘 Tokuhiro FUJII	准教授	日本文化史 松本 郁代 Ikuyo MATSUMOTO	教授
外国語教育学・国際英語論 水倉 亮 Ryo MIZUKURA	准教授	参加・協働論 三輪 律江 Norie MIWA	教授 ★	中東社会・文化論 山崎 和美 Kazumi YAMAZAKI	准教授	欧米の歴史 山根 徹也 Tetsuya YAMANE	教授	国際協力論 吉田 栄一 Eiichi YOSHIDA	教授	社会理論 渡倉 知子 Tomoko WATARAI	准教授
ヨーロッパ統合論 和仁 道郎 Michiro WANI	准教授	※ 上記★印の教員は、2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、2027年4月よりデータサイエンス学部へ配置変更予定です。									

国際教養学部

横浜という都市やまちづくりについて
学びを深められる環境

国際教養学部 国際教養学科 4年
神奈川県 横浜市立横浜商業高等学校卒
高橋 桃花 Momoka Takahashi

「都市」について興味があり、この学部を選びました。都市環境やまちづくりについてさまざまな視点から学んでおり、中でも出身地横浜のまちづくりは興味深いものがあります。2年次の夏休みにはアイルランドへ語学留学にも行きました。これまでの学びを基礎に、4年次では、さらに自分の興味関心を探究していきたいです。
※2026年4月現在の情報です。2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、学びの内容が変更になる場合があります。

国際教養学 国際教養学科 4年
石川県立小松高等学校卒
宮下 莉子 Riko Miyashita

海外調査実習では、途上国農村の小規模農業支援や貧困削減をテーマに、国連機関に関する調査と英語論文の作成に取り組みました。その成果をもとに、イタリア・ローマの国連機関を訪問し、現地で研究発表と意見交換を行いました。今後は多様な価値観を尊重しながら、国際社会の課題解決に貢献できる人材を目指したいです。

自身の強みを磨いていく
多様な価値観を尊重しながら、
自身の強みを磨いていく

ヨコ知り！

ヨコ知り！



■ 卒業後の主な進路



大学院紹介

都市社会文化研究科

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies

都市社会文化専攻

私たちの暮らしに身近なテーマをはじめ、現代社会に迫るさまざまな課題を総合的に捉え探究する力、課題の解決を実践する力を身に付けます。大学が立地する横浜を基盤とした“ローカルな視点”、そして対極にあるかのように見える“グローバルな視点”、さらに人文社会科学や自然科学等の多分野の領域を横断する「知」を獲得しながら、現今の世界や社会が当面する課題に向き合います。また、大学院科目早期履修制度（5年一貫教育）を利用することで、本学卒業後プラス1年で大学院を修了することも可能です。

修了後の主な就職先 ● アクセンチュア、阪急阪神不動産、横須賀市役所 等



School of Economics and Business Administration

国際商学部

学部サイト



国際商学科

学位 ■ 学士(経営学)・学士(経済学)

国際商学部では、ビジネスの共通言語である経営学・経済学を世界標準で学び、グローバル企業に必要な経営管理能力、新事業を創造する企画立案力、マネジメントの高度な実学能力を養います。ビジネスの現場で役立つ確かな英語力も身に付け、国内外のインターンシップやフィールドワーク、海外大学とのサマープログラムなどの多彩な学習で、学問的な理論・知識に加えて実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関で活躍できる職業人を育成します。

特色01 交換留学生と共に英語で専門科目を学ぶ

グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、仕事に生かせる実践的な英語力です。国際商学部では、英語による専門科目を交換留学生と共に学びます。

特色02 実践力を養うビジネスコンテスト

国際商学部では、これからのビジネスには欠かすことのできないグローバルな視点と企画立案力を、入学後の早い段階から意識できるような学びがあります。ビジネスコンテストで顕著な実績を誇る学生を輩出し、多くの企業から高い評価を得ています。さらにアントレプレナーシップ論や同実践論などの科目も開講しており、学生の起業家精神を育成する環境も整っています。

特色03 ビジネスに生かせるデータ分析力の育成

新規ビジネスの世界では、膨大なデータを分析する能力が必要です。国際商学部では、文系では国公立大学においてすらし、文部科学省によるMDASH（数理・データサイエンス・AI教育プログラム）応用基礎レベル認定プログラムを提供しており、原則履修を求めています。

特色04 医学部と連携した医療経営

高齢化社会では医療に関する課題に経済・経営的な視点からの解決が強く求められており、医学部やデータサイエンス学部と連携し、「医療経済学」、「医療政策学」、「医療イノベーション経営管理論」等の特色ある科目を設け、時代が求める専門家も育成しています。

経営学

実学

経済学

実社会で使える**英語力**

問題解決のプロセスを身に付ける
企画立案型実習

創造的思考力を養成する
文理融合型実習

グローバル企業に必要な
経営管理能力

新事業を
創り出す
企画立案力

■ 4年間の学びのイメージ

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
特長	国際商学部の入門科目を学び、基礎を固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める	学修をさらに進化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
専門		海外研修 前期には、学外研修として、海外大学の学部授業やサマースクール等、積極的に海外での学びを推奨する期間があります	交換留学 ● 3年後期から、半年～1年交換留学に出ても、4年で卒業できる仕組みがあります ● 国際商学部のみ学部交換留学もあります	大学院科目の早期履修
共通	教養ゼミ/基礎ゼミ	プレゼミ 専門科目（基礎）英語開講を含む	演習 専門科目（応用）英語開講を含む	卒論演習
領域横断		全学開放科目 共通教養科目 Practical English	Advanced Practical English	

■ 国際商学部専門科目一覧

専門科目	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ	マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ	情報の経済学Ⅰ・Ⅱ	ゲーム理論	契約理論	景気循環論	経済成長論	労働経済学
	経済統計Ⅰ・Ⅱ	計量経済学Ⅰ・Ⅱ	公共政策	財政学Ⅰ・Ⅱ	公共選択論	公共経済学	地方財政学	社会保障論
	都市経済学	地理情報システム論	環境経済学	資源経済学	経済政策Ⅰ・Ⅱ	産業組織論	医療経済学	医療政策学
	金融論Ⅰ・Ⅱ	金融システム論	ファイナンス理論	国際経済学Ⅰ・Ⅱ	国際金融論Ⅰ・Ⅱ	経済数学		
	Topics in Microeconomics	Topics in Data Analysis	Advanced Topics in Microeconomics	Japanese Economy	Topics in Economics A・B	Economic AnalysisⅠ・Ⅱ・Ⅲ		
	企業論	ベンチャービジネス論	中小企業論	国際経営論	多国籍企業論	経営史	ビジネスエコノミクス	
	経営戦略論	企業戦略論	経営組織論	経営労務	人的資源管理論	組織文化論	組織行動論	
	マーケティング論	マーケティングリサーチ	消費行動論	サービス・ビジネス論Ⅰ・Ⅱ	経営情報論	生産管理論	イノベーション・マネジメント	
	経営財務論	コーポレート・ファイナンス	証券市場論	医療経営論	リスクマネジメント論	公共経営論	流通ロジスティックス論	
	International Business		Global Management in Japanese Companies		Global Leadership		Business Economics	
Global Business Strategy		Global Business Administration		Global Organization Theory		Global Human Resource Development		
Global Marketing		Global Innovation Management		Global Service Management		Japanese Industry		
商業簿記Ⅰ・Ⅱ	工業簿記	会計学原論Ⅰ・Ⅱ	財務諸表論	財務諸表分析Ⅰ・Ⅱ	国際会計論	税務会計論	国際税務戦略	
租税法	監査論	管理会計論	原価計算論	コストマネジメント論	公会計論	医療イノベーション経営管理論		
行政法Ⅰ・Ⅱ	民法・物権Ⅰ・Ⅱ	民法・債権Ⅰ・Ⅱ	環境法	会社法				
コーポレート・ガバナンス	商法	ビジネス法務	手形小切手法	金融商品取引法	倒産法			
Introductory AccountingⅠ・Ⅱ		Intermediate Accounting	Introduction to IFRSs	Topics in Accounting A・B		Basics of Corporate Analysis and Valuation		
サマープログラム	インターンシップ実習	企画立案型実習 A・B	文理融合型実習 A・B	アントレプレナーシップ論	アントレプレナーシップ実践論			
専門ゼミ								
プレゼミA	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ	卒論演習Ⅰ	卒論演習Ⅱ	卒業論文		
※科目一覧は、2026 年 4 月 1 日時点の情報です。今後、科目名等に変更となる場合があります。								

※科目一覧は、2026年4月1日時点の情報です。今後、科目名等は変更となる場合があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

水産エコラベルの促進に向けた活動など(柴田ゼミ)

経済価値と社会価値の両立を重視し、消費者の心理と行動に基づいたマーケティング活動にチャレンジしています。横浜南部市場の株式会社横浜食品サービスと連携し、水産エコラベル「マリン・エコラベル・ジャパン（MEL認証）」普及に向け、効果的な伝達方法を検証し、「魚の減少」「魚食の拡大」の問題に取り組んでいます。また、食品ロス削減を目指し、同社との商品開発や、横浜中華街展覧会協同組合（食べ残しの持ち帰り「打包（ダバ）」促進）、ローン・横浜市大生協（余剰商品の期間限定販売プロモーション）等と連携しながら研究活動を進めています。



①魚食拡大・食品ロス改善に向けた商品の試作品



②学生による店頭調査の様子

学部長 Message



人と進んで交わり、共に資質を高める

1882年の横浜商法学校を創基とする国際商学部は、伝統である開放的で国際性・進取性に富む学風により、課題発見力と課題解決力の双方を備える人材をこれまで数多く輩出してきました。国際商学部では、国際標準の経済学と経営学を基盤として、自らの好奇心や使命感に基づいて納得のいくまで専門領域を深めることができます。その機会として、少人数の仲間と切磋琢磨しながら学ぶことができる専門ゼミ、企画立案型実習、文理融合型実習、英語による専門科目、交換留学や海外研修といった海外での学び、これまでの学びの集大成として取り組む卒業論文・研究などがあります。さらに、国際商学部独自のデータサイエンス人材育成プログラムを用意しています。数理・データサイエンス・AIの基礎的素養と経済学・経営学とをつなげることで、高度な実学素養を身に付けることができます。

国際商学部長
吉永 崇史 Takashi Yoshinaga

Pick up 授業

アントレプレナーシップ論

伊藤 智明

アントレプレナーシップは、起業家に限らず、あらゆる人々に関わるテーマです。皆さんはアントレプレナーシップをどのようなのだと考えますか？ 私は「いまの世の中の常識をもっと優しいものに変える営み」のことだと思っています。アントレプレナーシップ論で受講生は自らの起業家的な経験を語るようになります。皆さんが語りやすいように、起業家の語りから制作した絵画を鑑賞しながら、それぞれの経験を語ってもらいます。



Advanced Topics in Microeconomics

大谷 秀平

開発・製造に時間も金もかけた自慢の商品。どんな売り方でいくら値をつけるべきか？ 一企業の最適な販売戦略を見つけるためには、もちろん競合企業の戦略も無視できませんし、そもそも消費者が自社商品を選んでくれる動機を理解することが不可欠です。これら企業・消費者という「個人の経済行動」を「ミクロ経済学」は分析します。この授業では、学部必修のミクロ経済学で得た知識を前提に、さらに深い内容を英語で学びます。



主な科目紹介

国際会計論

国際商学部が求めている3つの素養（英語×専門知識（財務会計）×アナリティカル・スキル）を併用し、国際財務報告基準を適用している欧州企業の財務情報を用いて、実践的に分析する方法を身に付けることを目的としています。

Global Business Strategy

経営戦略について、理論とともに主に米国の最新の企業事例を用いて学びます。将来、皆さんが戦略を立案・実行できるような学びを提供します。英語での講義となりますが、サポートしていきますので一緒に頑張りましょう。

教員一覧 (2026年4月時点)

計量経済学・実証産業組織論 池上 慧 講師 Kei IKEGAMI	アントレプレナーシップ論 伊藤 智明 准教授 Chiaki ITO	ビジネスエコノミクス 岩佐 朋子 准教授 Tomoko IWASA	民法・物権 大澤 正俊 教授 Masatoshi OSAWA	産業組織論 大谷 秀平 講師 Shuhei OTANI	都市経済学 大塚 章弘 教授 Akihiro OTSUKA
医療経済学 加藤 弘陸 准教授 Hirotaka KATO	財政学 鞠 重鎬 教授 Joongho KOOK	公共経済学・数理経済学 虞 朝聞 准教授 Chaowen Yu	人的資源管理論 小泉 大輔 准教授 Daisuke KOIZUMI	公共経営論 佐藤 亨 准教授 Toru SATO	マーケティング論 柴田 典子 教授 Noriko SHIBATA
計量経済学 白石 小百合 教授 Sayuri SHIRAIISHI	金融論 随 清遠 教授 Qingyuan SUI	経営戦略論 高木 俊雄 教授 Toshio TAKAGI	税務会計論 高橋 隆幸 教授 Takayuki TAKAHASHI	国際経済学 田場 弓子 准教授 Yumiko TABA	国際会計論 張 櫻馨 教授 YingHsin CHANG
経営財務論 杜 雪菲 講師 Xuefei Du	マクロ経済学 中國 善行 教授 Yoshiyuki NAKAZONO	会社法 長畑 周史 准教授 Shushi NAGAHATA	ゲーム理論 中村 祐太 准教授 Yuta NAKAMURA	サービス・ビジネス論 根本 裕太郎 准教授 Yutaro NEMOTO	企業論 橋本 倫明 准教授 Noriaki HASHIMOTO
医療イノベーション経営管理論 原 広司 准教授 Koji HARA	原価計算論 藤崎 晴彦 准教授 Haruhiko FUJISAKI	会計学原論 三浦 敬 教授 Takashi MIURA	経営組織論 吉永 崇史 教授 Takashi YOSHINAGA		

研究者一覧▶



産学連携など実践的な形で
ビジネスを学べる

国際商学部 国際商学科 4年
東京都 私立山脇学園高等学校卒
鈴木 佐和子 Sawako Suzuki

マーケティングや経営戦略を学びつつ、ビジネスに必要な英語力も磨ける学部です。私が所属する経営戦略論のゼミでは産学連携の活動を行っていて、姫路の和菓子店との新商品開発に携わるなどしました。ビジネスの力で社会課題解決に貢献することが私の夢で、そのための理想的な経営方法を今後も探究したいです。

ヨコ知り!

ゲーム理論の学びから、
知ることの面白さを実感できた

国際商学部 国際商学科 3年
神奈川県 横浜市立金沢高等学校卒
丸岡 智祐 Tomohiro Maruoka

経済学を専攻し、データを用いて社会や市場の動きを分析する力を養っています。中でもゲーム理論の講義は、現実の経済やビジネスとのつながりを実感でき、特に印象に残っています。今後は経済学の知識を深めるとともに、論理的思考力や組織運営力を高め、社会課題の解決に貢献できる人材を目指したいです。

ヨコ知り!

卒業後の主な進路



大学院紹介

国際マネジメント研究科

Graduate School of International Management

国際マネジメント専攻

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。経営管理手法を用いて社会課題解決を目指す学生を対象として、経営学・経済学の知識やスキルの習得を目指すソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム (SIMBA) も、本研究科の特色です。また、所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により修了証が発行される教育プログラムを用意しています。

修了後の主な就職先 ● KPMG税理士法人、ニトリホールディングス、日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ 等



School of Science 理学部

学部サイト



理学科

学位 ■ 学士(理学) 取得できる資格 ■ 教員免許(理科)

理学部では、自然科学の基礎を全般的に学ぶことで、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象を捉えることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学として捉えることができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門教養をもとに、医学・農学・工学等の連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。

特色01 物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する

理学部では、すべての学生が物理学、化学、生物学、数学の基礎を一通り学んだ上で、物質科学、生命科学、あるいはこれらの融合領域分野へ進みます。高等学校で物理あるいは生物を履修していない学生に対して、1年次にリメディアル講座の授業を用意しています。6つの履修モデルに沿って、高度な専門的知識・技術を身に付けます。

特色02 グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」

自然科学で世界に貢献するためには、グローバルな視点を持ち、英語を使って研究成果を発表する必要があります。「国際リトリートプログラム」は、グローバルな研究マインドと世界で通用する研究者としての実力を養うためのプログラムであり、卒業研究によって得られた成果を海外の大学等で英語を使って発表し、海外の研究者とディスカッションすることができます。

特色03 1年次から研究活動を行える「理数マスター育成プログラム」

自然科学研究では実験に基づく研究が不可欠ですが、学生にとっての研究スタートは3年次後期であり、それまで待たなければなりません。本学理学部の特別プログラムである「理数マスター育成プログラム」では、プログラム参加学生は1年次から自主的に研究活動を行うことができます。そのための専用教室「理数マスター室」をいつでも使用することができるように整備しました。学生自らが決めたテーマに従って、教員の個別指導のもとで研究を進め、その成果を学内外の発表会で発表します。

学部長 Message



物質科学と生命科学の両面から 自然現象・生命現象を理学的に解明する

理学部長
佐藤 友美 Tomomi Sato

科学はこれまで、物理学・化学・生物学といった分野を基盤として発展してきましたが、高度化・専門化が進んだ結果、現在では多くの分野・領域へと細分化されています。一方、エネルギー、環境、医療などに関わる諸課題はますます高度化・複雑化しており、細分化された個別の分野からのアプローチだけでは解決が難しくなっています。理学部では、「ヒトの生命現象」の理解と解明をひとつの対象として、生物学に加え、物理学や化学の概念・理論も含めた総合的な理学の知識を学修します。さらに、物質科学分野、生命科学分野、そしてそれらの融合分野において多様な研究が活発に行われており、そこで得た学修成果をさまざまな領域で生かすことができます。

■ 4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
特長	物理学、化学、生物学、数学に関する基礎知識と技術を学ぶ	専門科目を4つのクラスター(科目群)に分類し、そのうち2つを選択し、専門性を深める	選択した科目群の知識・技能をもとに高度な専門科目を履修する	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業研究を行う
	実験の基礎科目	Global Science 実験技法の修得科目	Scientific Writing in English 専門実験科目	研究室配属 大学院科目の早期履修
共通	教養ゼミ/基礎ゼミ	全学開放科目 共通教養科目 Practical English	Advanced Practical English	
領域横断		領域横断型プログラム		

■ 理学部専門科目一覧

物理学系・数学系クラスター		化学系クラスター		生物学系・融合系クラスター		医学系クラスター	
振動と波動 電磁気学 熱力学 地学概説 基礎量子力学 統計力学	基礎生命物理学 地球科学入門 自然科学数学A(微分方程式) 自然科学数学B(フーリエ解析) 自然科学数学C(複素解析) 自然科学数学D(ベクトル解析)	基礎有機化学 基礎無機化学 化学熱力学 分析化学	有機化学 無機化学 溶液化学 先端機器分析化学	細胞生物学 遺伝学 植物生理学I 植物生理学II 分子生物学 生化学I 生化学II 微生物学	動物生理学I 分子細胞生物学 放射線生物学 糖鎖生物学 タンパク質の構造生物化学 遺伝子の生物化学 構造創薬科学	人体の解剖生理学 分子細胞医科学 臨床概論・疾病病態学	薬理学 生命医科学特別講義
総合学修科目群							
Global Science	課題提案型演習A	課題提案型演習B	理数自主研究I	理数自主研究II	理数自主研究III		
専門発展科目群							
量子力学 電子物性 量子化学 再生生物学 先端タンパク質科学	固体物性 マテリアルデザイン 天然物有機化学 環境毒性学	物理学演習 知覚情報科学 エネルギー変換 極限環境生物学	生命物理学 特講(応用統計力学) 動物生理学II 環境保全学	特講(Scientific Writing in English) 先端科学技術 細胞工学 生命情報科学	創薬有機化学 資源生物利用学 創薬分析化学	化学反応速度論 ゲノム遺伝学 遺伝子機能科学	
実験実習科目群	自然科学実験I 自然科学実験II	地球科学実験 生命機能計測実験	生命科学実験 物質計測実験	卒業研究関連科目群	先端科学演習 卒業研究I	先端科学実習 卒業研究II	卒業論文

※科目一覧は、2026年4月1日時点の情報です。今後、科目名等は変更となる場合があります。

■ 6つの履修モデルと 4つのクラスター(科目群)

1年次には、全員が物理学・化学・生物学の基礎実験を履修します。これにより、理学全般にわたる基礎知識と必要な実験技術を修得し、専門分野の学修へと発展させていく基礎力を養います。2年次以降は、多様な専門領域を学べるよう、学生の関心に応じて6つの履修モデルを設けています。4つの学問領域別クラスターの中から2つを選択し、専門分野を体系的に学修していきます。3年次後期には研究室に配属され、専門領域を深く追究していきます。インフォマティクスやシミュレーションの基礎も学修していきますが、単なる技術の習得にとどまらず、これらの手法を活用して専門分野の発展に貢献できる力を養います。

6つの履修モデル

物理学で自然現象を解き明かせる人材

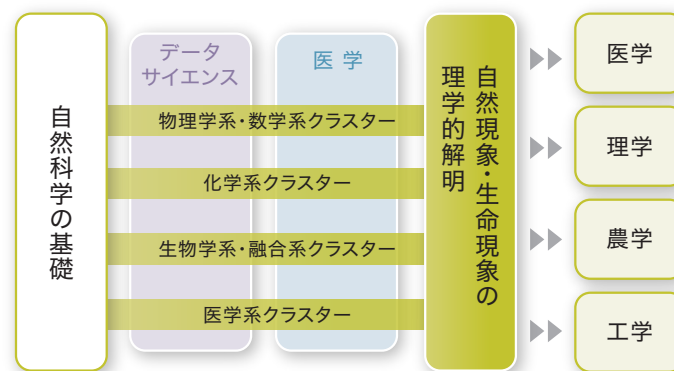
化学で自然現象を解き明かせる人材

分子・細胞・個体レベルで
生命現象を解き明かせる人材

ゲノム科学、生命科学の推進を通じて、
食料・環境問題解決に貢献できる人材

生体分子の構造と機能を理解し、
創薬に応用できる人材

細胞・生体の働きを理解し、
医療関連に応用できる人材



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

理学から未来の世界を拓く木原生物学研究所

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所では、植物・食料科学を通じて環境と健康のつながりを考え、SDGs達成に貢献する植物科学・食料科学の研究と教育を進めています。

自然と物質の「2つの循環を調和」させた、グローバルな社会ネットワークの実現を考え、学びと研究成果を地域に役立てることでSDGsへの貢献を目指します。



■ Pick up 授業

基礎生命物理学

谷本 博一

生命物理学は、生命現象を物理学の立場から理解することを目指す、生命科学と物質科学の境界領域にある学問分野です。「基礎生命物理学」では、理学部2年生を対象として、生命物理学に関する入門的な講義を行います。基礎的な物理を用いた生命現象の解析を通じて、生命現象に関する理解を深めるとともに、とすれば「物質を理解することが目的の学問」だと思いがちな物理学を新鮮な視点から見直す機会にしたいと思っています。



Global Science

Robert A. KANALY・Ruggero MICHELETTO

理学部2年生を対象とした「Global Science」では、科学に関連するさまざまなトピックについて、国際的な視点を重視しながら、理学部の各教員による講義を行います。海外での研究経験等、国際的な経験を積んだ教員による各専門分野（物理学・化学・生命科学）の紹介を通して、国際的な視野や、科学英語を用いたコミュニケーション能力を高めることを目的としています。



■ 大学院進学を見据えた取り組み

学部・大学院の一貫教育

学部教育で修得した物理学、化学、生物学を基盤とした生命科学に関する基礎知識をもとに、大学院・生命ナノシステム科学研究科、生命医科学研究科に進学し、さらに高度な研究技術の修得、生命現象を学理的に解明する力を養います。

■ 教員一覧

(2026年4月時点)

生物系薬学 足立 典隆 Noritaka ADACHI	教授	構造生物化学 有田 恭平 Kyohei ARITA	教授	構造生物化学 池上 貴久 Takahisa Ikegami	教授	生命情報科学 池口 満徳 Mitsunori Ikeguchi	教授	天然物合成化学 石川 裕一 Yuichi Ishikawa	准教授	構造生物学 石本 直偉士 Naito Ishimoto	助教
植物育種学 一色 正之 Masayuki Isshiki	准教授	分子生物学 伊藤 健太郎 Kentaro Ito	助教	生命情報科学 井上 雅郎 Masao Inoue	助教	天然物化学 入江 榮 Raku Irie	助教	発生生物学 内山 英穂 Hideho Uchiyama	教授	生物有機化学 及川 雅人 Masato Oikawa	教授
表面界面物理学 大江 弘晃 Hiroaki Ooe	助教	糖鎖生物学 大関 泰裕 Yasuhiro Ozeki	教授	植物生理学 奥村 将樹 Masaki Okumura	助教	遺伝子発現制御科学 片岡 浩介 Kohsuke Kataoka	准教授	環境毒性・微生物学 Robert A. Kanaly 教授		育種学 川浦 香奈子 Kanakawa Kana	准教授
糖鎖生物学 川崎 ナナ Nana Kawasaki	教授	理論分子科学 北 幸海 Yukiomi Kita	准教授	電子物性科学 木下 郁雄 Ikuo Kinoshita	准教授	植物エビゲノム科学 木下 哲 Tetsu Kinoshita	教授	基礎ゲノム科学 沓名 伸介 Shinsuke Kutsuna	准教授	分子生物学 古久保 哲朗 Tetsuro Kokubo	教授
生物工学 小島 伸彦 Nobuhiko Kojima	教授	構造生物化学 小沼 剛 Tsuyoshi Konuma	准教授	分子生物学 篠藤 慎太 Shinta Saito	助教	構造生物学 坂倉 正義 Masayoshi Sakakura	准教授	神経科学 佐々木 幸生 Yukio Sasaki	准教授	内分泌学 佐藤 友美 Tomomi Sato	教授
腫瘍分子病態学 佐藤 拓輝 Hiroki Sato	講師	植物発生生理学 塩田 肇 Hajime Shiota	准教授	無機光化学 篠崎 一英 Kazuteru Shinozaki	教授	計算科学 島崎 智実 Tomomi Shimazaki	教授	植物ホルモン・環境応答生理学 嶋田 幸久 Yukihisa Shimada	教授	分子細胞生物学 菅原 亨 Tohru Sugawara	准教授
分子細胞生物学 鈴木 厚 Atsushi Suzuki	教授	結晶工学 鈴木 凌 Ryo Suzuki	准教授	質量分析学 関本 奏子 Kanakawa Sekimoto	准教授	構造生物化学 高橋 栄夫 Hideo Takahashi	教授	機能物性化学 高見澤 聡 Satoshi Takamizawa	教授	生物物理学 立川 正志 Masashi Tachikawa	准教授
量子化学・計算化学 立川 仁典 Masanori Tachikawa	教授	ナノ材料科学 橘 勝 Masaru Tachibana	教授	腫瘍学・脳神経外科学 立石 健祐 Kensuke Tateishi	准教授	生物物理学 谷本 博一 Hirokazu Tanimoto	准教授	植物生理学 辻 寛之 Hiroyuki Tsuji	教授	生物物理学 J.R.H. Tame 教授	
生命情報科学 寺山 慧 Kei Terayama	准教授	植物育種学 殿崎 薫 Kaoru Tonosaki	准教授	動物生理学 中島 忠章 Tadaaki Nakajima	助教	構造生物化学 西澤 知宏 Tomohiro Nishizawa	教授	構造生物化学 禾 晃和 Terukazu Noji	教授	物理化学 野々瀬 真司 Shinji Nonose	准教授
基礎生物学 朴 三用 Sam-yong Park	教授	構造生物化学 林 郁子 Ikuko Hayashi	准教授	植物遺伝育種学 坂 智広 Tomohiro Ban	教授	構造生物化学 東 昌市 Shoichi Higashi	教授	機能生物化学 藤井 道彦 Michihiko Fujii	教授	物性物理化学 本多 尚 Hisashi Honda	教授
細胞生物学 丸山 大輔 Daisuke Maruyama	准教授	知覚情報科学 Ruggero Micheletto 教授		環境微生物学 守 次朗 Jiro Mori	准教授	物性物理学 山田 重樹 Shigeki Yamada	准教授	物質計測科学 山本 浩太郎 Kotaro Yamamoto	助教	表面・ナノ構造物性科学 横山 崇 Takashi Yokoyama	教授
構造生物化学 李 勇燦 Yongchan Lee	助教										

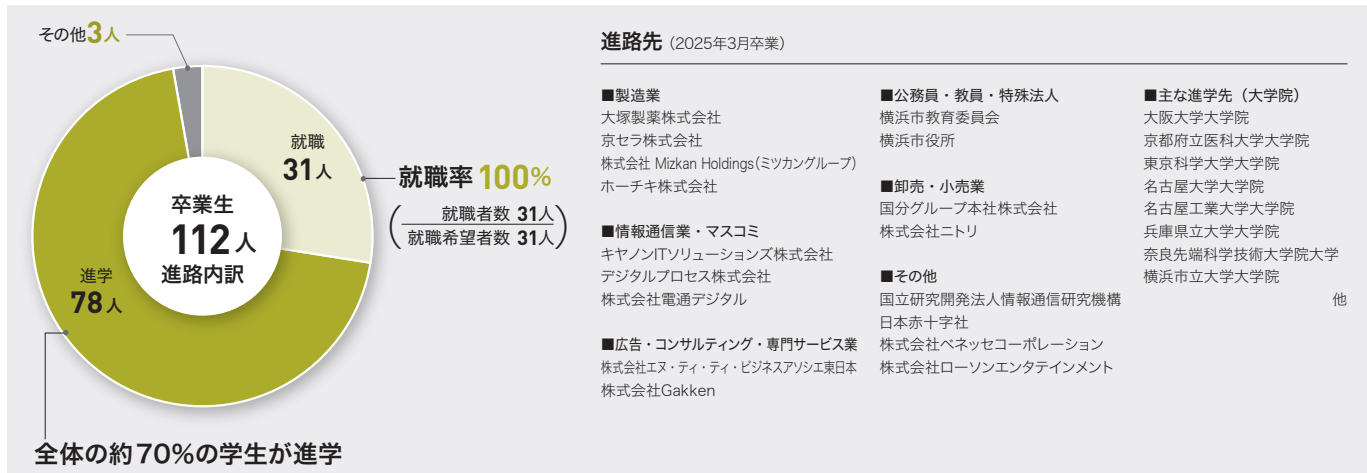
大学院科目早期履修

3年次を修了した時点で、要件を満たした学生が博士前期課程の開講科目を履修できる制度です。履修を許可された学生は、学部4年次に早期履修することができます。本制度を活用することで、大学院に進学した際に、研究活動に専念することができます。



研究者一覧▶

■ 卒業後の主な進路



大学院紹介

生命ナノシステム科学研究科
Graduate School of Nanobioscience

物質システム科学専攻

電子・原子・分子の視点から、実験科学（合成・計測・評価）と計算科学（計算・情報・予測）に基づき、生命現象を含めた物質システムを解明するための教育と研究を行っています。

修了後の主な就職先 ● NTTデータ、産業技術総合研究所、清水建設、東レ、TOPPAN、日本総合研究所、三菱UFJ銀行 等

生命医科学研究科

Graduate School of Medical Life Science

生命医科学専攻

既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合することで細胞生物学を含めた先端医学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させるとともに、本学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所（AIST）、国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）へと連携を広げた教育体制を構築しています。

修了後の主な就職先 ● 伊藤園、日清製粉、東日本旅客鉄道、ファイザー、ファンケル、丸大食品 等

興味を突き詰め
研究の基礎も固まる
理想的な環境



ヨコ知り!

理学部 理学科 4年
バンコク（タイ）
NIVA American International School卒
貴志 芽久 Meg Kishi

環境微生物学・分子毒性学研究室に所属し、有害物質の発がん性評価に関する研究を進めています。コース選択で生命環境分野を選び、生命現象や人と環境の密接な関係を探求しています。課題提案型演習では、英語の論文を読み、グループでの発表や質疑応答を通じて、知見を深め、発表スキルを学びました。

幅広い分野を
学んでいながら
自分の興味を探せる



ヨコ知り!

理学部 理学科 4年
神奈川県立座間高等学校卒
中島 諒 Ryo Nakajima

理学部では特定の分野にしばられず、生物も化学も物理も幅広く学べます。「理数マスター育成プログラム」で核融合によるエネルギーをテーマ研究していますが、将来は宇宙開発に関連する分野にも興味を持っています。基礎的な知識を幅広く身に付けて、多角的な視野が養える環境が魅力だと感じています。



最新情報はこちら▶



School of Data Science

データサイエンス学部

学部サイト



データサイエンス学科

学位 ■ 学士(データサイエンス)

データサイエンス学部では、データを読み解き、革新的で持続可能な社会を構想・実現するための素養を備えた人材の育成を目指しています。文系・理系の枠にとらわれず、データ活用の基盤となる数理・統計・計算機に関する知識と技術を体系的に修得し、医療、経済、都市、社会などの応用分野において、課題を発見し解決へと導く力を養います。さらに、企業や官公庁等の現場での実践的な学びを通じて、多様な人々と共創するコミュニケーション能力、状況に応じた柔軟な思考力、そして合理的な判断力も身に付けます。世界で活躍していくため、国際水準の英語力の修得にも力を入れています。

特色01 専門性を「見える化」し、主体的に深められる学修設計

学生が自らの専門性を意識しながら学修できるよう、専門科目を5つのクラスター、すなわち基盤技術である「数理／統計科学」「計算機科学」と、応用展開分野である「健康・医療」「都市・環境」「経済・社会」に分類し、学びの構造を「見える化」しています。各クラスターでは必要単位数を設定し、入門から発展へと段階的に科目を配置することで、データサイエンス全体をバランスよく修得しながら、自身の興味・関心に応じて特定分野の専門性を主体的に深めることができます。

特色02 理論と実践に支えられたデータサイエンスの基盤力

体系性と連続性を重視したカリキュラム編成により、基礎理論の確かな理解から高度な応用へと無理なく学びを発展させることができます。また、近年のAI技術の急速な発展を踏まえ、機械学習関連科目を充実させるとともに、PBL (Project-Based Learning) 科目と連携させることで、理論と実装の双方をバランスよく修得できる教育を行っています。さらに、大学院進学も視野に入れた高度な専門科目を配置し、将来の研究や専門の実務へとつながる強固な基盤力を育成します。

特色03 社会課題の解決に直結する応用分野教育の充実

データサイエンスは、社会課題の解決に貢献してこそ、その真価を発揮します。本学部では、「健康・医療」「都市・環境」「経済・社会」といった本学が強みを有する応用展開分野の専門科目を充実させることで、現実社会の多様な課題に幅広く関心を持ち、データに基づいて主体的に課題解決へ取り組む姿勢を養います。



■ 4年間の学びのイメージ

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
特長	教養科目や実践的な英語を学ぶとともに、データサイエンスの入門的な専門科目を通じて、学修の基盤を固める	数理／統計、計算機など、データサイエンスの基盤技術をより専門的に学ぶとともに、応用分野におけるデータサイエンスの活用を学修する	基盤技術の専門性を一層高めるとともに、企業等と連携したPBL科目で社会展開力を養う。さらにゼミに所属し、実践力と課題解決力を高める	これまでの学修をさらに深化させ、4年間の学びの集大成として卒業研究・卒業論文に取り組む
PBL／ゼミ科目		PBL関連科目	専門領域演習	卒業研究
専門		数理／統計科学関連の専門科目 計算機科学関連の専門科目 専門科目(健康・医療／都市・環境／経済・社会)		大学院科目の早期履修
共通		全学開放科目 共通教養科目 教養ゼミ Practical English		Advanced Practical English
領域横断		領域横断型プログラム		

■ データサイエンス学部専門科目一覧

数学／統計科学	線形代数Ⅰ 統計学入門Ⅰ 統計モデリング基礎	微積分Ⅰ 統計学入門Ⅱ ベイズ統計モデル	線形代数Ⅱ 多変量データ解析 時空間モデリング	微積分Ⅱ データ可視化法 現代統計解析	応用数学 数理統計学 計算機統計学
計算機科学	プログラミング演習Ⅰ 計算機概論 計算機数理論	プログラミング演習Ⅱ 情報理論 画像解析	機械学習入門 アルゴリズム論 音声言語処理	機械学習Ⅰ データベース論 並列分散処理	機械学習Ⅱ 最適化理論
健康・医療	基礎・臨床医学概論 疫学・公衆衛生学	医学データ解析 ゲノム情報学	統計的因果推論入門	遺伝統計学	感染症モデリング
都市・環境	都市計画論 地理情報システム	住環境計画論 地域環境データ解析	都市環境論 不動産データ解析	都市防災計画論 災害対応組織論	都市デザイン論 災害と法制度
経済・社会	社会データ分析 社会調査法	マーケティングデータ分析Ⅰ 社会・経済・環境の変化を読む最新データ分析	マーケティングデータ分析Ⅱ	心理学データ解析入門 社会・環境データの因果モデリング	心理学データ解析応用

※科目一覧は、2026 年 4 月 1 日時点の情報です。今後、科目名等は変更となる場合があります。

■ 基礎から応用、実践的PBLへ

1 年次前期から「線形代数学」や「微積分学」、「統計学入門」等を学び、数学や統計学の基礎を固めます。後期からは「プログラミング演習」でPython言語を学び、データを計算機で処理する基本技術を修得するとともに、「社会課題とデータサイエンス」においてデータサイエンスが社会で果たす役割を理解します。2 年次以降は、「数理統計学」や「多変量データ解析」、「計算機概論」や「情報理論」等の基盤技術科目を学ぶとともに、健康・医療、都市・環境、経済・社会といった応用展開分野の科目の履修も始まります。さらに後期からのPBL科目を通じて、企業や自治体などと連携し、実社会と結びついた課題に取り組めます。3 年次には、「機械学習」等の科目で基盤技術の専門性を高めつつ、ゼミ活動を通してデータサイエンスの実践力を養います。そして4 年次には卒業研究・卒業論文に取り組み、4 年間の学びを集大成します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsへの取り組み

国際環境・まちづくりワークショップ

2022年3月18日に気候変動や都市化に伴う環境問題とSDGsをテーマとした国際環境・まちづくりワークショップをオンラインで開催しました。本ワークショップでは、アジアの研究者や自治体の有識者が集まり、横浜、フィリピン、マレーシア、台湾における気候変動や環境問題の現状とその対策について主に議論しました。この活動を通じて、気候変動のような世界的な課題を議論するとともに、新しい時代に向けた私たちの都市と環境、そして生活のあり方を考えることで、今後の研究情報交換の促進と共同研究につながるよい機会となりました。



学部長 Message



データサイエンスを武器として 変革の波に乗る

データサイエンス学部長
越仲 孝文 Takafumi Koshinaka

私たちが生きる現代、さまざまな問題が複雑に絡み合い、経験や勘で解決策の「正解」にたどり着ける確率はわずかです。データ思考人材の需要がますます高まる2027年度、定員を120名に倍増した新・データサイエンス学部がスタートします。統計学や計算機科学などの基礎はより深く、医療、都市、経済などの応用はより広く、さらにPBLを中心とした実践的な学びを充実させるべくカリキュラムを刷新します。目下、生成AIによる変革があらゆる分野で起こっています。AIが多くの人の仕事を奪うという不安感と、かつてない新たな仕事生まれるという期待感が交錯する今日、データサイエンスを武器として、どんな変革の波が来ても乗りこなせる人材をヨコハマから送り出します。何が起こるかわからない不確実な世界を共に楽しめる学生諸君と会う日を楽しみにしています！

Pick up 授業

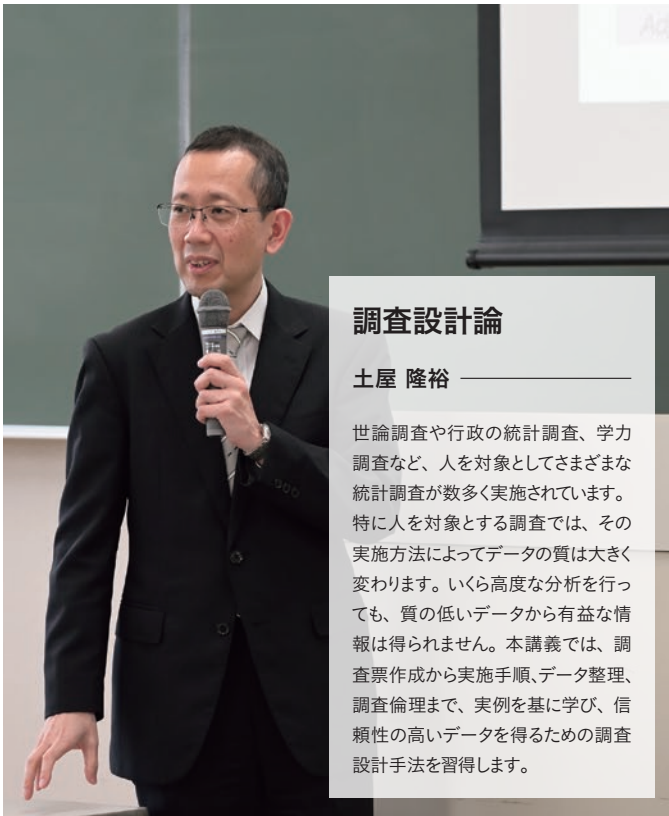
※2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、科目名等は変更となる場合があります。



データ解析演習

佐藤 彰洋

データ解析演習では、統計処理ソフトRを利用した、データの要約方法、作図、統計的仮説検定、回帰分析の実行方法を実データとコンピュータを利用して学習します。前半では、Rを効果的に活用するためのコマンド群、データタイプとデータフレーム、データ要約の方法、組み込み関数の利用方法などを取り扱っています。後半では、SQL、統計的仮説検定の方法、データ解釈、分析レポートの作成方法を学びます。



調査設計論

土屋 隆裕

世論調査や行政の統計調査、学力調査など、人を対象としてさまざまな統計調査が数多く実施されています。特に人を対象とする調査では、その実施方法によってデータの質は大きく変わります。いくら高度な分析を行っても、質の低いデータから有益な情報は得られません。本講義では、調査票作成から実施手順、データ整理、調査倫理まで、実例を基に学び、信頼性の高いデータを得るための調査設計手法を習得します。

主な科目紹介

※2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、科目名等は変更となる場合があります。

統計学Ⅰ

統計学の基礎を学習します。まずはデータの取り扱いやグラフの描き方を学び、さらに、確率変数・確率分布の性質を知り、仮説検定や信頼区間について学習します。最後に、統計モデルの基礎として、線形回帰（単回帰）を学びます。

サンプリング法

日常見かける多くの統計調査は、対象の一部だけを統計的な方法を用いて選び出し、効率的に実施されています。この講義では、サンプリングと推定の理論・方法を学び、データサイエンスの基礎となるデータ収集・処理法を習得します。

データサイエンス学部

データサイエンス学部では、企業や官公庁等の現場の第一線で活躍するゲスト講師を迎え、実社会でのさまざまなデータ活用事例に触れる「PBL入門」を開催しています。企業におけるマーケティングやビジネス戦略、ものづくりの品質管理等に、どのようにデータが分析され、活用されているのか、また、官公庁においてはデータの利活用による政策立案やオープンデータ活用推進の取り組みといった生の声から学ぶことで、大学での学びが将来どのような分野で活用することができるかを考える機会となっています。

教員一覧

(2026年4月時点)

ビジネス・サイエンス 上田 雅夫 Masao UEDA	教授	環境影響評価・環境政策 大西 暁生 Akio ONISHI	教授	統計科学 岡村 寛 Hiroshi OKAMURA	教授	社会物理学 尾崎 順一 Junichi OZAKI	准教授	知能情報学 落合 桂一 Keiichi OCHIAI	准教授	情報科学 北園 淳 Jun KITAZONO	准教授
地震学・地震防災学 金 亜伊 Ahyi KIM	准教授	社会心理学 Claudia GHERGHEL 准教授		知覚情報処理・知能情報学 越仲 孝文 Takafumi KOSHINAKA	教授	整数論 小屋 良祐 Yoshihiro KOYA	教授	計算機科学（コンピューターサイエンス） 佐藤 彰洋 Aki-Hiro SATO	教授	統計科学 鈴木 雅智 Masatomo SUZUKI	准教授
環境衛生学（騒音） 田鎖 順太 Junta TAGUSARI	准教授	統計科学 竹内 由則 Yoshinori TAKEUCHI	准教授	調査統計科学 土屋 隆裕 Takahiro TSUCHIYA	教授	知能情報学 戸田 浩之 Hiroyuki TODA	教授	※2026年度現在国際教養学部に所属している下記教員は、 2027年度からの教育課程の変更（1ページ参照）に伴い、2027 年4月よりデータサイエンス学部へ配置変更予定です。 【青木 えり准教授、石川 永子准教授、後藤 寛准教授、 鈴木 伸治教授、中西 正彦教授、三輪 律江教授】			
統計モデリング・空間疫学 富田 誠 Makoto TOMITA	教授	数理データ医学 中村 直俊 Naotoshi NAKAMURA	教授	知覚情報処理・医療情報学 檜作 彰良 Akiyoshi HIZUKURI	准教授						
情報学基礎理論 藤田 慎也 Shinya FUJITA	准教授	ゲノム統計学 三澤 計治 Kazuharu MISAWA	准教授	統計科学 森山 卓 Taku MORIYAMA	准教授						
住環境評価・建築計画学 山田 崇史 Takashi YAMADA	准教授										



研究者一覧▶



卒業後の主な進路



最新情報はこちら▶



大学院紹介

データサイエンス研究科

Graduate School of Data Science

データサイエンス専攻

データサイエンス専攻では、現実社会との対話から課題を発見し、データを収集・解析し、その結果を社会に還元・実装する一連のプロセスを学ぶ「実践的データサイエンス演習」等を必修科目として配置することで、新たな価値を創造する能力の涵養を目指します。

ヘルスデータサイエンス専攻

ヘルスデータサイエンス専攻では、急速にデータが集積されつつあるヘルス領域（疾病予防、医療、介護、保健）において、データサイエンスの知見をいち早く社会応用し、新たな価値を実社会に還元する人材を育成します。



修了後の主な就職先 ● アクセンチュア、ウェザーニューズ、サイバーエージェント、電通デジタル、大和総研、日本アイ・ビー・エム、日立製作所、横浜銀行 等

School of Medicine Medical Course

医学部 医学科

学部サイト



学位 ■ 学士(医学) 取得できる資格 ■ 医師国家試験受験資格

■ 医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の「医学科専門教育科目」から成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）および世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習等を履修し、全国共通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は臨床実験前に医学知識の学修レベルを評価するCBTと基本的臨床技能や態度を評価するOSCEからなります。両方に合格することで、臨床実習に進むことができます。5・6年次には主に附属2病院での臨床実習を行い、診療参加型臨床実習により修得された能力を測定する「臨床実習後OSCE」および、卒業試験に合格することで卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担任が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を取っています。

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	卒業後1~2年目	卒業後3年目以降
共通教養	共通教養							
医学基礎教育	医学基礎教育							
基礎医学		基礎医学			基礎医学			後期臨床研修 (専門医養成)
基礎医学実習		基礎医学実習						大学院 (博士課程)
医学概論		医学概論	医学概論				初期臨床研修	行政技官
社会医学			社会医学	社会医学		社会医学		
臨床医学			臨床医学	臨床医学		臨床医学		
研究実習 (リサーチ・クラークシップ)				研究実習				留学 等
診療入門				診療入門				
臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)					臨床実習			

Pick up Curriculum



共通教養・医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。



基礎医学

2・3年次、5年次

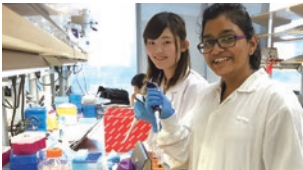
正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。



医学概論

2・3年次

医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について、医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。



研究実習(リサーチ・クラークシップ)

4年次

基礎または臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。この科目では研究手法修得のみならず、それらをもとに未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付けることを目的とします。



診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度や、医療面接法、身体診察法等の診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの学修内容(技能や態度)は、共用試験(OSCE)により評価されます。



臨床実習(クリニカル・クラークシップ)

4年次~6年次

4年次までの全科目に合格すると診療参加型の臨床実習を行うことができます。指導医のもとさまざまな職種スタッフと連携してon the job trainingを行います。

■ 卒業時に修得している能力

横浜市立大学医学部医学科生は、卒業時までに以下の能力を獲得し、地域社会や国内外で活躍し、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する人材として羽ばたきます。

- 1 プロフェッショナリズム
- 2 医学知識
(修得した医学関連知識を実践に応用できる)
- 3 医療の実践
(診断・治療の基本技能および科学的根拠に基づく治療計画が立てられる)
- 4 対人関係とコミュニケーション技能
- 5 医療と社会
(医療等に関する制度・規則を理解し、業務を通じて社会に貢献できる)
- 6 生涯学習
(知識を探索し、情報を科学的に評価できる。新しい情報を生み出すための研究計画立案ができる)
- 7 医学の進歩への貢献に向けた準備
(医学の分野での課題解決に向けた貢献)

学部長 Message



医師を志す皆さんへ 次世代医療を“拓く”横浜市立大学の学び

医学部長兼医学科長
水木 信久 Nobuhisa Mizuki
眼科学

医学は、人の生命と健康に直接向き合う学問であり、社会の信頼の上に成り立っています。医学生には、確かな医学知識や診療技術の習得だけでなく、患者さんの苦しみに寄り添い、広い視野で考える姿勢を身に付けてほしいと願っています。本学医学科では、基礎医学と臨床医学を有機的に結び付けた教育と先端研究を通じて、次世代の医療を担う人材の育成に取り組んでいます。附属病院をはじめとする臨床現場での学びは実践的な理解を深め、研究に触れる経験は未知の課題に挑み、新たな知を生み出そうとするリサーチマインドを育てます。臨床と研究の双方に触れながら、課題を見つけ、解決していく力を養う教育を行っています。本学での学びを通じて、確かな専門性と豊かな人間性を備えた医師・医学研究者を育成し、「横浜市立大学で学んだ」という誇りと愛校心を胸に社会に貢献する人材を輩出していきたいと考えています。

探求心（リサーチマインド）を持った医療人へ

医学部および2つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図ることにより、リサーチマインド（探求心）を持った優れた臨床医・医学研究者を育成することを目的としています。その中心となる「医学教育センター」では、「教育」「研究」「医療」をリードする人材を育成することを使命とし、国際都市・横浜ならではの国際標準を踏まえた、質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

■ 医学科の特長 | リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ（研究実習）が始まり、15週間の医学研究に参加します。その目的は、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組むこと」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らないこと」といった、物事の本質に迫ろうという姿勢【リサーチマインド】を養成することです。臨床能力と論理的思考を両立する、「科学する医師」の育成を目指します。

			配属先	人数				配属先	人数
リサーチ・クラークシップ配属先	海外		スタンフォード大学（アメリカ）	1	学内			横浜市立大学基礎医学系教室	19
			コーネル大学（アメリカ）	1				横浜市立大学臨床医学系教室	52
			シンシナティ小児病院（アメリカ）	1				横浜市立大学理学部研究室	3
	国内		東京大学	3				2025年度実績	
			東京科学大学	1					
			理化学研究所	4					
			神奈川県立こども医療センター	1					

リサーチ・クラークシップ® 参加学生の声

- 研究実習先 テンプル大学（アメリカ）
- 期間 2024年4月～（3か月間）

医学部 医学科 6年
神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒

岩瀬 すみれ Sumire Iwase

「人工甘味料が血管細胞のオートファジーに与える影響」をテーマに研究しました。複数の甘味料を比較し、それらの濃度や時間変化が細胞に及ぼす影響を調査するもので、丁寧に正確な作業を毎日積み重ねることが求められます。先生方から研究技術や心構えを教わりながら、基礎研究の重要性和魅力を深く理解しました。医学を志す者にとって欠かせない思考回路を学べて、自分の成長を実感できた貴重な体験となりました。

医学を志す自分に必要不可欠な
考え方や専門技術を学んだ

説得力のある結果を導くための
実験設計の力が身に付いた

- 研究実習先 横浜市立大学 基礎医学系教室
- 期間 2024年4月～（4か月間）

医学部 医学科 6年
東京都 私立開成高等学校卒

古川 倫千 Noriyuki Furukawa

細胞内のカルシウム濃度を調節する通り道が、刺激にどう反応するかを細胞レベルで研究しました。細胞を培養したり、細胞から目的のタンパク質やその元になるmRNAを取り出して分析したり、タンパク質を蛍光で光らせて観察したりと、さまざまな手法を試しました。この経験を通して、何かを明らかにするために「どのように実験を設計すれば説得力のある説明ができるのか」を考え、理論を組み立てる力が成長しました。

■ 医学科領域

基礎医学系 [基礎系教室名]	組織学	神経解剖学	循環制御医学	生理学	生化学	分子生物学	薬理学	生命病態学
	RI研究センター	微生物学	免疫学	病態病理学	分子病理学	臓器再生医学	実験動物医学	
	遺伝学	臨床統計学	法医学	医学教育学	医療情報学	臨床疫学・臨床薬理学	公衆衛生学	
臨床医学系 [臨床系教室名]	血液・免疫・感染症内科学	呼吸器病学	循環器内科学	循環器・腎臓・高血圧内科学	消化器内科学			
	肝胆膵消化器病学	内分泌・糖尿病内科学	神経内科学・脳卒中医学	がん総合医科学	外科治療学			
	消化器・腫瘍外科学	麻酔科学	救急医学	脳神経外科学	産婦人科学			
	小児科学	泌尿器科学	運動器病態学	形成外科学	放射線治療学			
	放射線診断学	精神医学	眼科学	視覚再生外科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学			
	皮膚科学	口腔外科学	総合診療医学	リハビリテーション科学	感染症学			

産婦人科・小児科へと

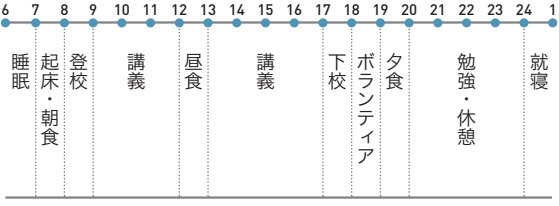
明確になった将来の志望

医学部 医学科 5年
東京都 私立雙葉高等学校卒

井上 智香子 Chikako Inoue

女性の健康を支えたいという思いから医学部に入学しました。2年次までは基礎医学を学び、それを基に3・4年次では主に「外科学」「救急医学」「循環器内科学」「呼吸器内科学」などの臨床医学を学びます。なかでも3年次の「公衆衛生学」は特に印象深く、個々の患者さんの症状や治療法を学ぶ臨床医学に対し、公衆衛生学では、社会全体の健康維持を目的とした疾病の予防法や法律、環境整備について学びました。4年次からはリサーチ・クラークシップで分子生物学の研究に取り組みました。また、入学後のボランティア活動を通して子どもの成長や発達にも強い関心を抱くようになりました。これらの学びや経験から、将来は産婦人科または小児科に進みたいという思いがより明確になっています。

1日のスケジュール



ココ知リ!

臨床と研究を両立できる環境で

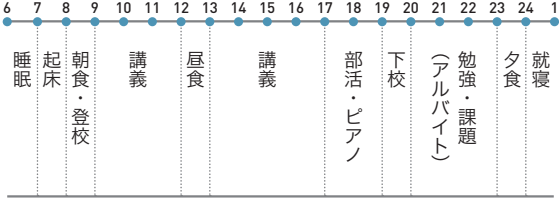
将来を模索

医学部 医学科 4年
群馬県 私立ぐんま国際アカデミー高等部卒

加藤 咲磨 Sakuma Kato

臨床と研究のどちらも充実した環境に魅力を感じ、YCUの医学部医学科を選びました。2年次の基礎医学では、正常な人体の構造や機能について主に学びます。後期には各科目の実習もあり、座学で学んだ内容の理解を深め、実際のスキルを身に付けていきます。個人的には人体の機能や病気とその治療法を化学的に考察する「生化学」や、薬の作用機序や副作用などについて詳しく学習する「薬理学」が好きです。どちらもなぜ病気になるのか、なぜその治療法が効くのか論理的に理解できるようになるところに魅力を感じます。まだ志望の診療科は決まっていますが、臨床と研究の両立を目指しています。基礎医学の学びを今後学ぶ臨床医学にいかし、幅広く知識を吸収して将来の選択肢を広げていきたいです。

1日のスケジュール



ココ知リ!

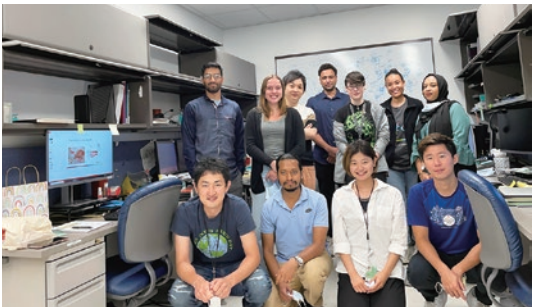
グローバルプログラムの紹介

ー海外経験を通して、新しい時代に活躍できるグローバルな医療人へー

医学科では海外派遣プログラムの拡充を図り、多くの学生が海外経験を積めるよう、さまざまな取り組みに力を入れています。大学公式のプログラムでは、リサーチ・クラークシップ（研究実習）やクリニカル・クラークシップ（臨床実習）等、カリキュラムの一環として参加できることも大きな特長です。渡航を実現させるための経済的支援として、本学では補助金などもあります。

■ 海外リサーチ・クラークシップ

4年次のカリキュラムの一環として、基礎・臨床研究に一定期間携わるプログラム。国内以外に海外の研究機関で研究実習を行うことができます。海外に派遣される学生は、世界トップレベルの研究所や医療機関で行われる一流の研究に触れることで、研究力や英語力の向上とともに、豊かな国際感覚を身に付けることが期待されます。また、休学等を要さず約3か月間というまとまった期間を海外で過ごす唯一の機会です。



派遣時期・期間	4月～7月中旬 / 約3か月
単位	研究実習（リサーチ・クラークシップ）
費用目安※	約220万円（アメリカ） （渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等） （派遣先地域により異なります）
対象年次	医学科4年生
派遣実績	2025年度 3名

クリニカル・クラークシップ 参加学生の声

冷静な判断と的確な指示の大切さを学んだ

救命対応を通して、

救命対応を通して、

■ 研究実習先 シンガポール国立大学（シンガポール）

■ 期間 2025年8月（2週間）

医学科 医学科 6年

神奈川県 慶應義塾高等学校卒

岩見 隆弘 Takahiro Iwami

ACLS（心肺蘇生）のシナリオ訓練や急変対応のシミュレーションに参加し、グループリーダーとして班員に指示を出しながら蘇生対応を行う中で、手技や薬剤選択を含めた判断を実践的に学びました。限られた時間の中で優先順位を考えながら行動する難しさを実感するとともに、医学的情報を相手の視点に立って分かりやすく伝えることの重要性を学びました。今後は、説明できる知識と実践的な伝え方をさらに磨いていきたいです。

グローバルプログラム▶



■ 短期海外研修プログラム

それぞれ目的やレベルの異なる2種類の短期研修プログラムを準備しています。

シンガポール国立大学 シミュレーションセンター Experiential Simulation Program

最先端の施設とシミュレーターを備えた環境で、スキルのみではなく、コミュニケーション能力、危機管理対応、プロフェッショナリズムについて学びます。

派遣時期・期間	6月、8月、9月 / 2週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安※	約30～45万円程度（渡航費、宿泊費、保険料、現地での生活費等）+参加費
対象年次	医学科5・6年生

ハワイ大学 Problem-based Learning プログラム

PBL方式のグループ学習による臨床推論や身体診察、医療面接等を経験します。

派遣時期・期間	8月 / 1週間
費用目安※	約40～50万円
対象年次	医学科4～6年生

■ 海外クリニカル・クラークシップ

5年次のカリキュラムの一環として、海外の医療機関で診療の見学を行ったり、病棟チームの一員として実際に診療に参加するプログラムです。在学中に海外でクリニカル・クラークシップを行い、さまざまな良い刺激を受けることが、継続的な学修動機の維持に役立つ他、医師になってからの臨床留学を目指す等、将来の進路選択のきっかけになることも少なくありません。



派遣時期・期間	3月（プログラムによって異なる） / 2～4週間
単位	臨床実習（クリニカル・クラークシップ）
費用目安※	約30万円（アジア）～100万円（欧米） （渡航費、宿泊費、保険料等 ※地域による）
対象年次	医学科5年生
派遣実績	2025年度 14名

※費用目安は、為替・物価の変動により異なります。

■ 国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学科国家試験対策（2025年度実績）

- 6年次の5月、9月、12月に実力試験を実施。
- 年に2回（7月、11月）の民間模試を全員受験。さらに2回（12月、1月）の民間模試受験を奨励。
- ▶ 受験結果のフィードバック（模試結果を踏まえて面談と個別指導を実施）。

医師 国家試験

合格率
2026年2月実施

92.9%

（全国平均 91.6%）
※既卒含む

国家試験対策スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医学	6年次										
		実力試験		模擬試験		実力試験		模擬試験	模擬試験・実力試験	模擬試験	国家試験
	個人面談（随時）										

■ 卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、基本的な診療能力を身に付けることができるよう、2年間の初期臨床研修が必修化されています。初期臨床研修の後は、各診療科の専門研修（後期研修）に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。

医学科 初期研修先（2026年3月卒業生）

	研修先	人数
本学	横浜市立大学附属病院	11
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	7
横浜市内	横浜医療センター	2
	済生会横浜市南部病院	1
	横浜市民病院	4
	横浜市立みなと赤十字病院	1
	横浜南共済病院	2
	横浜労災病院	2
	済生会横浜市南部病院	5
神奈川県内	横須賀共済病院	7
	横須賀市立総合医療センター	3
	横須賀市立市民病院	1
	藤沢市民病院	5
	藤沢湘南台病院	2
	茅ヶ崎市立病院	3
	関東労災病院	3
	平塚市民病院	1
	平塚共済病院	1
	川崎市立川崎病院	1
	新百合ヶ丘総合病院	2
	海老名総合病院	1
	大和市立病院	2
	湘南藤沢徳洲会病院	1

	研修先	人数
東京都	東京都立多摩総合医療センター	1
	公立昭和病院	1
	昭和医科大学江東豊洲病院	1
	東京大学医学部附属病院	1
	東京科学大学病院	1
	東京都立墨東病院	1
	東京北医療センター	1
	大森赤十字病院	3
	虎ノ門病院	1
	板橋中央総合病院	1
千葉県	東京新宿メディカルセンター	1
	東京警察病院	1
埼玉県	日本赤十字社医療センター	1
	順天堂大学医学部附属浦安病院	1
埼玉県	さいたま市立病院	2
新潟県	佐渡総合病院	1
静岡県	中東遠総合医療センター	1
	磐田市立総合病院	1
	聖隷浜松病院	1
宮城県	仙台徳洲会病院	2
山形県	鶴岡市立荘内病院	1
大阪府	大阪公立大学医学部附属病院	1
沖縄県	琉球大学病院	1
合計		95

大学院紹介

医学研究科

Graduate School of Medicine



医科学専攻

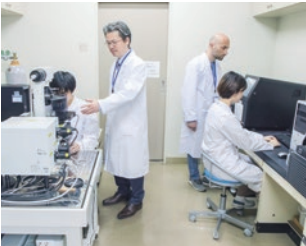
YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。

修士課程

修士課程は、医学部医学科以外の学士課程修了者で、医学研究を希望する学生のための2年間のコースです。修了後は、博士課程に進学、あるいは企業や研究所における研究職としてのキャリアを歩みます。多様な生命現象の本質を解明する生命科学研究から、難治性疾患の病態形成機構の解明まで、幅広く研究が行われています。

博士課程

博士課程は、医学、歯学、薬学あるいは獣医学等の学士課程を修了した学生、大学院修士課程または博士前期課程を修了した学生を対象とした課程です。修士、あるいは博士前期課程での研究のさらなる発展や、臨床現場で生じた疑問や発想をさらに深化させる研究を展開し、先端医学をリードする研究者、教育者を育成します。



School of Medicine Nursing Course

医学部 看護学科

学部サイト



学位 ■ 学士(看護学)

取得できる資格 ■ 看護師国家試験受験資格

■ 保健師国家試験受験資格(選択制)

YCUの看護学科は、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市・横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。

■ 看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を、理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るまでのすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格(選択制)が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。



学科長 Message

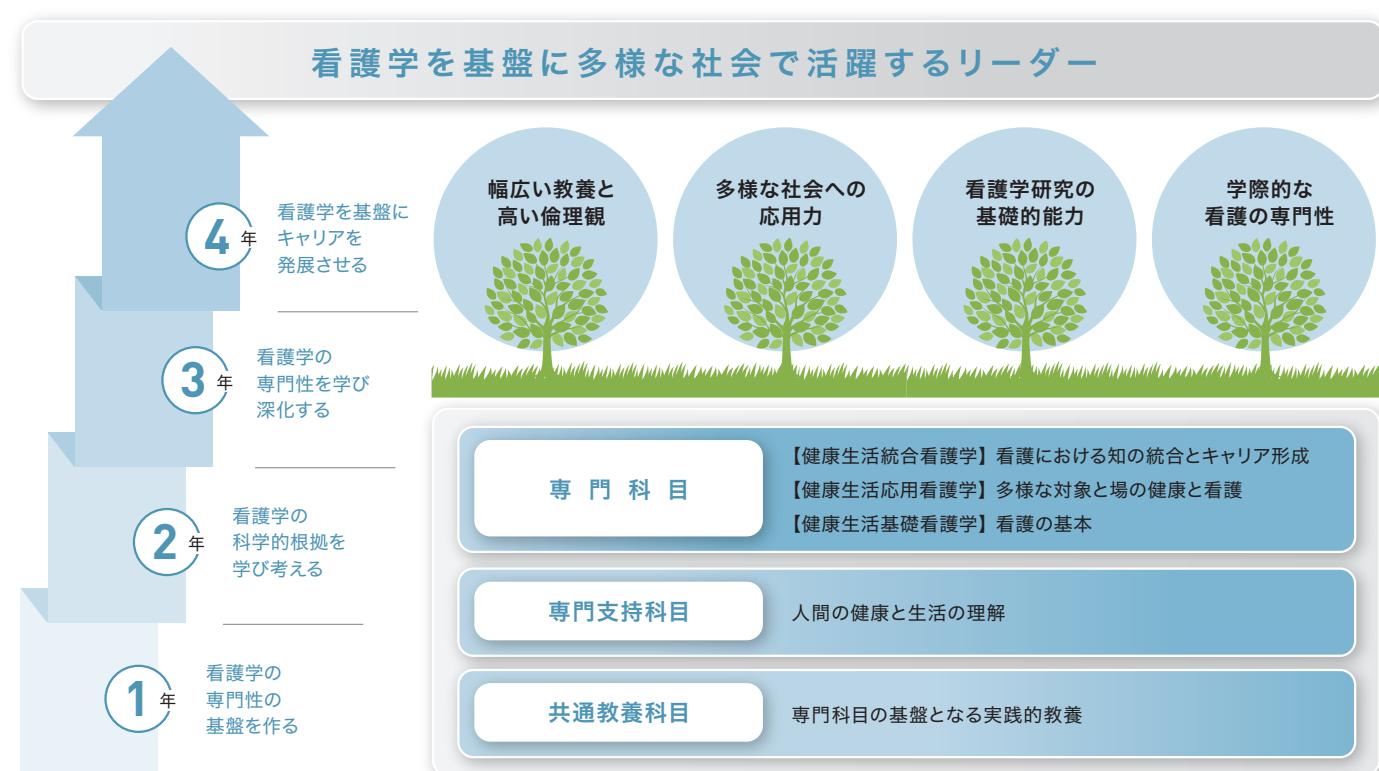


横浜から世界へ
すべての人々がHappyになる未来を目指します！

看護学は生活のある人々の健康を支援する学問です。そのため、本学看護学科の教育は、幅広い教養と共に、ヒトを細胞レベル、検査などは測定原理から理解することで、人々の健康の科学的根拠から“人を見る”実践力、“人を守る”質の高いアセスメント力につなげていきます。つまり、豊かな人間力と共にScientificな思考を持つ看護職の育成を目指しています。また、世界の看護を学ぶことができる海外研修や海外留学、学生自身のキャリア志向に応じた専門的な看護実践・留学・研究が自由に選択できるキャリア形成実習は本学看護学教育の特徴です。科学的・グローバル・自由な発想から、世界中のすべての人々がHappyになるような未来と一緒に創りましょう。人の役に立ちたい！ また、探求心のある皆さんの受験をお待ちしています。

医学部看護学科長
赤瀬 智子 Tomoko Akase
看護生命科学

■ カリキュラム構成



■ 豊富な教育リソース・実習サポート体制

看護学科の目指す「明日の看護のリーダー」を育成するため、アクティブラーニングによる能動的学修、基礎研究等の多様な学びを深めます。



看護形態機能学演習



附属病院



附属市民総合医療センター

横浜市内で最高水準の医療・看護を提供する2つの附属病院が、看護学科の実習生を受け入れ、高度で実践的な指導が行われています。2つの附属病院には、本学科の卒業生が多数就職しており、技術面の指導だけでなく、学生の将来の姿(ロールモデル)となり、精神面のサポートも充実しています。さらに、実習の学修目標に合わせて、横浜市内のさまざまな施設でも実習を行っています。

Pick up Curriculum



専門支持科目：看護生命科学

1・2年次

看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤ともなる身体の形態・機能等に加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態機能学Ⅰ・Ⅱ、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学Ⅰ・Ⅱ等を配置しています。



専門支持科目：看護社会科学

1年次～4年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支える仕組みを広く理解する科目である人間発達学、対人関係論、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ、公衆衛生学等を配置しています。さらに選択科目として医療安全学、看護経済学、看護情報学、看護教育学を配置しています。



健康生活統合看護学

1年次～4年次

健康生活統合看護学は、専門共通看護学・国際看護学・統合実践看護学・キャリア形成看護学により構成されています。キャリア形成看護学では、看護専門職の実践の基盤となる基本的な知識や技術・倫理観等を各学年で積み上げながら学び、学生個々の目指すキャリアに応じた関心や課題を明確化し発展させていきます。

座学と演習に加え海外フィールドワークで 看護の肝を実感できた

医学部 看護学科 4年
静岡県 私立加藤学園暁秀高等学校卒
岡田 桜子 Sakurako Okada

助産師を志し、YCUの医学部 看護学科を志望しました。入学後の授業では2年次後期の「小児看護学演習」が印象的でした。座学で小児看護の知識を学び、演習で基本的な技術を習得しました。事例をもとにアセスメントや看護計画を立案し、入院中の子どもの安全や倫理についても考えます。子どもが主体的に治療を受けられるよう、適切な関わり方やコミュニケーションの方法を学び、成人患者とは異なる遊びなどを取り入れた関わり方は新たな学びとして新鮮でした。また、フィリピンでの母子保健に関する海外フィールドワークにも参加し、国際看護を実践的に学びました。文化、価値観、宗教など日本との違いを肌で感じ、これまで学んできた患者さんの背景を含め配慮した「個性」が、看護の提供において必要不可欠であることを実感できました。

1日のスケジュール

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1
起床・朝食	勉強	登校	講義	昼食	講義	課題・休憩	夕食	部活	下校	休憩	課題・勉強	就寝							



ココ知リ！

現場での学びを生かし、 医療現場をけん引できる看護職を目指す

医学部 看護学科 3年
長野県須坂高等学校卒
谷中 駿斗 Hayato Yanaka

YCUは2つの附属病院を持っており、座学で学んだことを実際の医療現場で確かめながら学べる点に魅力を感じ、進学を決めました。保健師国家試験の受験資格を得られることや、国際都市・横浜にキャンパスがあることも、YCUに決めた理由の1つです。入学後は、講義や演習、実習を通じて、看護とは何かを実践的に考える学びを重ねています。中でも解剖学の演習では、標本を通して人体構造を立体的に理解でき、基礎知識が看護実践に直結していることを実感しました。さらに、演習での学びを実習で確かめる中で、患者さん一人ひとりに応じた関わり的重要性も学んでいます。今後は附属病院での実習経験を生かし、主体的に学びながら看護技術を高め、将来は医療現場をけん引できるリーダーシップのある看護職として活躍していきたいです。

1日のスケジュール

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
起床・朝食	登校	講義	昼食	講義						アルバイト	夕食	帰宅	自由時間	就寝					



ココ知リ！

グローバルプログラムの紹介

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解することによって視野の広い看護職を育成するため、カリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。

■ 多様な国際交流プログラム

英語で看護の実践を積み

国際看護学Ⅰ

1年次必須

コミュニケーションの理論や基本的なスキルを学び、医療において増加する外国人患者に対する異文化コミュニケーションを学びます。外国人模擬患者の協力を得て、看護実践を結び付けたアクティブラーニングです。



海外の看護を学び体感する

国際看護学演習Ⅱ

3・4年次

看護における国際的な視座を養うことを目的に「実践的語学トレーニング」と「ハワイ看護フィールドワーク（オンライン含む）」を行います。3年次「実践的語学トレーニング」では、看護師資格を持つネイティブ英語教師のもとで語学スキルアップを目指します。4年次フィールドワークでは、米国ハワイ州の医療現場で活躍する上級看護師や看護管理者からの講義、実践の見学・交流、ハワイ大学マノア校看護学部シミュレーションセンターとの演習交流を計画しています。



途上国における国際看護の現場に飛び込む

国際看護学演習Ⅰ

2年次

母子保健を中心とした国際看護の視座を養うことを目的に、フィリピンでの海外フィールドワーク活動を実施しています。現地の大学生、医療者、住民らとの交流を通し、異文化を五感で感じる体験や学びができます。



看護の知見を海外へ

自己のキャリアを高める 多彩な留学プログラム

4年次

自らのキャリア形成を目的に、大学の国際交流ネットワークや看護学科独自のプログラムを活用し、海外留学をすることができます。また、海外での研究活動や、国際学会への参加、発表などを行います。



■ 多様な学生の活動

YCUの看護学生はその多様な興味・関心や課題意識により、国内外のさまざまなフィールドに飛び出し、多角的な視点による国際交流で看護を深めています。

持続可能な都市づくり共通教育プログラム(SUDP)

全学部対象のグローバル都市協力研究センター主催のフィールドワークプログラム「SUDP」に参加しています。複数学部・研究科の学生が、公衆衛生、環境、まちづくりの観点から解決策を検討します。



国際会議への参加

看護学科学生がさまざまな教育プログラムへの参加経験をInternational Council of Nurses (ICN) やInternational Academic Consortium for Sustainable Cities (IACSC) などの国際会議で発表しています。



国際交流掲示板

看護教育研究棟内には、学内・学外のさまざまな国際交流に関する情報を集めている掲示板があり、セミナー等への参加を積極的に促しています。

海外フィールドワーク 参加学生の声

グローバルな医療の あるべき姿を考えたい

■ 渡航先 フィリピン
■ 期間 2024年8月（5日間）

医学部 看護学科 4年
東京都立西高等学校卒
石原 未希 Miki Ishihara

現地の小学生に命の大切さを伝える授業を行ったり、現地の看護学生と医療課題について話し合ったりしました。さらに、医療機関やWHO事務局を訪問し、日本との共通点や違いを学びました。この経験から、一方的な援助ではなく、共にグローバルな健康問題に取り組むことの大切さを実感し、私も将来は看護師・助産師としての一助になればと考えています。



■ 国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

看護学科国家試験対策 (2025年度実績)

- 4月に4年生全員との個別面談を実施して指導・サポート。
- 看護師模試、保健師模試を年間5回実施し、ほぼ全員が受験。(4年次 4、8、10、12、1月)
- 学外のパソコン・スマートフォン等からアクセス可能な学修ツール(e-learning教材)が使用可能。
- 伸び悩んでいる学生には補習講義や随時フォローアップ面接を実施。

看護師 国家試験

合格率
2026年2月実施

100%
(全国平均 88.3%) ※既卒含む

保健師 国家試験

合格率
2026年2月実施

100%
(全国平均 87.1%)

国家試験対策スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
看護		4年次										
	個別面談								卒業論文提出			
	模擬試験					模擬試験		模擬試験		模擬試験	模擬試験	国家試験
	フォローアップ面談											

■ 卒業後の主な進路

看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市内・首都圏の医療機関へ就職しています。

看護学科 就職先・進学先 (2026年3月卒業生)

区分		就職先		人数
就 職	本学	横浜市立大学附属病院		34
		横浜市立大学附属市民総合医療センター		36
	横浜市内	神奈川県立病院機構		1
		神奈川県立こども医療センター		2
		済生会南部病院		1
		国際親善総合病院		1
		聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		1
	東京都	国立国際医療センター		1
		日本赤十字社医療センター		1
		国立成育医療研究センター		1
		東京大学医学部附属病院		1
		公益財団法人結核予防会 複十字病院		1
		東京都立小児総合医療センター		1

区分		就職先		人数
就 職	看護師	東京都	東京科学大学病院	1
			東海大学医学部付属八王子病院	1
			東邦大学医療センター大森病院	1
			国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	1
			SBC メディカルグループホールディングス	1
	保健師		横浜市	2
			横須賀市	1
			厚木市	1
			東京都品川区	1
	進学	本学	横浜市立大学大学院医学研究科 看護学専攻	7
その他		大学院（助産）6、養護教諭1	7	
合 計				106

看護学科
修学資金貸与制度

看護学科3・4年次で、YCU卒業後直ちに附属2病院(附属病院・附属市民総合医療センター)に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。



大学院紹介

医学研究科

Graduate School of Medicine



看護学専攻

本専攻では、専門看護師受験資格取得、助産師国家試験受験資格取得に加え、特定行為研修(術中麻酔管理領域等)を取得できます。本学部生が卒業後大学院に進学するための推薦入試もあります。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、専門看護師等の高度実践看護専門職を育成できる教育者を養成する、市内唯一の看護学における高度な教育・研究拠点を目指します。

博士前期課程

広い視野に立脚して看護学の専門性を追求するとともに、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や助産師・周麻酔期看護師をはじめとした高度実践看護師を育成し、看護学の研究能力を持って現場を変革できる看護管理者、また、高い識見を持つ教育者や研究者といった、次世代の看護をけん引するリーダーを育成します。

博士後期課程

2018年度から開設された博士後期課程では、今後ますます複雑・多様化する看護ニーズに対応できる看護スキルやシステム構築、看護理論等を開発できる看護学研究者の育成を目指しています。また、そのような看護ニーズに対応できる高度実践看護専門職やそれらを育成できる看護学教育者、さらに臨床や行政において指導的な立場で専門業務を担う人材を輩出します。



福浦キャンパス

横浜市立大学

附属病院 (病床数:671床)



福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。また、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協働して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。さらに、地域医療連携の中枢として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長 Message



横浜市内唯一の特定機能病院として、高度かつ先端的な医療を提供
多くの研究成果を世界に発信

附属病院長
遠藤 格 Itaru Endo

横浜市立大学附属病院は、特定機能病院として他院では診断・治療が困難な疾患を多く扱っています。隣接する先端医科学研究センターや基礎医学教室との共同研究も盛んに行っており、新規医療技術の開発に力を入れています。また多職種によるチーム医療を積極的に行い、救急患者も多く受け入れ地域医療にも貢献するなど、多くの経験ができる環境を整えています。医療職は、病で苦しむ患者さんを自らの知識と技術で助け、眼の前で患者さんの喜びを感じることができる、とてもやりがいのある仕事です。

身近な実習機関として貴重な場を提供する、

2つの附属病院



横浜市内南区浦丹町

横浜市立大学附属
市民総合医療センター

(病床数:655床)



横浜市立大学附属市民総合医療センター(YCU Medical Center)は、「市民の皆様に信頼され『地域医療最後の砦』となる病院を創造する」ことを基本理念とする地域密着型の大学病院として、高度専門医療・救急医療を提供しています。大都市横浜市の中心に位置する当院は、患者さんを中心とする多職種協働体制のもと、他の医療機関や介護施設との連携と役割分担を進めつつ、横浜市・神奈川県での医療充実に大きく貢献しています。

病院長 Message



「YCU Medical Center：
先端医療の、その先へ」を掲げる、
横浜の中心の大学病院

附属市民総合医療センター病院長
田村 功一 Koichi Tamura

最先端の高度専門医療と救急医療を担う大学病院として、高度救命救急センター、重症外傷センター、総合周産期母子医療センター、難病治療研究センター、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、肝疾患診療連携拠点病院、精神科救急医療基幹施設、地域医療支援病院等の指定を受けています。精緻なデータ分析による多職種協働体制のもと、優れた医療人の育成に注力し、時代を先取りした理念・基本方針を全職員が共有し、働きやすい職場環境を整備しています。

研究

研究施設・連携機関

附置研究所

先端医科学研究センター

福浦キャンパスに設置された当センターでは、がん、生活習慣病などの克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。



プロテオーム解析センター

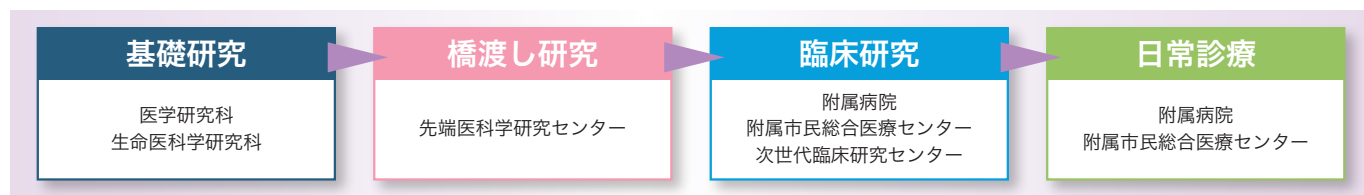
臨床研究支援組織（ARO）

次世代臨床研究センター

当センター（Y-NEXT）では、臨床試験関連の法令や指針等に精通した医師、薬剤師、看護師、事務職員など多職種がそれぞれの専門性と知識をいかして、附属2病院および学外の研究者が臨床試験をスムーズに遂行できるよう多角的な支援をしています。



トランスレーショナル・リサーチ体制



研究支援ファシリティ

オープンイノベーションラボ

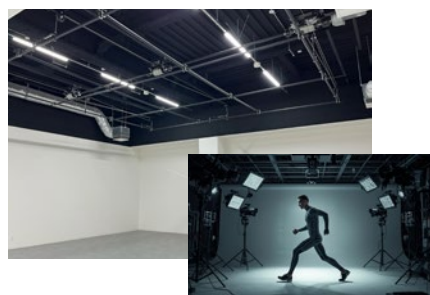
福浦キャンパスに新たに誕生したオープンイノベーションラボは、今後、新たな研究設備の導入や活用により、J-PEAKS事業を一層推進する中核拠点として機能していきます。



今後は Immersive Studio、Cyber Studio、Collab Studio など設置予定。「メンタルヘルス研究」を軸に、イノベーションを生み出し、社会実装を加速していきます。



整備後イメージ



整備後イメージ

研究支援ファシリティ

共創イノベーションセンター

本学の産学連携研究のさらなる発展と社会実装に向けた中心的な役割を担う新しい産学官民連携、オープンイノベーションを推進する組織として、2024年4月にYCU共創イノベーションセンターを設置。多様なステークホルダーと共に、社会アジェンダ（社会課題・テーマ）を設定し、解決・実現を目指します。

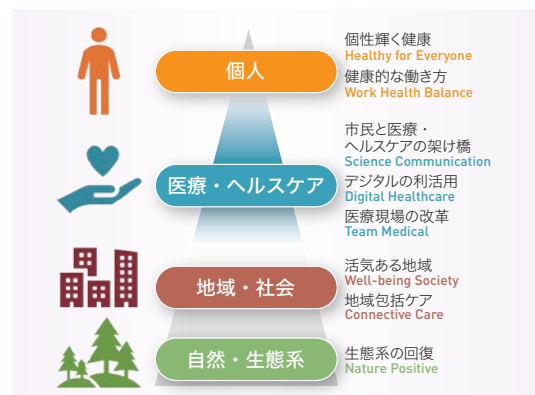
取り組み例：



YCU Hour Vol.2開催



横浜未来実装プロジェクト中間発表



鶴見キャンパス

世界トップレベルの研究設備で学ぶ



理学部・生命医科学研究科の学生が、世界トップレベルの研究設備で学修、研究を行っています。隣接する理化学研究所等の外部機関と積極的に連携しています。



世界最高レベル高感度NMR（核磁気共鳴）装置を用いた生体高分子の研究を行っています。



スーパーコンピュータをバイオ・創薬研究に最大限にいかすような最先端の研究を行っています。

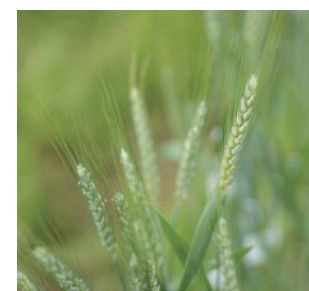


木原生物学研究所（舞岡キャンパス）

最先端の植物科学研究を舞岡から発信する



舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、理化学研究所等と連携し、ゲノム科学や遺伝学、バイオインフォマティクスやケミカルバイオロジーなど幅広い分野の最先端植物科学研究を通して、持続可能な社会への貢献を目指しています。



研究部門

- 植物遺伝資源科学部門
- 植物ゲノム科学部門
- 生命化学部門
- 植物エピゲノム科学部門
- 植物生理学部門

みなとみらいサテライトキャンパス

イノベーション人材の輩出や企業との新たなコラボレーションの創出



横浜ランドマークタワー7階「産学連携イノベーション拠点 NANA Lv.」内に設置され、データサイエンス研究科をはじめとする大学院教育や、社会人教育拠点としてリカレント教育も展開しています。

プロジェクトスペース



連携大学院・海外連携機関等

連携大学院とは、協定締結により外部の研究機関の研究者を大学の教員として迎え、その機関の研究環境を活用しながら研究指導等が受けられるシステムです。YCUではさまざまな機関と連携協定を締結しています。

連携大学院（一例）

生命ナノシステム科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構（NIMS）	海洋研究開発機構（JAMSTEC） NTT物性科学基礎研究所	農業・食品産業技術総合研究機構
生命医科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス	産業技術総合研究所（AIST）	国立医薬品食品衛生研究所（NIHS）
医学研究科	量子医科学研究所 神奈川県立循環器呼吸器病センター	国立感染症研究所 横浜市立市民病院 など	国立国際医療研究センター 理化学研究所

海外連携機関（一例）

生命ナノシステム科学研究科	台湾師範大学	チェンマイ大学	チューリヒ大学	など
生命医科学研究科	光州科学技術院			
医学研究科	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所	カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）		

中世の歴史書から見える 当時の権力者が抱いた危機感

国際教養学部 教授
研究分野：日本文化史・日本中世史

松本 郁代 Ikuyo Matsumoto

13世紀から15世紀頃にあたる中世日本の歴史書を研究し、歴史としての「過去」がどのように表現され、利用されたのかを考察しています。

歴史叙述は、単なる史実の語りではなく、人の解釈を介した語りや表現による「過去」であり、戦略的な「過去」として作られました。

中世の日本は度重なる戦乱、末法思想、皇統の分裂など、国の存続を揺るがしかねない大きな危機に直面しており、そうした状況が歴史書に反映されています。時には権力の正当化や秩序の維持のために「過去」が利用されることもありました。同じ出来事でも記述方法や視点ごとに「過去」が多面的に形成され、私たちの歴史認識に大きな影響を与えています。そこがこの研究の面白い点だと感じています。



ココ知り!

Researcher Interview

未来を切り開くYCUの最先端研究

タンパク質の構造解析で 生命の謎に迫る

理学部／生命医科学研究科 教授
研究分野：タンパク質の機能と構造

J.R.H TAME

ジェレミー テイム

タンパク質の立体構造を調べる研究をしています。タンパク質は生物にとって不可欠な分子で、細胞の維持や生命活動を支える重要な役割を担っています。現代の新薬開発では、標的となるタンパク質の構造を基に分子モデリングを行います。私の研究室では、インフルエンザなどウイルスが持つタンパク質の構造を解明し、新薬の発見につながる研究をしています。また、医療や産業への応用を目指した、新しい人工タンパク質の設計方法も探究対象です。

異なる種のタンパク質に共通の仕組みを発見することは非常に興味深いです。こうした構造の違いや環境適応の関係を解明することが、この研究の魅力です。

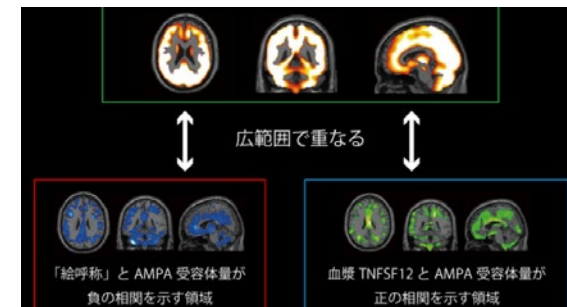


ココ知り!

主な研究TOPICS

新型コロナウイルス感染症の後遺症 “ブレインフォグ”の病態を新しい脳画像法で解明 —脳内グルタミン酸 AMPA 受容体が罹患後の認知機能障害に関係—

神経細胞同士の情報伝達のやりとりの要であるグルタミン酸AMPA受容体が、新型コロナウイルス感染症罹患後症状（Long COVID）の認知機能障害、いわゆる“ブレインフォグ”に関わることを初めて明らかにしました。本研究の結果は、Long COVIDの認知機能障害“ブレインフォグ”を脳の変化に基づいて診断し、その変化に基づいて治療を行うことができる可能性を示唆しています。

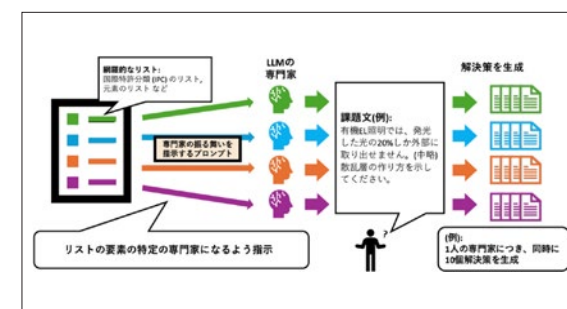


詳細はこちら▶

生理学教室▶

大規模言語モデルによるひらめきの創出 —分野横断的な課題解決策を生成する手法の開発—

解決が困難な課題に対し、大規模言語モデル（以降、LLM）を用いて異分野融合による効果的な解決策を生み出す手法SELLMを提案しました。材料科学分野において解決が困難な課題に対し、SELLMを適用して検証した結果、課題から離れた材料や分野のアイデアを活用した、効果的な解決策や有望な代替案が生成されました。SELLMは汎用的なフレームワークであり、産学を問わない幅広い課題や問題に対して、異分野融合的な有望な解決策やひらめきを提供し得るポテンシャルを持っています。

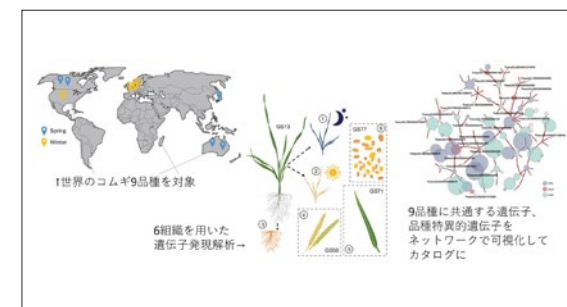


詳細はこちら▶

生命情報科学研究室▶

遺伝子カタログ化によるコムギ品種間多様性の解明 ～食料安全保障を目指した新品種開発を加速～

国際10+コムギゲノムプロジェクトとの共同研究で、日本を代表する品種である農林61号を含む9品種の網羅的な遺伝子発現解析を行い、農林61号が他の品種にはない特徴的な染色体領域を持つことを明らかにしました。この領域には組織特異的に機能する新規遺伝子や病害抵抗性に関連する遺伝子が多く見つかり、今後の世界のコムギ安定生産に向けた新品種育成に有用な素材としてゲノム育種を推進すると期待されます。



詳細はこちら▶

木原生物学研究所▶

横浜市立大学 COI-NEXT 拠点 Minds1020Lab にて 「アニメ療法」の実証実験を開始 —キャラクターを介したカウンセリングの 「社会的処方」としての有効性などを検証—

オリジナルキャラクターを活用したオンラインカウンセリングである「アニメ療法®」の実証実験を開始しました。生きづらさを抱える若者を主な対象とし、アニメをメンタルヘルスケアに役立てる「アニメ療法」に関して、「生活の質（QOL: Quality Of Life）」の向上につながる「社会的処方（social prescribing）」としての有効性・有用性を検証して、社会実装を目指します。



詳細はこちら▶

Minds1020lab▶

学生支援

YCUは学生数約5,300人という規模だからこそ、学生と教職員との距離が近く、少人数による教育やお互いの顔の見える関係が、学生一人ひとりの学びを高めます。学修面のみならず、専門スタッフによる学生相談や情報交換の場、保護者への説明会等、サポート体制も充実しています。

学生サポート



キャンパス相談

各キャンパスで公認心理師等の資格を持つカウンセラーが、心身の健康、人間関係、修学、将来の進路等、学生生活におけるさまざまな事柄に関する相談に応じます。



バリアフリー支援室

専任のコーディネーターが、病気や障害のある学生の相談や学修支援を行います。キャンパス相談や、学務部門と連携しながら、教員との調整や、個々の状況に即した対応を行っています。



保護者説明会

YCUでは在学生の保護者の皆さまを対象に、本学の教育理念や学生生活・留学・就職に関する支援等についての説明会を金沢八景キャンパス、福浦キャンパスで実施しています。



情報交換会

学生の自治団体の代表者と学生支援部門のスタッフがミーティングを行い、学生の声をダイレクトに吸い上げるとともに、主に大学行事や部活動、大学施設の利用等に関して、意見交換を行う場を設けています。

キャリアサポート

キャリアサポート▶



学生支援

■ 合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内でインターンシップや企業説明会を対面とオンラインで実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションを図ることができます。

合同企業セミナーの主な出展企業（法人格省略）

アクセンチュア、旭化成、イシダ、稲畑産業、内田洋行、ANA X、エクサ、NTTデータ・ビジネス・システムズ、オービック、鹿島建設、関西ペイント、木下工務店（木下グループ）、キャノンマーケティングジャパン、グンゼ、佐藤製薬、塩野義製薬、清水建設、Sky、鈴与商事、住友倉庫、住友生命保険、全国健康保険協会、ゼンショーホールディングス、大成建設、高島屋、TDK、JR東海、日本銀行、日本政策金融公庫、日本入試センター、東日本旅客鉄道（JR東日本）、フコク物産、船井総合研究所、丸全昭和運輸、みなとみらい二十一熱供給、横浜ゴム、ゆうちょ銀行 他



■ キャリア相談

専門のキャリアコンサルタントを配置し、エントリーシート添削・模擬面接等、就職活動の具体的なアドバイスなどマンツーマンで相談に応じています。

■ Uターン・Iターン支援

学生は、就職を希望する地域の就職支援パートナーシップ制度参加14大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談等の就職支援を受けられます。関東圏以外の出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

■ キャリアサポーター制度

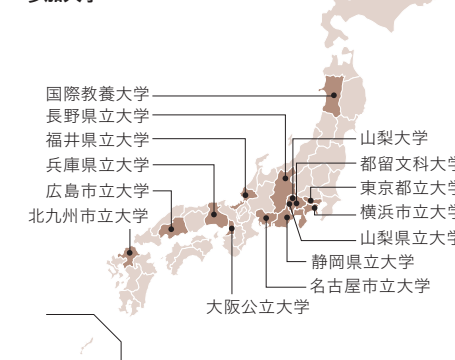
YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。学生が、サポーターとして登録している3,500名以上の卒業生を就職先企業名で検索し、直接コンタクトを取ることができ、職場の雰囲気や仕事内容および就職活動でのエピソード等、会社説明会や人事担当者からは得られない話を聞くことができます。



■ キャリアメンター制度

就職活動を終えた4年生、博士前期課程（修士課程）2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程（修士課程）1年生の相談相手となって就職活動を支援する制度です。先輩からリアルな体験談や、アドバイスをもらうことができます。

就職支援パートナーシップ制度
参加大学



内定者の声

- 内定先 みずほ証券株式会社
- 就職活動期間 12か月 ■ 内定社数 6社
- 総応募社数 30社

国際商学部 国際商学科 2026年3月卒業
東京都 私立田園調布学園高等部
平元 りな Lina Hiramoto

友人が早い段階から就職活動を始め、大学の就活ガイダンスに参加していたことをきっかけに、私も就職活動に取り組み始めました。当初は何から手を付ければよいのか分かりませんでした。ガイダンスへの参加を重ねる中で、就職活動の全体像と自分が取るべき行動を少しずつ整理できるようになりました。中でも役立ったのが、キャリアメンター制度と模擬面接です。メンター制度では、志望業界に内定した先輩から実体験に基づく助言をいただき、相談を重ねることで、具体的な進め方や考え方を学びました。また、模擬面接では緊張感のある環境で実践的な練習を積み、丁寧なフィードバックを受けたことで、本番でも自信をもって臨むことができました。就職活動を通じて自分自身と向き合うことが、納得感のある進路選択につながったと感じています。

ガイダンス、メンター制度、模擬面接を活用し、
自信をもって就職活動に臨めた

図書館

● 学術情報センター（金沢八景キャンパス）



約72万冊の豊富な蔵書と充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

● 医学情報センター（福浦キャンパス）



豊富な医学情報で学修・研究と医療の現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。



■ インターンシップ・キャリア教育プログラム

夏季や春季などの長期休暇を利用し、企業や官公庁など幅広い分野で一定期間、就業体験を行う制度です。学生は、自らの専攻や将来のキャリアと関連したプログラムに参加することで、将来の方向性を見極めるヒントを得ることができます。国内に加えて、海外の企業等で現地の社員の方と交流しながら、グローバルな視野を広げる体験ができるプログラムも例年実施しています。

Campus Life

キャンパスライフ

MASCOT

ヨッチー YOCHY

YCUのイチヨウ並木から
生まれたイチヨウの精



性格… お調子者で元気いっぱい。海外旅行のために
苦手の英語も頑張る努力家
仕事… イチヨウの葉の色付け
特技… マジック **モットー**… 時代に流されない



Student's Voice

Q YCUのキャンパスはどんな雰囲気？

すごく落ち着いている。さらに、
季節によって異なる風景を
楽しむことができるのが魅力。

Q 1人暮らしの
苦しいところ・
楽しいところは？

日常の家事や規則的な生活の
維持が大変だけど、生活の自由度が
広がるのは楽しい！

Q 楽しいな
イベントは？

なんといっても
YCUの学園祭である
「浜大祭」

Q キャンパスライフの
スタートで大事なことは？

自分が没頭できることを
見つけること！

Q YCUのいいところは？

立地がいいところと、
授業が少人数制なので、
友達ができやすいところ！

Q 横浜ってどんな
ところ？

都会と田舎の中間ぐらい
という感じで、落ち着いた街。

YCU生の1日

ベンアブダラ テスニム
Benabudara Tesnimu

国際教養学部 国際教養学科 4年
福島県 私立会津若松ザベリオン学園高等学校卒

憧れていた都市・横浜で
国際関係を存分に学ぶ
充実の日々

昔から横浜に憧れがあり、国際関係の
学問を学びたかったのでYCUに進学し
ました。1人暮らしは期待より不安が大
きく、最初の3か月はホームシックでし
たが、次第に生活にも慣れ、今では充実
した日々を送っています。
大学生が各国の国連大使のように国際
問題の解決策を議論する模擬国連研究
会にも1年次から参加しています。どう
したら難民問題や紛争問題を解決でき
るのか、今後も自分に問い続けたいです。
将来は、今学んでいる国際関係論を飛
び越え、ソーシャルビジネスとの連携な
ども考え、海外の大学院への進学も視
野に入れています。

関心があるのは
国際問題！

1か月の生活費

収入	
仕送り:	6万円
アルバイト代:	9万円
支出	
食費:	2万円
娯楽費:	2万円
公共料金:	1万円
家賃:	7万円
生活備品費:	1万円

YCUトリビア

YCUの「じつは...」な情報をお届けします！



「青春ブタ野郎」シリーズ
<大学生編>に登場する
大学のモデルとか…

「青春ブタ野郎」は
「サタクロースの夢を見ない」
各配信サイトにて配信中！
©2024 鴨志田 一/KADOKAWA/青春ブタ Project

時々、ドラマ※の撮影
に使われている！

いちょうの館の
トイレがやたらオシャレ！
わざわざ通う
ファンがいるとか…

時計台の間を
通ると単位を落とす
という噂が…！

※金沢八景キャンパス「ブラッシュアップライフ」、初めて恋をした日に読む話、
福浦キャンパス「ザ・トラベルナース」、附属病院「九十歳。何がめでたい」等

くつろぎの場所
カメリア
ホール前



Schedule (1年次)

7時	起床
8時	朝食・登校
9時	
10時	講義
11時	
12時	昼食
13時	
14時	講義
15時	
16時	ゼミ
17時	
18時	
19時	バイト
20時	
21時	
22時	自由時間 (勉強・課題等)
23時	
24時	就寝

講義中



チキン竜田丼
が好き！



下校中。
通学は
いつも徒歩



YCUの1年

● 共通年間スケジュール 国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部

4月	5月	6月	7月	8月	9月
●入学式 ●新入生 オリエンテーション ●前期授業開始 ●履修登録申請 ●1学期授業開始(医学部) ●前期授業開始(看護学部)	●新入生研修(医学部) ●履修登録確認期間	●東京都立大学との 運動部総合定期戦 (都立大戦)	●東日本医科学学生 総合体育大会	●前期終了／夏季休暇 ●ゼミ合宿 ●海外派遣プログラム (夏期) ●関東甲信越大学 体育大会	●後期授業開始 ●後期履修申請 ●2学期授業開始(医学部) ●後期授業開始(看護学部) ●実験動物慰霊祭(医3年) ●ご遺骨返還式(医2・6年)

● 金沢八景キャンパス 国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部(1年)／大学院
● 福浦キャンパス 医学部(医学科(2～6年)・看護学部(2～4年)／大学院

10月	11月	12月	1月	2月	3月
●防災訓練 ●履修登録確認期間 ●共用試験 臨床実習後OSCE(医6年)	●浜大祭(10/31・11/1) ●医学祭(11/21・22) ●共用試験CBT(医4年) ●医学のために献体された 方々への感謝の集い	●冬季休暇 ●卒業論文提出 ●共用試験OSCE(医4年)	●卒業論文発表会(文系) ●3学期授業開始(医学部) ●白衣授与式(医4年)	●後期終了 ●海外派遣プログラム (春期) ●卒業論文発表会(理系) ●医師国家試験 ●看護師／保健師国家試験	●卒業式 ●医学部・医学研究科 学位授与式

※2026年度の予定です。
※変更になる場合があります。

Club/Circle

クラブ/サークル



女子グランドホッケー部(金沢八景キャンパス)



医学部少林寺拳法部(福浦キャンパス)



医学部YDC(福浦キャンパス)



YCU SUP team(金沢八景キャンパス)



オリエンテーリング部(金沢八景キャンパス)



混声合唱団(金沢八景キャンパス)



ジャグリングサークルしゃかりきバンダ(金沢八景キャンパス)



サッカー部(金沢八景キャンパス)

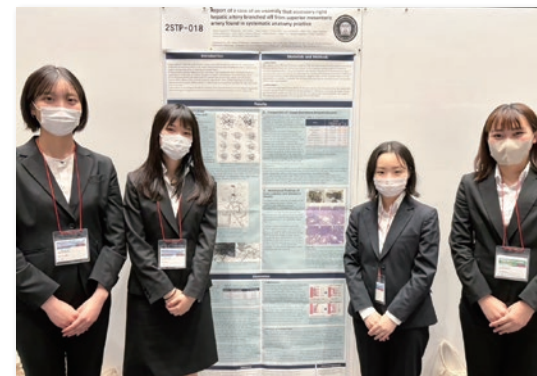


剣道部(福浦キャンパス)

YCUの部活、サークルの団体数は、運動系・文化系を合わせて約100。
アルバイトやボランティア活動、インターンシップ等の活動と両立しながら、
それぞれの目標に向かって励んでいます。もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。



管弦楽団(金沢八景キャンパス)



解剖道場(福浦キャンパス)



Hair for Children(福浦キャンパス)



ダンス部zer0(福浦キャンパス)



ヨット部(福浦キャンパス)

キャンパスライフ▶



金沢八景キャンパス

運動部連合会所属団体

アーチェリー部/アメリカンフットボール部/
ウィンドサーフィン部/応援団チアリーダー部Seagulls/
オリエンテーリング部/空手道部/弓道部/
男子グランドホッケー部/女子グランドホッケー部/
剣道部/男子硬式庭球部/女子硬式庭球部/
硬式野球部/サッカー部/柔道部/
準硬式野球部/水泳部/スキー部/
卓球部/テコンドー部/軟式野球部/
男子バスケットボール部/女子バスケットボール部/
バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/男子ハンドボール部/
女子ハンドボール部/男子フットサル部/
女子フットサル部/ヨット部/ラグビー部/
陸上競技部/YCU SUP team

文化部連合会所属団体

アカペラシンガーズvoxbox/囲碁将棋部/
映画研究部/演劇研究部(劇団海星館)/
科学倶楽部/かるた会/管弦楽団/ギター部/
軽音楽部SESSION/混声合唱団/茶道部/
ジャグリングサークルしゃかりきバンダ/吹奏楽団奏/
Second Wind Jazz Orchestra/探検部/
ダンス部ALMA/天文部137Mel/陶芸部/
パソコン部CLiP/学生会HAKKEY+/
美術部/ピアノ会/文芸部/
漫画研究部/三浦半島研究会/TEHs/
DNPC-どんぱち

サークル運動系

合気道同好会/ワンダーフォーゲルサークル/
フィットネスサークル

サークル文化系

YCUデジフォトサークル/ローターアクトクラブ

福浦キャンパス

医学部運動部連合会所属団体

剣道部/硬式庭球部(男子)/硬式庭球部(女子)/
硬式野球部/ゴルフ部/サッカー部/
柔道部/医学部少林寺拳法部/水泳部/
ソフトテニス部/卓球部/ダンス部zer0/
バスケットボール部男子/バスケットボール部女子/
バドミントン部/男子バレーボール部/
女子バレーボール部/フットサル部/
ヨット部/ラグビー部

医学部文化部連合会所属団体

機械情報医学研究会(旧We×Medicine)/
Front Line of Yokohama (FLY)/茶道部/
手話サークル・あしながおじさん/学生赤十字奉仕団/
ちちんぷいぷい/東洋医学研究会/
美術愛好会/福浦倶楽部(軽音)/
福浦絃楽会/分子医学研究会/Hepburn's/
Yokohama Medical Klavier(ピアノ会)/
外科手技研究会/解剖道場/医学部YDC/
いのちの授業グループ/ジャズ研究会

サークル文化系

横浜IFMSA/Hair for Children

2026年4月現在

Campus Map 金沢八景キャンパス

キャンパスマップ

■ 国際教養学部 ■ 国際商学部 ■ 理学部 ■ データサイエンス学部 ■ 医学部(1年次)

アクセス
横浜駅から約**18分** / 品川駅から約**40分** /
羽田空港から約**40分** (京浜急行線利用)

「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、
緑に囲まれたキャンパスがあります。
コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、
学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。
正門から続くイチョウ並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、
訪れた人たちの心を和ませてくれます。
落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、映画やドラマの撮影にも使われます。



2 イチョウ並木

1948年に横浜医科大学予科(医学部医学科の前身)の学生たちが植えたものです。



3 総合体育館

アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、トレーニングルーム、温水プールを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。



温水プール



学生のお気に入り

いちょうの館

学生のためのスペース。ガラス張りで見開けた空間は、仲間とのミーティングやグループ学習にも活用されています。



4 市大交流プラザ(いちょうの館)

YCU創立75周年記念事業のひとつとして、卒業生からの寄附金等をもとに建設。広く市民の方や企業の皆さまと学生、卒業生、教職員が相互に交流を深める場として活用されています。



1 理学系研究棟

理学部の実験室、演習室や研究室があります。



8 シーガルセンター

約700席の食堂をはじめ、売店やホール、スタジオ、国際交流室等、学生生活を充実させるさまざまな施設が揃っています。



9 第2グラウンド

全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのオムニコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。



10 学生のお気に入り Library Students Plaza

学術情報センター内で会話やディスカッションもOKのオープンスペース。机や椅子を自由に動かすことができ、YCU生たちはグループ発表の準備やセミナー等に活用しています。



7 時計台

YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。



6 保健管理センター

医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置だけでなく、人間関係や学業等さまざまな悩み・心配事の相談にも応じています。

5 YCUスクエア

YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の方々と学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。



横浜駅から約18分。
コンパクトで緑豊かなキャンパス

Campus Map 福浦キャンパス

キャンパスマップ

■ 医学部 (2年次以上)

アクセス シーサイドライン「市大医学部駅」直結。



「金沢八景駅」より約10分

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。キャンパスは大学附属病院と隣接しており、早くから医療現場を体験することができます。また、サッカー、野球等が可能なグラウンドの他テニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、充実した運動設備に恵まれています。



1 先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医科学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるよう研究開発が行われます。



2 基礎研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。

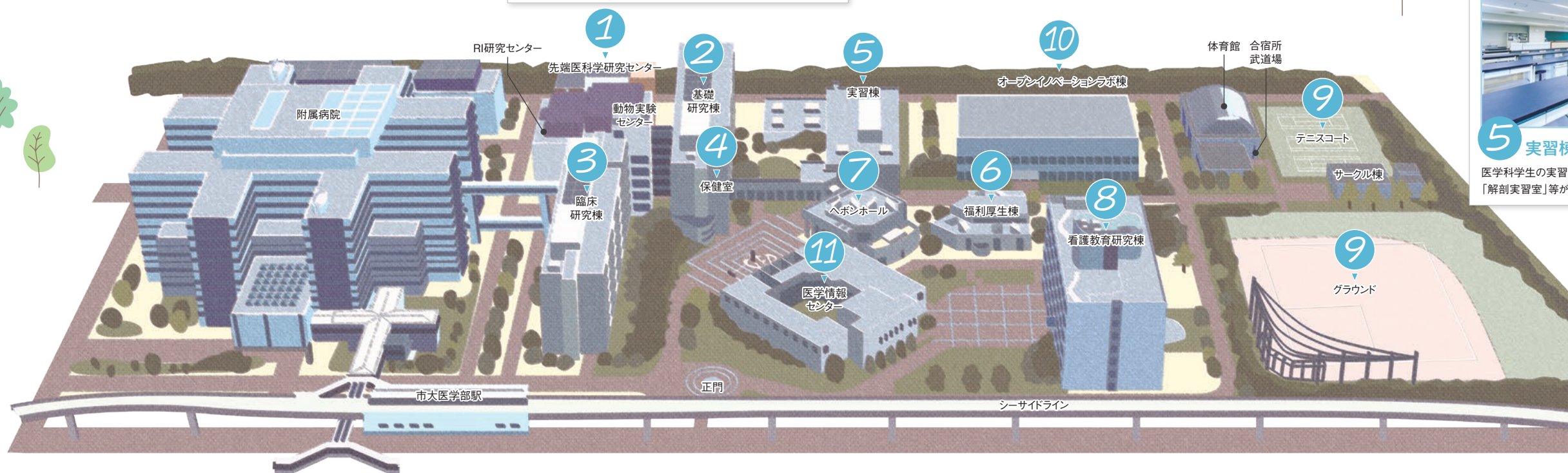


3 臨床研究棟



4 保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。



5 実習棟

医学科学生の実習を行うための施設。実習室は「組織実習室」「解剖実習室」等が設置されています。



9 テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートの他、グラウンド、体育館、武道場のスポーツ設備に加えて合宿所も整っています。



↓ 学生のお気に入り ↓

6 福利厚生棟(食堂)

医学部生のお腹を満たしてくれる医学部食堂はカフェテリア方式。隣に併設されている購買部では、医学書や看護の専門書、白衣や聴診器等も取り扱っています。

大学附属病院と隣接。

医療現場に近いキャンパス



7 ヘボンホール (講義棟1階)

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1階の多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。



8 看護教育研究棟

多くの講義室の他に、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめ、さまざまな催しに利用されています。また、棟内にはラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にはとひと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。



↓ 学生のお気に入り ↓

看護教育研究棟1階

看護教育研究棟の1階は、福浦キャンパスの中では知る人ぞ知る癒しスポット。陽の光が温かく降り注ぐ窓際のソファで思わずほっこり。お昼休み等には、学生が奏でるグランドピアノの音色に癒されます。



10 オープンイノベーションラボ棟

2025年開設。企業や研究者が集結する産学官連携の研究拠点スペースに加え、メタバースラボ、オープンイノベーションラボを今後配置し、イノベーションの創出と社会実装の加速を目指します。



11 医学情報センター

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。

学費・奨学金

■ 学費等

学部・学科		国際教養学部		理学部		医学部			
		国際商学部		データサイエンス学部		医学部医学科		医学部看護学科	
項目	入学区分	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外
学費	入学金	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000
	施設設備費（初年度のみ）	25,000	50,000	25,000	50,000	150,000	200,000	25,000	50,000
	授業料 ※2 ◆	557,400		557,400		573,000		557,400	
	実験実習費（2年次以降） ※2 ◆	—		20,000		42,000		20,000	
諸会費	学術研究会会費	2,000		2,000		2,000		2,000	
	後援会会費	50,000		50,000		50,000		50,000	
	進交会（同窓会）入会費	10,000		10,000		10,000		10,000	
	自治会入会費	3,000		3,000		3,000		3,000	
	自治会会費	12,000		12,000		18,000		12,000	
	俱進会会費（医学科同窓会会費）	—		—		30,000（6年分）		—	
保険料	学生教育研究災害傷害保険 保険料 ※3	3,300（4年間）		3,300（4年間）		4,800（6年間）		—	
	学生教育研究災害傷害保険 付帯学生生活総合保険 保険料 ※4	44,880～（4年間） （一人暮らし学生用） 38,890～（4年間） （自宅学生用）		44,880～（4年間） （一人暮らし学生用） 38,890～（4年間） （自宅学生用）		59,310～（6年間） [一人暮らし学生用] 51,050～（6年間） [自宅学生用]		—	
	日本看護学校協議会共済会 保険料	—		—		—		7,000（1年間）	
	生活協同組合出資金 ※5	30,000		30,000		30,000		30,000	
初年度納付金合計 ※6		800,400	966,400	800,400	966,400	977,000	1,168,000	800,400	966,400
入学時納付金合計 ※7		243,000	409,000	243,000	409,000	404,000	595,000	243,000	409,000

※1.入学区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前（2026年4月1日）から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住民票上の住所を有する場合に該当します。

※2.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納（5月・10月）です。

※3.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出した学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。

任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。（理学部のみ加入必須）

※4.学校の内外を問わず、学生自身のケガや病気の他、他人に対する賠償事故や臨床実習中における事故等を補償します。

※5.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要です。（出資金は、卒業または退学時に定款の定めに基づき返還されます）

※6「初年度納付金合計」は、保険料、生活協同組合出資金、実験実習費を除いた合計額です。

※7.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生の上向、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体（学術研究会、後援会、進交会、自治会）への加入をお願いしています。諸会費は、各団体が行っているさまざまな支援（課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係等）の財源となります。また、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備等も後援会の助成により行われています。



■ 奨学金等

横浜市立大学および横浜市立大学後援会は、学生の皆さんが有意義な大学生活を送れるようバックアップしていきます。

本学で受けられる経済支援・報奨制度等についての詳細は本学WEBサイトよりご確認ください。



■ 在学中に家計が急変した際の救済制度

生計維持者の死亡や事故、病気等、予期できない事由や災害等で家計が急変した場合には、年間を通じて申請することができます。

各制度の詳細は本学WEBサイトよりご確認ください。

- 高等教育の修学支援新制度 家計急変採用
- 日本学生支援機構奨学金（貸与型）緊急・応急採用
- 緊急応急対応型授業料減免（本学独自の経済支援制度）
- 災害見舞金（本学独自の経済支援制度）
- 生協たすけあい奨学制度

受験をお考えの方へ

「YCU受験生ポータルサイト」では、高校生・受験生や保護者の皆さまに向けてさまざまな情報を発信しています。

■ 各種資料請求

「募集要項」等の資料は下記の方法で入手できます。詳しくは本学WEBサイトをご確認ください。



- テレメールで請求
- モバっちょで請求
- 直接受け取る

■ インターネット出願

一般選抜（前期・後期日程）および公募制学校推薦型選抜は、インターネット出願になります。募集要項はダウンロード式となります。



■ イベント情報

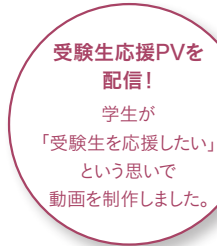
進路説明会やガイダンス、各種イベント情報などを発信しています。詳しくは本学WEBサイトをご確認ください。

オープンキャンパス情報はこちらから！



■ 受験生のためのWEBマガジン **ヨコ知り！**

現役学生の生き生きとした姿や、教員、学生を身近に感じてもらえるような、YCUの魅力をお伝えしています！ ぜひご覧ください。



■ SNSで最新情報を発信

X、Instagram、Facebook、LINE、YouTubeでさまざまなYCU情報を発信中。公式アカウントをフォローして、YCUをもっと知ろう！



ID: @YCU_koho
アカウント名: 横浜市立大学

https://x.com/YCU_koho



ID: yokohama_city_university
アカウント名: 横浜市立大学 (YCU)

https://www.instagram.com/yokohama_city_university/



ID: YokohamaCityUniv
アカウント名: YCU横浜市立大学

<https://www.facebook.com/YokohamaCityUniv>



ID: @yokoichi
アカウント名: 横浜市立大学

<https://page.line.me/yokoichi>



ID: YokohamaCityUniv
<https://www.youtube.com/YokohamaCityUniv>

アドミッションズセンター —Instagramアカウント

イベント情報配信中！

ID: ycu_admi2055
アカウント名: 横浜市立大学 アドミッションズセンター

http://www.instagram.com/ycu_admi2055/



PUSH通知機能

大学からのお知らせを、お手持ちのスマートフォンのプッシュ通知機能で受け取ることができます。ぜひご登録ください！



入試概要

入試制度・募集人員

	一般選抜		特別選抜									計
	（後期日程） （前期日程） 一般選抜		学校 公募制 推薦型選抜	学校 指定校制 推薦型選抜	学校 特別 公募制 推薦型選抜	総合型 選抜	海外 帰国生 特別選抜	国際 バカロレア 特別選抜	科学 オリンピック 特別選抜	外国人 留学生 特別選抜	社会人 特別選抜	
国際教養学部												
国際教養学科	前 125名	A方式 85名 B方式 40名	30名	65名	－	20名	若干名	若干名	－	若干名	若干名	240名
計	125名		30名	65名	－	20名	若干名	若干名	－	若干名	若干名	240名
国際商学部												
国際商学科	前 160名	A方式 120名 B方式 40名	15名	50名	－	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	230名
計	160名		15名	50名	－	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	230名
理学部												
理学科	前 75名 後 7名	A方式 55名 B方式 20名	13名	40名	－	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	140名
計	82名		13名	40名	－	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	140名
データサイエンス学部												
データサイエンス学科	前 65名 後 7名		17名	18名	－	13名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	120名
計	72名		17名	18名	－	13名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	120名
医学部												
医学科	前 70名	一般 58名 地域 9名 指定 ※3名	－	－	県内 10名 指定 ※3名 県外 6名 指定 ※2名	－	－	一般2名	－	－	－	93名
看護学科	前 55名	A方式 40名 B方式 15名	－	40名	5名	－	－	若干名	－	－	－	100名
計	125名		－	40名	26名	－	－	2名	－	－	－	193名
大学												
合計	564名		75名	213名	26名	43名	若干名	2名	若干名	若干名	若干名	923名

(医学部医学科募集枠) 一般：一般枠 地域：地域医療枠 指定：神奈川県指定診療科枠 ※神奈川県指定診療科枠の募集人員については、臨時定員継続認可後の予定数

出願方法

※本学では、入試によって出願方法が異なります。インターネット出願対象の入試、非対象の入試がありますので、下記をご確認ください。
出願の詳細については、募集要項および本学受験生ポータルサイトにてご確認ください。

インターネット出願対象の入試

- 一般選抜（前期日程・後期日程）
- 公募制学校推薦型選抜

紙出願対象の入試（請求方法は本学受験生ポータルサイト参照）

- 総合型選抜
- 海外帰国生特別選抜
- 国際バカロレア特別選抜
- 科学オリンピック特別選抜
- 外国人留学生特別選抜
- 社会人特別選抜
- 特別公募制学校推薦型選抜
- 指定校制学校推薦型選抜（指定校に送付）

入試日程

※9～12月は2026年、1～3月は2027年
※入試日程は変更になる場合があります。必ず入学者選抜要項で最新の情報を確認してください。

大学入学共通テスト

区分	出願期間	試験日
大学入学共通テスト	9月下旬	1月16日（土）・17日（日）

一般選抜

区分	出願期間	試験日	合格発表日
前期日程	1月25日(月)～2月3日(水)	2月25日(木)・26日(金)	3月10日(水)
後期日程	1月25日(月)～2月3日(水)	3月12日(金)	3月20日(土)

特別選抜

区分	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜 (国際教養学部／国際商学部／理学部 ／データサイエンス学部)	9月1日(火) ▶ 3日(木)	1次 書類審査 2次 10月10日(土)	1次 9月25日(金) 2次 11月2日(月)
海外帰国生特別選抜	9月4日(金) ▶ 8日(火)	10月3日(土)	11月2日(月)
国際バカロレア特別選抜 (国際教養学部／国際商学部／ 理学部／データサイエンス学部)	9月4日(金) ▶ 8日(火)	10月3日(土)	11月2日(月)
国際バカロレア特別選抜 (医学部医学科)	10月28日(水) ▶ 30日(金)	1次 書類審査 2次 12月5日(土) 3次 書類審査	1次 11月17日(火) 2次 12月15日(火) 3次 1月22日(金)
国際バカロレア特別選抜 (医学部看護学科)	11月2日(月) ▶ 5日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)
科学オリンピック特別選抜	9月4日(金) ▶ 8日(火)	10月3日(土)	11月2日(月)
外国人留学生特別選抜	9月4日(金) ▶ 8日(火)	10月3日(土)	11月2日(月)
外国人留学生特別選抜 第2期募集 (国際教養学部／国際商学部／理学部)	1月25日(月) ▶ 27日(水)	2月25日(木)	3月10日(水)
社会人特別選抜	9月4日(金) ▶ 8日(火)	10月3日(土)	11月2日(月)
指定校制学校推薦型選抜	11月2日(月) ▶ 5日(木)	11月21日(土)	12月1日(火)
公募制学校推薦型選抜	1月5日(火) ▶ 22日(金)	<大学入学共通テスト>	2月10日(水)
特別公募制学校推薦型選抜 (医学部医学科)	11月2日(月) ▶ 5日(木)	1次 書類審査 2次 12月5日(土) 3次 <大学入学共通テスト>	1次 11月17日(火) 2次 12月15日(火) 3次 2月10日(水)
特別公募制学校推薦型選抜 (医学部看護学科)	11月2日(月) ▶ 5日(木)	1次 書類審査 2次 11月21日(土) 3次 <大学入学共通テスト>	1次 11月13日(金) 2次 12月1日(火) 3次 2月10日(水)

2026 入試結果

2026年度 一般選抜 入試結果（入試実施状況）

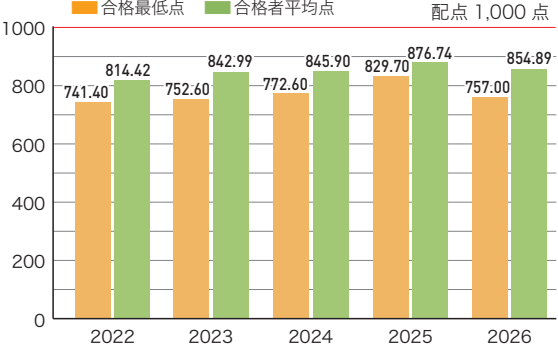
上段（女子）、下段（現役）は内数												
学部	学科		募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選抜 合格者数	受験者数		合格者数 ※追加合格者数を含む		追加 合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科【前期】	A方式	100	736 ⁽⁴³²⁾ ₍₆₃₁₎	4.9	－	608	465 ⁽²⁸³⁾ ₍₃₉₄₎	209	149 ⁽¹⁰⁶⁾ ₍₁₂₄₎	0	173 ⁽¹²⁰⁾ ₍₁₄₄₎
		B方式	50					608 ⁽³⁵⁷⁾ ₍₅₁₉₎		60 ⁽³²⁾ ₍₅₁₎	0	
	計		150	736 ⁽⁴³²⁾ ₍₆₃₁₎	4.9	－	608 ⁽³⁵⁷⁾ ₍₅₁₉₎	209 ⁽¹³⁸⁾ ₍₁₇₅₎	0	173 ⁽¹²⁰⁾ ₍₁₄₄₎		
国際商学部	国際商学科【前期】	A方式	130	731 ⁽²⁸⁸⁾ ₍₅₉₄₎	3.8	－	611	436 ⁽¹⁸⁷⁾ ₍₃₆₇₎	226	166 ⁽⁷⁰⁾ ₍₁₄₁₎	0	194 ⁽⁸⁵⁾ ₍₁₆₆₎
		B方式	60					611 ⁽²⁴⁶⁾ ₍₅₀₅₎		60 ⁽²⁷⁾ ₍₅₁₎	0	
	計		190	731 ⁽²⁸⁸⁾ ₍₅₉₄₎	3.8	－	611 ⁽²⁴⁶⁾ ₍₅₀₅₎	226 ⁽⁹⁷⁾ ₍₁₉₂₎	0	194 ⁽⁸⁵⁾ ₍₁₆₆₎		
理学部	理学科【前期】	A方式	55	346 ⁽¹⁴⁷⁾ ₍₂₄₁₎	4.6	－	300	284 ⁽¹¹⁸⁾ ₍₂₀₁₎	91	71 ⁽²⁹⁾ ₍₅₁₎	0	71 ⁽²⁶⁾ ₍₅₂₎
		B方式	20			－		300 ⁽¹²⁴⁾ ₍₂₁₂₎		20 ⁽⁴⁾ ₍₁₃₎	0	
	理学科【後期】		7	65 ⁽²⁹⁾ ₍₄₈₎	9.3	－	25 ⁽⁹⁾ ₍₁₈₎	9 ⁽³⁾ ₍₈₎	0	7 ⁽²⁾ ₍₆₎		
	計		82	411 ⁽¹⁷⁶⁾ ₍₂₈₉₎	5.0	－	325 ⁽¹³³⁾ ₍₂₃₀₎	100 ⁽³⁶⁾ ₍₇₂₎	0	78 ⁽²⁸⁾ ₍₅₈₎		
データサイエンス学部	データサイエンス学科【前期】		40	170 ⁽⁴²⁾ ₍₁₄₂₎	4.3	－	154 ⁽³⁵⁾ ₍₁₂₉₎	40 ⁽⁴⁾ ₍₃₀₎	0	33 ⁽⁴⁾ ₍₂₅₎		
	データサイエンス学科【後期】		5	62 ⁽¹⁴⁾ ₍₅₀₎	12.4	－	19 ⁽⁴⁾ ₍₁₆₎	8 ⁽⁰⁾ ₍₆₎	0	7 ⁽⁰⁾ ₍₅₎		
	計		45	232 ⁽⁵⁶⁾ ₍₁₉₂₎	5.2	－	173 ⁽³⁹⁾ ₍₁₄₅₎	48 ⁽⁴⁾ ₍₃₆₎	0	40 ⁽⁴⁾ ₍₃₀₎		
医学部	医学科【前期】		70	231 ⁽¹⁰⁹⁾ ₍₁₃₉₎	3.3	204	183 ⁽⁸⁶⁾ ₍₁₀₈₎	74 ⁽³⁶⁾ ₍₄₆₎	1	71 ⁽³⁴⁾ ₍₄₄₎		
	看護学科【前期】	A方式	40	147 ⁽¹³⁶⁾ ₍₁₃₃₎	2.7	－	122	113 ⁽¹⁰⁸⁾ ₍₁₀₂₎	58	43 ⁽⁴²⁾ ₍₄₀₎	0	51 ⁽⁵⁰⁾ ₍₄₈₎
		B方式	15			－		122 ⁽¹¹⁶⁾ ₍₁₁₀₎		15 ⁽¹⁵⁾ ₍₁₄₎	0	
	計		125	378 ⁽²⁴⁵⁾ ₍₂₇₂₎	3.0	204	305 ⁽²⁰²⁾ ₍₂₁₈₎	132 ⁽⁹³⁾ ₍₁₀₀₎	1	122 ⁽⁸⁴⁾ ₍₉₂₎		
合 計		592	2,488 ^(1,197) _(1,978)	4.2	204	2,022 ⁽⁹⁷⁷⁾ _(1,617)	715 ⁽³⁶⁸⁾ ₍₅₇₅₎	1	607 ⁽³²¹⁾ ₍₄₉₀₎			

参考▶国際教養学部・国際商学部・理学部・医学部看護学科においてA・B方式とも合格基準に達した者の人数は、国際教養学部24人、国際商学部37人、理学部18人、医学部看護学科14人

2026年度 一般選抜 入試結果（得点集計）

【医学部 医学科】第1段階選抜 合格最低点・合格者平均点

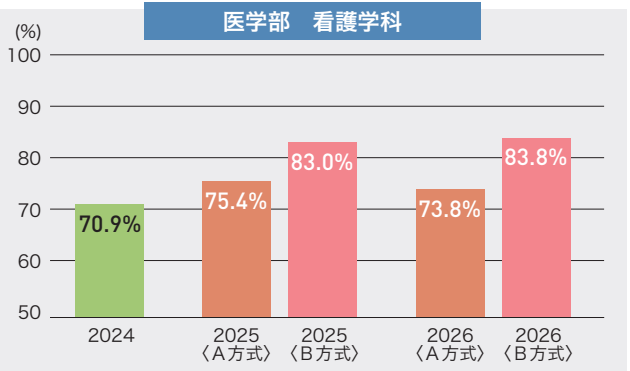
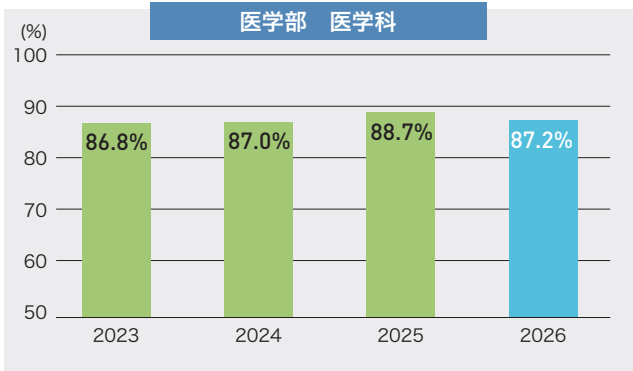
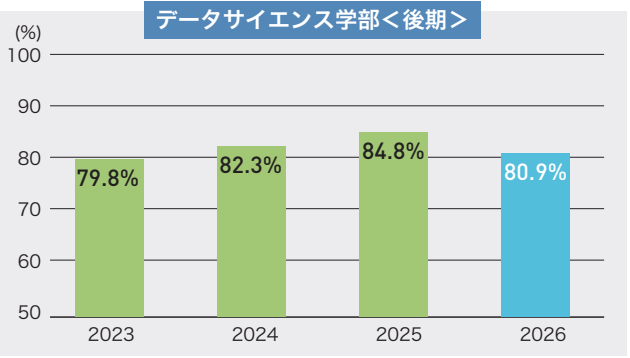
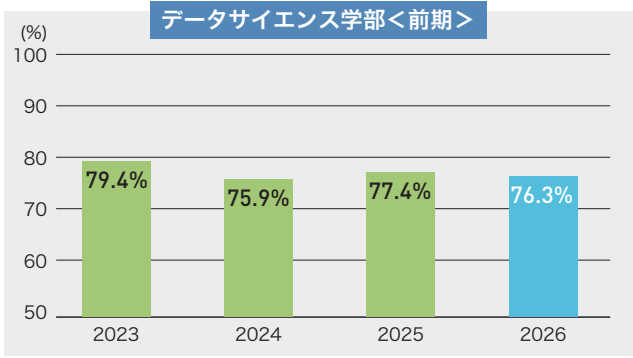
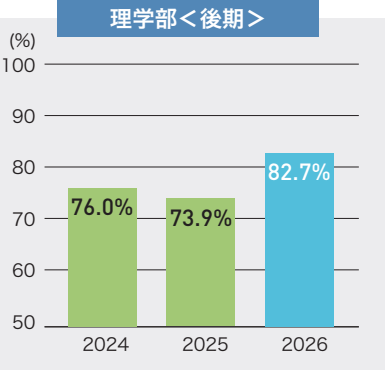
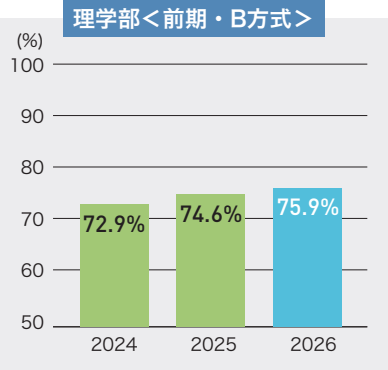
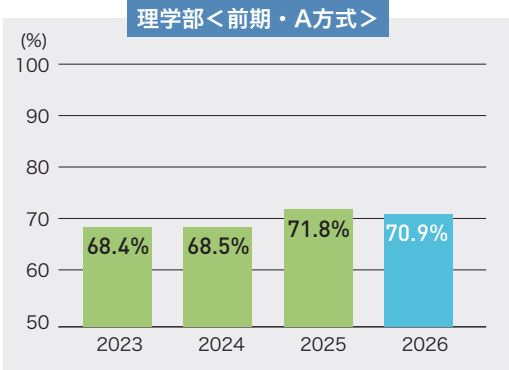
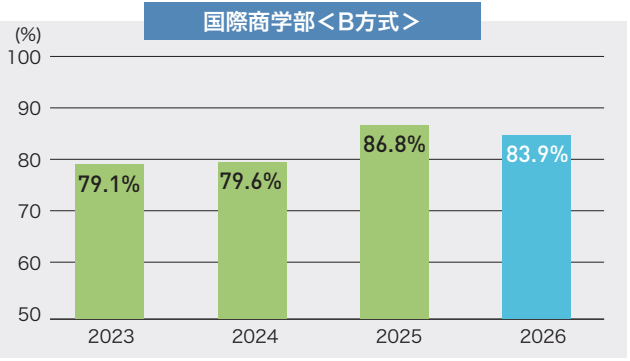
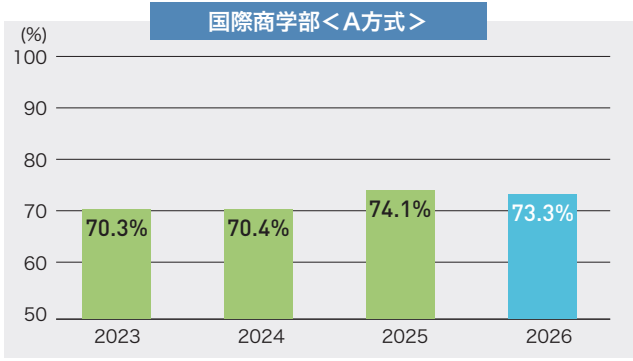
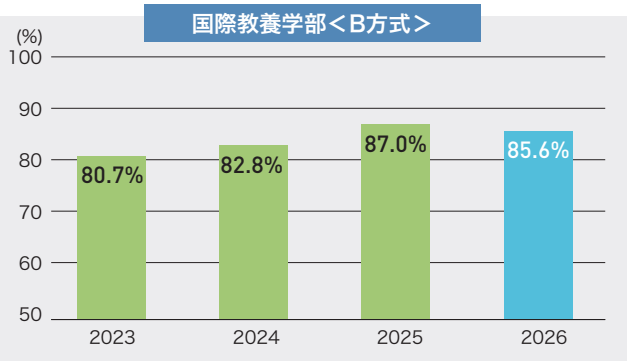
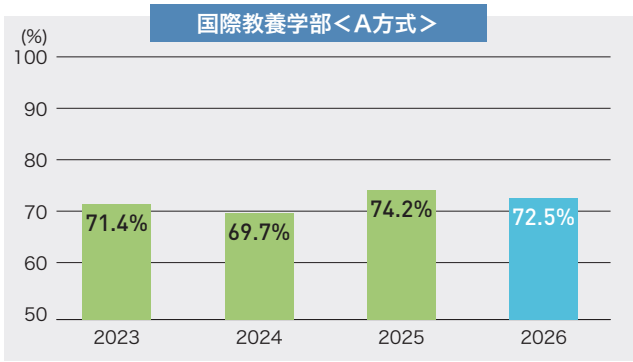
年度	志願者数	合格者数	共通テスト得点（得点率）		配点
			合格最低点	合格者平均点	
2026年度	231	204	757.00 (75.7%)	854.89 (85.5%)	1,000
▼参考					
2025年度	284	211	829.70 (83.0%)	876.74 (87.7%)	1,000
2024年度	250	210	772.60 (77.3%)	845.90 (84.6%)	1,000
2023年度	228	200	752.60 (75.3%)	842.99 (84.3%)	1,000
2022年度	228	181	741.40 (74.1%)	814.42 (81.4%)	1,000



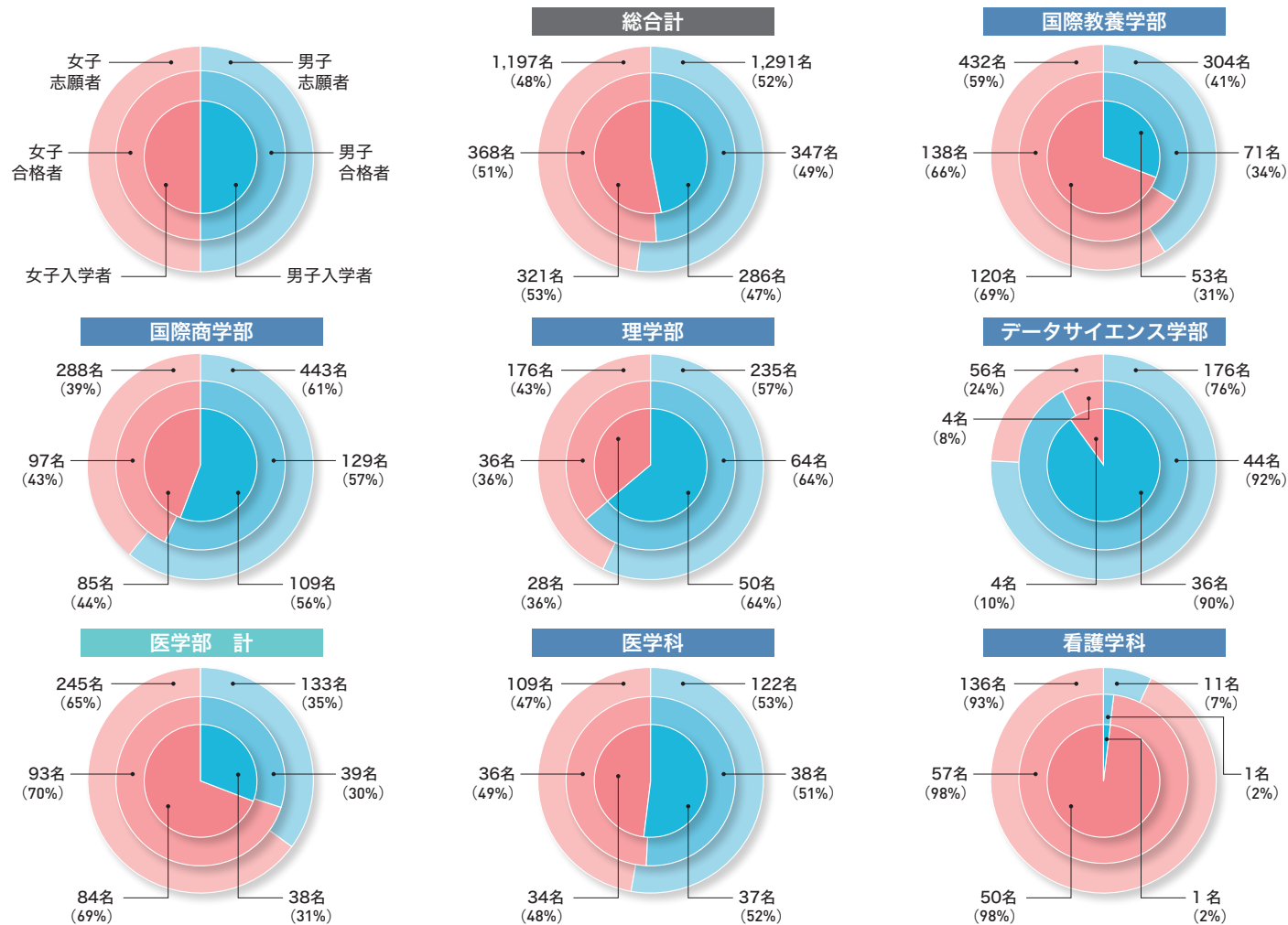
一般選抜合格最低点・合格者平均点

学部	学科		合格最低点			合格者平均点						
			総合			共通テスト		2次試験				
			得点 (得点率)	配点		得点 (得点率)	配点	得点 (得点率)	配点			
国際教養学部	国際教養学科	A方式	916.00	61.1%	1,500	724.81	72.5%	1,000	233.02	46.6%	500	
		B方式	833.00	69.4%	1,200	599.45	85.6%	700	271.15	54.2%	500	
国際商学部	国際商学科	A方式	937.80	62.5%	1,500	732.88	73.3%	1,000	249.77	50.0%	500	
		B方式	842.20	70.2%	1,200	587.10	83.9%	700	277.25	55.5%	500	
理学部	理学科	前期	A方式	1,324.50	63.1%	2,100	708.81	70.9%	1,000	710.60	64.6%	1,100
			B方式	1,503.70	71.6%	2,100	759.09	75.9%	1,000	796.08	72.4%	1,100
		後期	986.75	78.9%	1,250	868.56	82.7%	1,050	180.56	90.3%	200	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	前期	1,420.70	71.0%	2,000	839.57	76.3%	1,100	662.20	73.6%	900	
		後期	1,175.73	78.4%	1,500	1,051.50	80.9%	1,300	160.63	80.3%	200	
		医学科	1,775.40	74.0%	2,400	871.68	87.2%	1,000	984.64	70.3%	1,400	
医学部	看護学科	前期	A方式	873.00	67.2%	1,300	737.77	73.8%	1,000	181.32	60.4%	300
			B方式	767.00	76.7%	1,000	586.71	83.8%	700	195.50	65.2%	300

大学入学共通テスト 合格者平均得点率推移



2026年度 一般選抜 入試結果（男女別集計）



2026年度 特別選抜 入試結果

特別公募制学校推薦型選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選考合格者数	第2次選考受験者数	第2次選考合格者数	最終合格者数	入学者数
医学部	医学科	県内高校	13	35 (21)	2.7	25 (15)	24 (14)	24 (14)	13 (7)
		県外高校	8	22 (15)	2.8	17 (11)	17 (11)	17 (11)	5 (4)
	小 計	21	57 (36)	2.7	42 (26)	41 (15)	41 (15)	18 (11)	18 (11)
	看護学科	5	49 (47)	9.8	39 (37)	39 (37)	38 (36)	11 (9)	11 (9)
合 計		26	106 (83)	4.1	81 (63)	80 (52)	79 (51)	29 (20)	29 (20)

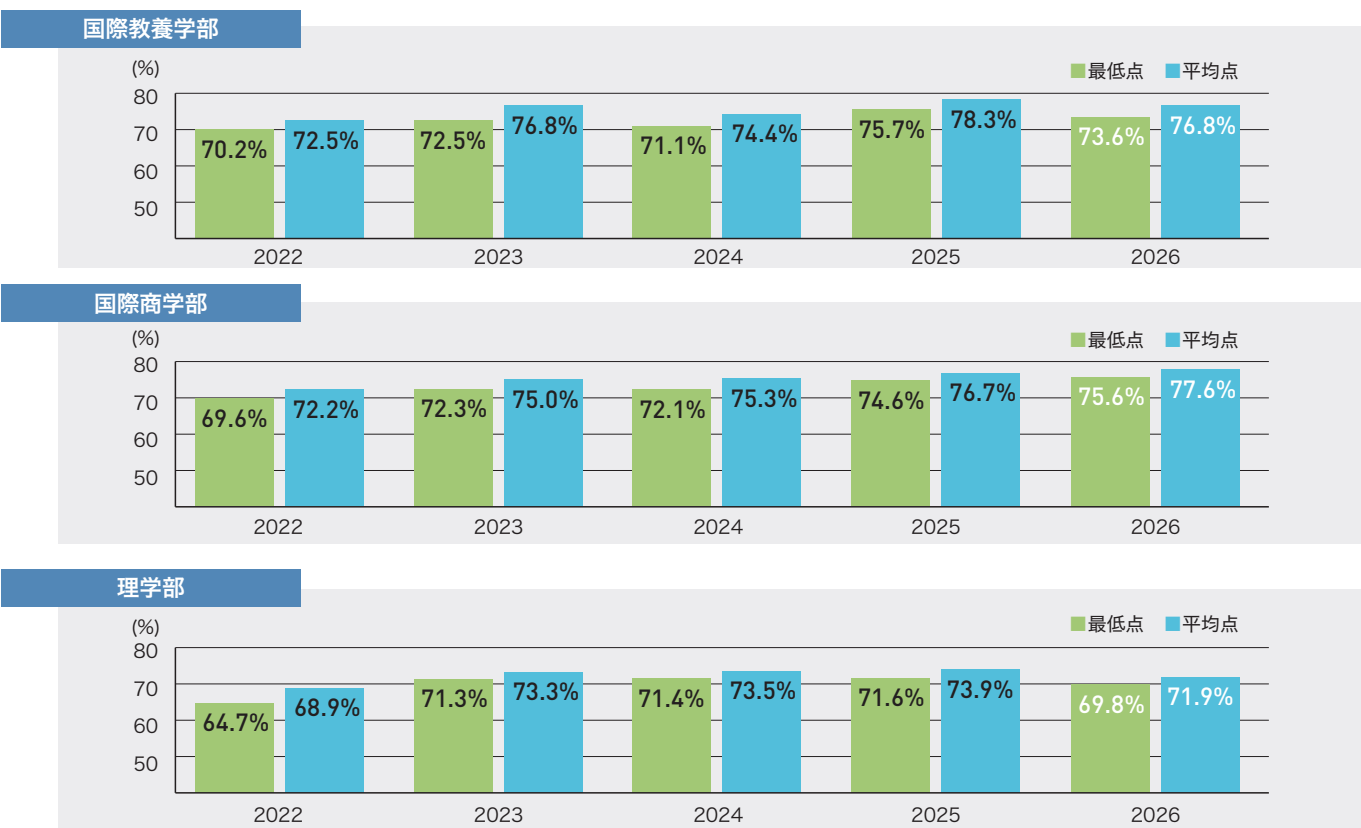
公募制学校推薦型選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	30	117 (83)〈109〉	3.9	117 (83)〈109〉	30 (22)〈29〉	30 (22)〈29〉
国際商学部	国際商学科	15	96 (52)〈91〉	6.4	96 (52)〈91〉	15 (5)〈12〉	15 (5)〈12〉
理学部	理学科	13	59 (35)〈54〉	4.5	59 (35)〈54〉	12 (6)〈12〉	12 (6)〈12〉
合 計		58	272(170)〈254〉	4.7	272(170)〈254〉	57 (33)〈53〉	57 (33)〈53〉

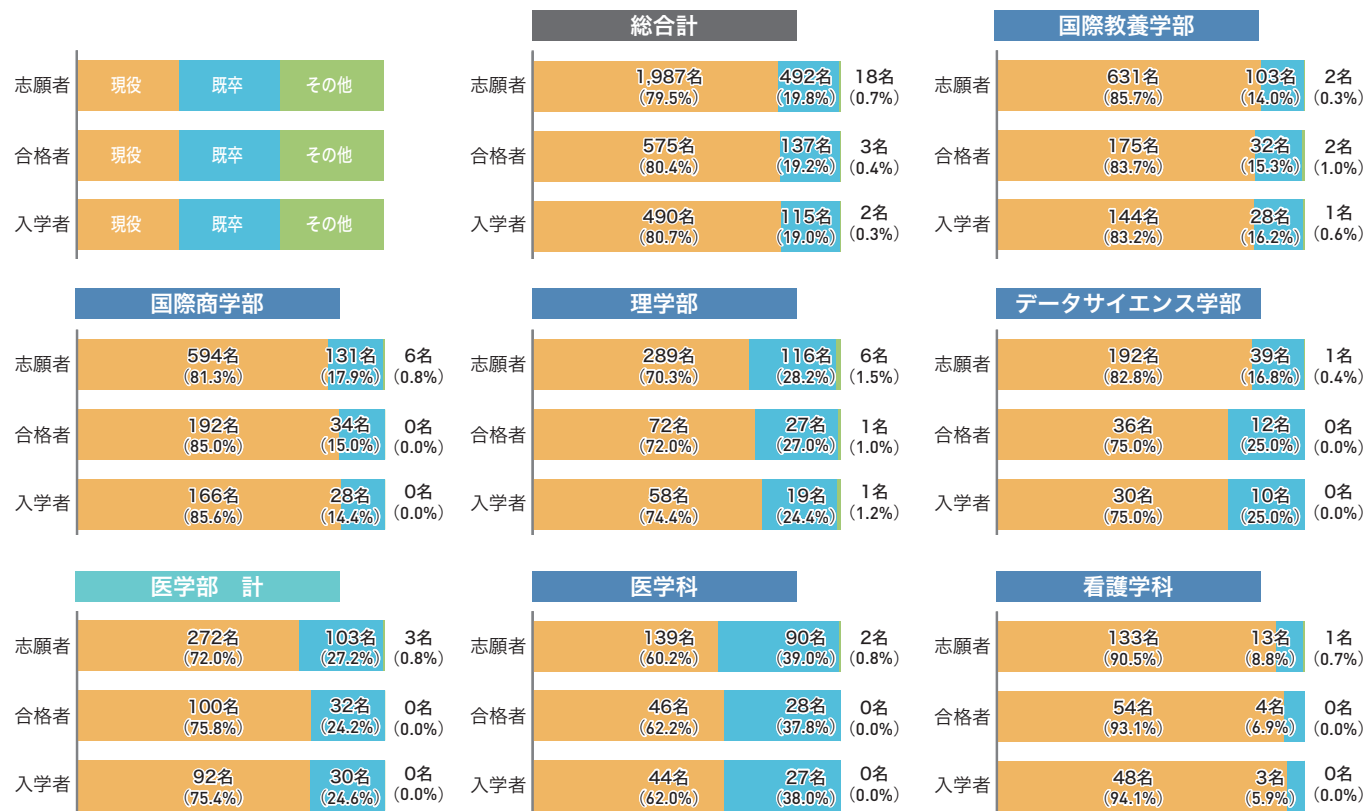
合格者平均点・合格最低点

学部	学科	募集人員	合格者数	配点	共通テスト（得点率）	
				共通テスト	合格者平均点	合格者最低点
国際教養学部	国際教養学科	30	30	1,000	767.57 (76.8%)	736.40 (73.6%)
国際商学部	国際商学科	15	15	1,000	775.97 (77.6%)	756.40 (75.6%)
理学部	理学科	13	12	1,000	719.26 (71.9%)	698.40 (69.8%)

合格者平均点・合格最低点推移（得点率）



2026年度 一般選抜 入試結果（現役・既卒別集計）



■ 指定校制学校推薦型選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	65	62 (46)	1.0	62 (46)	62 (46)	62 (46)
国際商学部	国際商学科	50	61 (38)	1.2	61 (38)	61 (38)	61 (38)
理学部	理学科	40	42 (33)	1.1	42 (33)	42 (33)	42 (33)
データサイエンス学部	データサイエンス学科	10	10 (3)	1.0	10 (3)	10 (3)	10 (3)
医学部	看護学科	40	43 (43)	1.1	43 (43)	43 (43)	43 (43)
合 計		205	218 (163)	1.1	218 (163)	218 (163)	218 (163)

(女子) は内数

■ 総合型選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選抜合格者数	第2次選考受験者数	第2次選考合格者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	25	99 (80) 〈88〉	3.7	54	－	－	50 (41) 〈42〉	27 (24) 〈20〉	27 (24) 〈20〉
国際商学部	国際商学科	5	41 (23) 〈38〉	8.2	10	－	－	8 (5) 〈8〉	5 (4) 〈5〉	5 (4) 〈5〉
理学部	理学科	5	13 (9) 〈13〉	2.6	9	－	－	8 (5) 〈8〉	5 (2) 〈5〉	5 (2) 〈5〉
データサイエンス学部	データサイエンス学科	5	19 (5) 〈16〉	3.8	10	10	8	10 (3) 〈9〉	5 (0) 〈4〉	5 (0) 〈4〉
合 計		40	172 (117) (155)	4.3	83	10	8	76 (54) 〈67〉	42 (30) 〈34〉	42 (30) 〈34〉

(女子) 〈現役〉 は内数

■ 海外帰国生特別選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	若干名	37 (25)	26 (17)	16 (14)	8 (7)
国際商学部	国際商学科	若干名	12 (4)	11 (3)	7 (2)	3 (1)
理学部	理学科	若干名	9 (3)	7 (2)	2 (1)	0
データサイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	8 (2)	7 (2)	4 (1)	1 (0)
合 計		若干名	66 (34)	51 (24)	29 (18)	12 (8)

(女子) は内数

■ 国際バカロレア特別選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	若干名	14 (10)	11 (7)	10 (6)	1 (0)
国際商学部	国際商学科	若干名	10 (5)	9 (4)	4 (2)	2 (1)
理学部	理学科	若干名	12 (7)	10 (5)	1 (1)	0
データサイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	6 (2)	6 (2)	5 (2)	4 (2)
医学部	医学科	2	7 (5)	6 (5)	4 (3)	4 (3)
	看護学科	若干名	4 (4)	4 (4)	4 (4)	1 (1)
合 計		2	53 (33)	46 (27)	28 (18)	12 (7)

(女子) は内数

■ 科学オリンピック特別選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際商学部	国際商学科	若干名	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
理学部	理学科	若干名	9 (2)	9 (2)	9 (2)	2 (1)
データサイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	4 (2)	4 (2)	3 (2)	2 (1)
合 計		若干名	14 (5)	14 (5)	13 (5)	5 (3)

(女子) は内数

■ 外国人留学生特別選抜 (第1期)

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	若干名	5 (2)	5 (2)	2 (0)	2 (0)
国際商学部	国際商学科	若干名	18 (11)	18 (11)	3 (2)	2 (1)
理学部	理学科	若干名	9 (6)	9 (6)	1 (0)	1 (0)
データサイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	5 (1)	5 (1)	0	0
合 計		若干名	37 (20)	37 (20)	6 (2)	5 (1)

(女子) は内数

■ 外国人留学生特別選抜 (第2期)

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	若干名	7 (5)	6 (4)	1 (0)	1 (0)
国際商学部	国際商学科	若干名	12 (6)	11 (5)	2 (2)	2 (2)
理学部	理学科	若干名	19 (6)	16 (5)	2 (1)	1 (1)
合 計		若干名	38 (17)	33 (14)	5 (3)	4 (3)

(女子) は内数

■ 社会人特別選抜

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際教養学部	国際教養学科	若干名	1 (0)	1 (0)	0	0
国際商学部	国際商学科	若干名	0	0	0	0
理学部	理学科	若干名	0	0	0	0
データサイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	2 (0)	2 (0)	0	0
合 計		若干名	3 (0)	3 (0)	0	0

(女子) は内数

2026年度 入試結果（都道府県別集計）

北海道	志願者数	合格者数
北海道	110	45

東北	志願者数	合格者数
青 森	21	10
岩 手	31	9
宮 城	51	19
秋 田	16	6
山 形	21	7
福 島	45	10

関東	志願者数	合格者数
茨 城	114	40
栃 木	50	18
群 馬	68	22
埼 玉	83	22
千 葉	74	11
東 京	444	128
神奈川	1129	426

中部	志願者数	合格者数
新 潟	63	14
富 山	20	9
石 川	20	7
福 井	10	3
山 梨	51	19
長 野	72	19
岐 阜	31	11
静 岡	171	59
愛 知	96	34

近畿	志願者数	合格者数
三 重	22	7
滋 賀	11	7
京 都	20	5
大 阪	28	6
兵 庫	29	8
奈 良	9	3
和歌山	12	3

中国	志願者数	合格者数
鳥 取	9	2
島 根	5	1
岡 山	24	6
広 島	38	9
山 口	14	3

四国	志願者数	合格者数
徳 島	16	6
香 川	12	4
愛 媛	24	6
高 知	12	4

九州・沖縄	志願者数	合格者数
福 岡	45	9
佐 賀	5	1
長 崎	20	8
熊 本	22	8
大 分	10	2
宮 崎	18	3
鹿児島	27	7
沖 縄	63	19

その他	志願者数	合格者数
その他	181	57

●北海道

札幌西、札幌南、札幌北、札幌月寒、札幌啓成、札幌旭丘、札幌清田、函館中部、奥尻、小樽湖陵、滝川、旭川東、旭川北、北見北斗、室蘭栄、苫小牧東、帯広柏葉、帯広三条、釧路湖陵、北広島、札幌国際情報、札幌大通、岩見沢東、立命館慶祥、遺愛女子、函館白百合学園、旭川志峯、帯広大谷、札幌日本大学、北嶺、クラーク記念国際

●青森県

青森、青森東、弘前中央、八戸北、五所川原、三本木

●岩手県

盛岡第一、盛岡第三、盛岡第四、盛岡北、黒沢尻北、水沢、盛岡中央

●宮城県

仙台第一、仙台第二、仙台第三、白石、泉、宮城第一、仙台南、泉館山、仙台育英学園

●秋田県

秋田、秋田南、能代、横手、秋田中央

●山形県

山形東、山形南、山形西、東桜学園、酒田東、新庄東

●福島県

橘、安積、安積黎明、白河、会津学鳳、磐城

●茨城県

日立第一、水戸第二、緑岡、竜ヶ崎第一、水海道第一、竹園、水戸桜ノ牧、牛久栄進、明秀学園日立、茨城、常磐大学、水城、東洋大学附属牛久、清真学園、茗溪学園、S

●栃木県

宇都宮女子、石橋、栃木女子、足利、真岡女子、矢板東、宇都宮北、宇都宮中央、作新学院

●群馬県

前橋（県立）、前橋女子、高崎女子、太田（県立）、太田女子、沼田、高崎経済大学附属、中央、伊勢崎、桐生、ぐんま国際アカデミー高等部

●埼玉県

熊谷、熊谷女子、越谷北、川口北、所沢北、浦和（市立）、大宮北、大宮国際、武南、浦和実業学園、浦和学院、栄東、昌平、早稲田大学本庄高等学院、開智、開智未来

●千葉県

千葉東、八千代、佐倉、四街道、佐原、安房、千葉（市立）、銚子（市立）、昭和学院

●東京都

東京科学大学附属科学技術、筑波大学附属、お茶の水女子大学附属、東京学芸大学附属、東京学芸大学附属国際、青山、江戸川、国立、国分寺、小山台、江北、小松川、調布北、戸山、豊多摩、白鷗、八王子東、日比谷、文京、三田、城東、日野台、国際、新宿山吹、小石川、桜修館、立川国際、皖星、白百合学園、開智日本橋学園、麻布、芝、頌栄女子学院、三田国際科学学

園、普連土学園、山脇学園、海城、実践女子学園、渋谷教育学園渋谷、学習院高等科、桜蔭、京華、駒込、桜丘、開成、攻玉社、青稜、朋優学院、多摩大学目黒、田園調布学園高等部、鷗友学園女子、世田谷学園、田園調布雙葉、東京都市大学等々力、日本大学櫻丘、東京都市大学付属、日本大学第三、國學院大學久我山、立教女学院、豊島岡女子学園、帝京大学、八王子学園八王子、明星、吉祥女子、大成、穎明館、芝国際

●神奈川県

鶴見、横浜翠嵐、横浜平沼、横浜緑ヶ丘、光陵、希望ヶ丘、港北、川和、市ヶ尾、柏陽、松陽、金井、横浜瀬谷、新城、多摩、生田、横須賀（県立）、麻溝台、秦野、厚木、大和、座間、南、桜丘、金沢、戸塚、東、川崎（市立）、高津、横浜商業、川崎総合科学、海老名、大船、神奈川総合、みなと総合、横須賀総合、横浜清陵、金沢総合、横浜国際、横浜栄、平塚、相模原、横浜サイエンスフロンティア、横浜氷取沢、フェリス女学院、横浜雙葉、横浜共立学園、横浜女学院、中央大学附属横浜、聖光学院、関東学院、青山学院横浜英和、浅野、捜真女学校高等学部、法政大学国際、桐蔭学園（高等学校）、日本大学、関東学院六浦、横浜、山手学院、湘南学院、三浦学苑、横須賀学院、カリタス女子、サレジオ学院、洗足学園、栄光学園、鎌倉学園、鎌倉女学院、北鎌倉女子学園、鎌倉女子大学高等部、清泉女学院、鶴沼、湘南工科大学附属、湘南学園、湘南白百合学園、日本大学藤沢、藤嶺学園藤沢、藤沢翔陵、聖和学院、逗子開成、麻布大学附属、函館白百合学園、神奈川大学附属、横浜隼人、桐光学園、森村学園高等部、横浜翠陵、公文国際学園高等部、桐蔭学園（中等教育学校）

●愛知県

旭丘、明和、千種、昭和、中村、春日井、横須賀、刈谷、刈谷北、安城東、岡崎、豊田南、時習館、豊橋東、桜台、西春、岡崎西、名東、東海、名古屋国際、聖カピタニオ女子、大成

●三重県

桑名、津、宇治山田、伊勢、上野、木本

●滋賀県

膳所、彦根東、守山、虎姫、比叡山

●京都府

桃山、峰山、西京、南陽、京都両洋

●大阪府

大阪教育大学附属天王寺、大阪教育大学附属池田、高津、生野、箕面自由学園、関西大倉

●兵庫県

御影、長田、姫路東、西宮東、神戸女学院高等学部、夙川、淳心学院

●奈良県

奈良、帝塚山、西大和学園

●和歌山県

桐蔭、近畿大学附属和歌山

●石川県

金沢大学附属、小松、金沢二水、七尾、星稜

●福井県

高志、武生、若狭

●山梨県

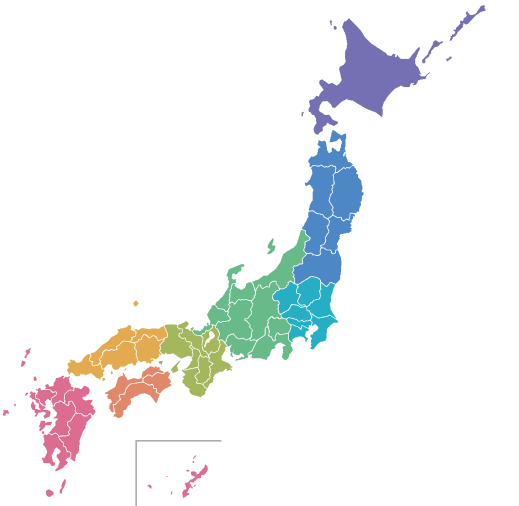
甲府第一、甲府南、吉田、甲府西、甲府東、駿台甲府

●長野県

須坂、長野吉田、長野（県立）、野沢北、諏訪清陵、伊那北、飯田、松本県ヶ丘、松本深志、佐久長聖、1D学園

●岐阜県

岐阜、岐山、加納、加茂、多治見北、恵那、妻太、可児



●静岡県

韭山、三島北、沼津東、沼津西、富士、清水東、静岡、静岡城北、静岡東、焼津中央、藤枝東、掛川西、袋井、磐田南、浜松北、浜松西、浜名、静岡市立、浜松市立、富士宮西、浜松湖南、日本大学三島、加藤学園院秀、静岡雙葉、静岡北、静岡学園、静岡県西遠女子学園、聖隷クリストファー

●愛媛県

松山南、愛光、済美、済美平成

●高知県

高知国際

●福岡県

新宮、筑紫丘、修猷館、北筑、西南学院、筑紫女学園、筑陽学園、九州産業大学付属九州産業、八女学院

●佐賀県

武雄

●長崎県

長崎東、長崎西、諫早、壱岐、青雲

●熊本県

熊本、第一、第二、人吉、九州学院、熊本学園大学付属、一ツ葉

●大分県

大分舞鶴

●宮崎県

延岡、宮崎大宮、宮崎西

●鹿児島県

鶴丸、鹿児島中央、鹿屋、鹿児島、鹿児島情報、鹿児島修学館

●沖縄県

知念、那覇、首里、小祿、普天間、球陽、向陽、那覇国際、興南、昭和薬科大学附属、つくば開成国際

●鳥取県

倉吉東、米子東

●島根県

松江北

●岡山県

倉敷天城、就実、岡山学芸館、岡山白陵、鹿島朝日

●広島県

広島国泰寺、福山誠之館、三次、基町、広島淑学園、修道、AICJ、英数学館

※校名は合格者の出身校を示します。

※志願者数・合格者数は全入試区分（一般選抜・特別選抜）における全学部・全学科の合計人数です。